

第5次石垣市障がい者福祉計画策定支援業務  
アンケート調査結果報告書

令和2年3月

石垣市



# 目次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の対象	1
3. 調査方法	1
4. 回収結果	1
5. 留意事項	1
II. アンケート調査結果	2
問 1 お答えいただくのは、どなたですか。	2
問 2 あなたの年齢をお答えください。(令和 2 年 3 月 1 日現在)	2
問 3 あなたの性別をお答えください。	3
問 4 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。	3
問 4-1 主たる障害の種類は次のどれですか。	3
問 5 あなたは療育手帳をお持ちですか。	4
問 6 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。	4
問 7 あなたは特定医療費(指定難病)受給者証をお持ちですか。	5
問 8 あなたは発達障害として診断されたことがありますか。	5
問 9 あなたは高次脳機能障害と診断されたことがありますか。	6
問 10 令和 2 年 3 月 1 日現在、あなたは介護認定を受けていますか。	6
問 11 介護保険サービスの中で、あなたが利用しているサービスはどれですか。	7
問 12 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。	8
問 13 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。	14
問 14 あなたは現在どのように暮らしていますか。	14
問 14-1 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。	16
問 14-2 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、何人ですか。	17
問 15 あなたは将来、地域でどのように生活したいと思いますか。	17
問 16 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。	18
問 17 あなたは、1 週間にどの程度外出しますか。	19
問 18 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。	19
問 19 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。	21
問 20 外出するときの方法をお答えください。	23
問 21 外出する時に困難に思われることはどれですか。	24
問 22 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。	25
問 23 どのような勤務形態で働いていますか。	25
問 24 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。	26
問 25 仕事はしたいができない、仕事はしたくないと答えた理由は何ですか。	27
問 26 障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いませんか。	28
問 27 病院受診状況についてお答えください。	30
問 28 現在利用している医療費助成制度は何ですか。	30

問 29	医療機関について困っていることがありますか。 .....	31
問 30	障害支援区分の認定を受けていますか。 .....	32
問 31	障がい福祉サービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。 .....	33
問 32	これまでサービスを利用して、不便なことや困ったことはありましたか。 .....	45
問 33	サービスを利用していない理由はなんですか。 .....	46
問 34	災害時の避難について伺います。 .....	47
問 35	地震や火事等の災害時に困ることは何ですか。 .....	47
問 36	災害時の対策は立てていますか。 .....	49
問 37	「災害時要援護者登録台帳」に登録していますか。 .....	50
問 38	「ヘルプカード」を利用していますか。 .....	50
問 39	地域社会での活動に参加していますか。 .....	51
問 40	地域や住民の障がい者に対する理解は深まってきたと思いますか。 .....	53
問 41	障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。 .....	54
問 42	どのような場所・場面で差別や嫌な思いをしましたか。 .....	56
問 43	「成年後見制度」についてご存じでしたか。 .....	57
問 44	万一自分自身では判断ができなくなった場合、「成年後見制度」を利用し財産管理などを任せ ることについて、どう思いますか。 .....	58
問 45	日常生活のなかで、困っていることは何ですか。 .....	59
問 46	悩みや困りごと等を誰に相談しますか。 .....	60
問 47	あなたは障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。 .....	61
問 48	インクルーシブ教育の推進は必要だと思いますか。 .....	61
問 49	学校のことで困っていることはありますか。 .....	62
問 50	放課後や休みの日などは、どのように過ごしていますか。 .....	63
問 51	中学・高校などの卒業後の進路はどのようにお考えですか。 .....	63
問 52	将来、働くことについてどのようにお考えですか。 .....	64
問 53	障がいのある子どものために、特に重要と思うものは何ですか。 .....	65
問 54	石垣市の障がい者福祉施策について、どうお考えですか。 .....	66
問 55	障がい者が地域で自立して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。 .....	67
問 56	介護者について .....	68
問 57	主な介助者が病気や用事などで介助できないときの対処.....	70
	自由意見.....	71

## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

「第5次石垣市障がい福祉計画」・「第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画」を策定するにあたり、障がい福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

### 2. 調査の対象

#### ①障がい者及び障がい児

石垣市に住所を有し、障害者手帳の交付を受けている障がい者（児）1,310人を対象とする。

#### ②難病患者

石垣市に住所を有し、特定医療（指定難病）受給者証を持つ123人を対象とする。

### 3. 調査方法

抽出した対象者宛に、返信用封筒を同封した調査票を送付し、郵送による配布回収を基本としながら、調査票の表にあるURLからWEB回答を選ぶことができる方法で調査を実施した。

### 4. 回収結果

	障がい者	難病患者	配布総数	郵送回収	WEB回収	回収数 総計	回収率		
							郵送	WEB	計
障がい・難病アンケート	1,310	123	1,433	410	41	451	28.6%	2.9%	31.5%

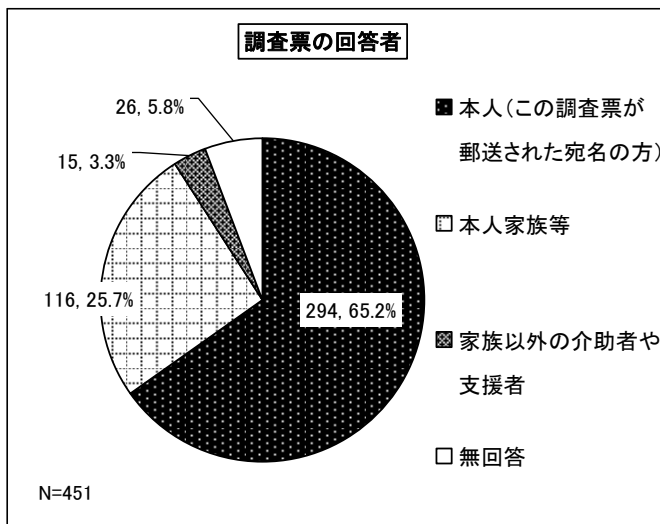
### 5. 留意事項

- ① 小数点第2位を四捨五入しているため、割合の合計は100%一致しない場合がある。
- ② 回答者を限定した質問に対しては、限定回答者数を母数として集計。
- ③ 各質問に対するグラフ表示は、単純集計の場合は円グラフ、複数回答の場合には横棒グラフで表示。複数回答の合計割合は100%を超えることがある。

## Ⅱ. アンケート調査結果

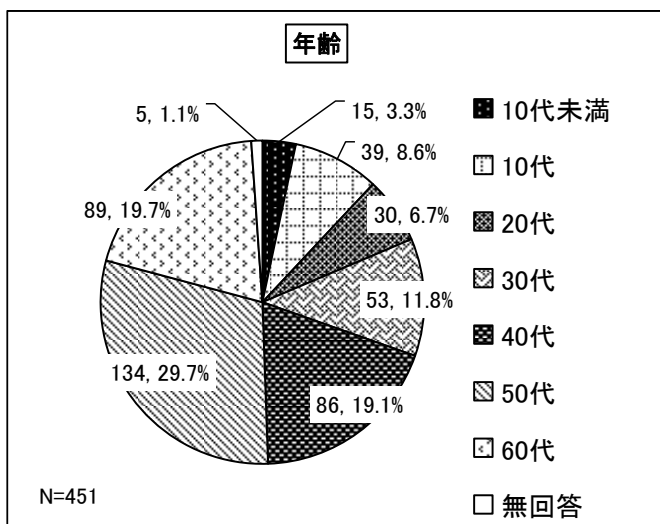
問1 お答えいただくのは、どなたですか。

調査票の回答者をみると、「本人（この調査票が郵送された宛名の方）」が65.2%で最も多く、次いで「本人家族等」の25.7%、「家族以外の介助者や支援者」の3.3%となっています。



問2 あなたの年齢をお答えください。(令和2年3月1日現在)

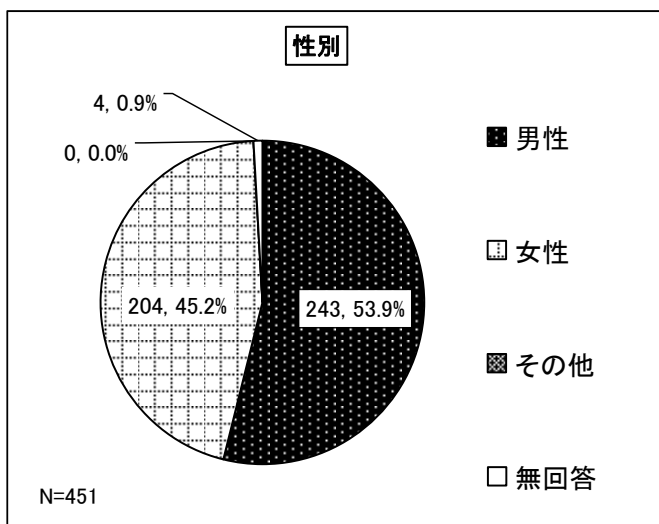
年齢をみると、「50代」が29.7%で最も多く、次いで「60代」の19.7%、「40代」の19.1%、「30代」の11.8%、「10代」の8.6%、「20代」の6.7%、「10代未満」の3.3%となっています。



問3 あなたの性別をお答えください。

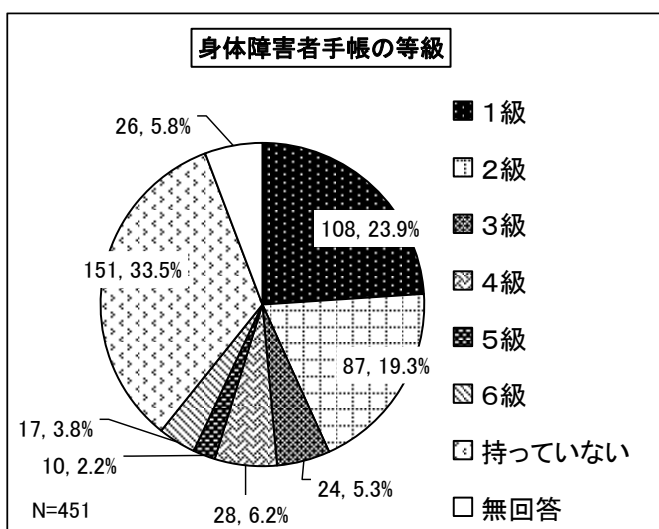
性別をみると、「男性」が53.9%、「女性」が45.2%となっています。

なお、「その他」との回答はありません。



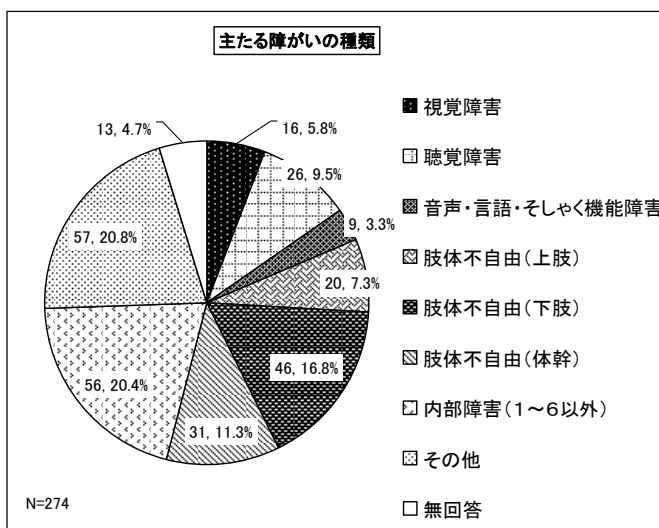
問4 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。

身体障害者手帳の等級をみると、「持っていない」が33.5%で最も多く、次いで「1級」の23.9%、「2級」の19.3%、「4級」の6.2%、「3級」の5.3%等となっています。



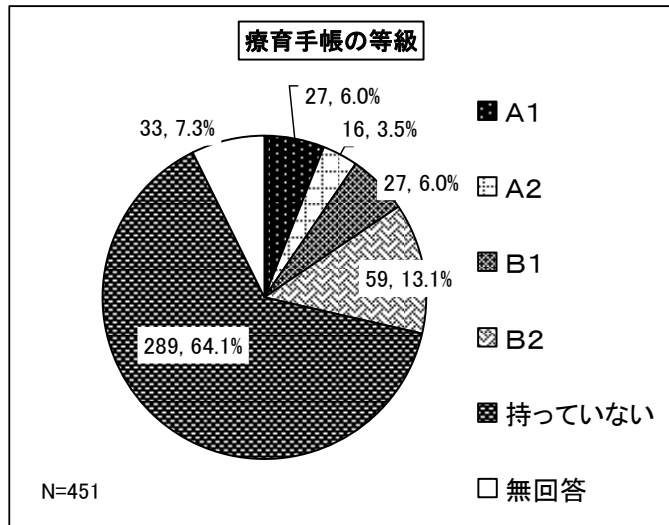
問4-1 主たる障害の種類は次のどれですか。

主たる障がいの種類をみると、「その他」が20.8%で最も多く、次いで「内部障害（1～6以外）」の20.4%、「肢体不自由（下肢）」の16.8%、「肢体不自由（体幹）」の11.3%、「聴覚障害」の9.5%等となっています。



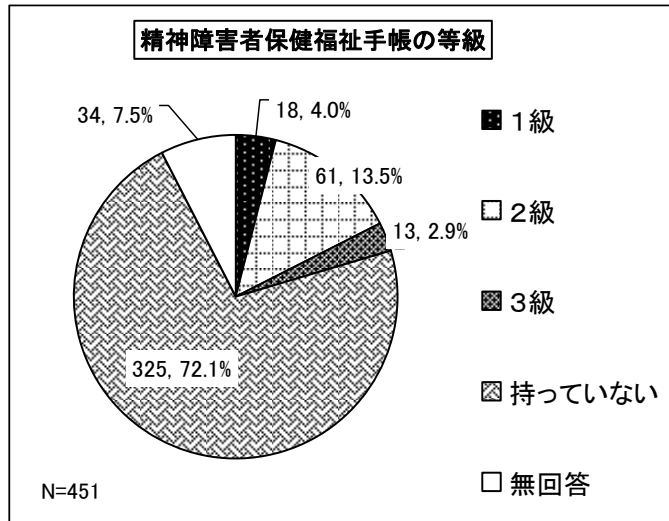
問5 あなたは療育手帳をお持ちですか。

療育手帳の等級をみると、「持っていない」が64.1%で最も多く、次いで「B2」の13.1%、「A1」及び「B1」が同率の6.0%、「A2」の3.5%となっています。



問6 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。

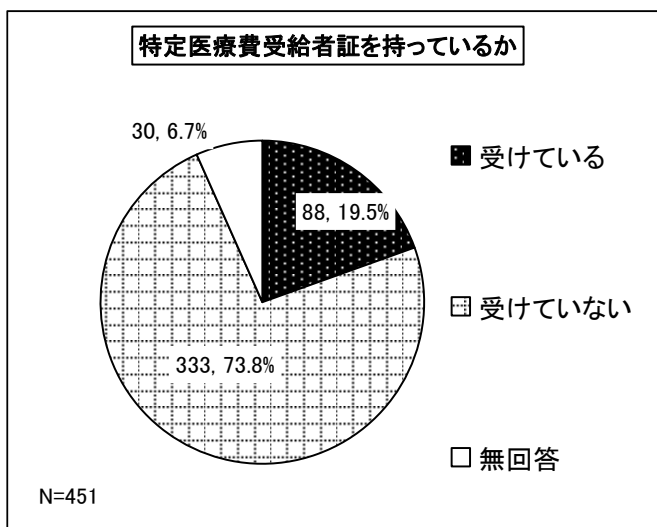
精神障害者保健福祉手帳の等級をみると、「持っていない」が72.1%で最も多く、次いで「2級」の13.5%、「1級」の4.0%、「3級」の2.9%となっています。





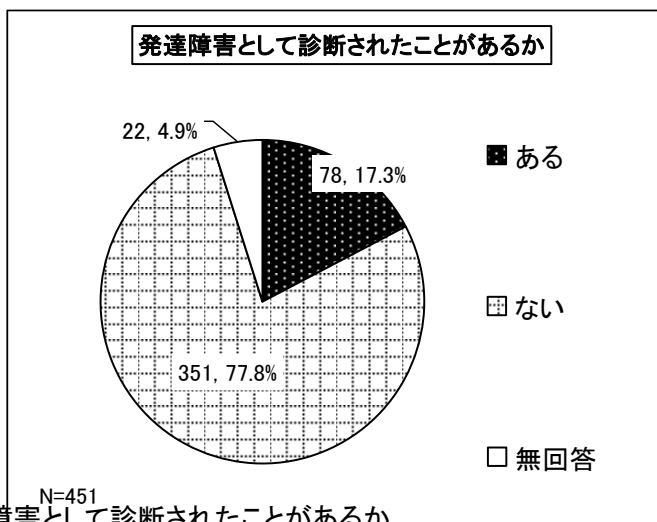
問7 あなたは特定医療費（指定難病）受給者証をお持ちですか。

特定医療費（指定難病）受給者証を持っているかをみると、「受けていない」が73.8%、「受けている」が19.5%となっています。



問8 あなたは発達障害として診断されたことがありますか。

発達障害として診断されたことがあるかをみると、「ない」が77.8%、「ある」が17.3%となっています。



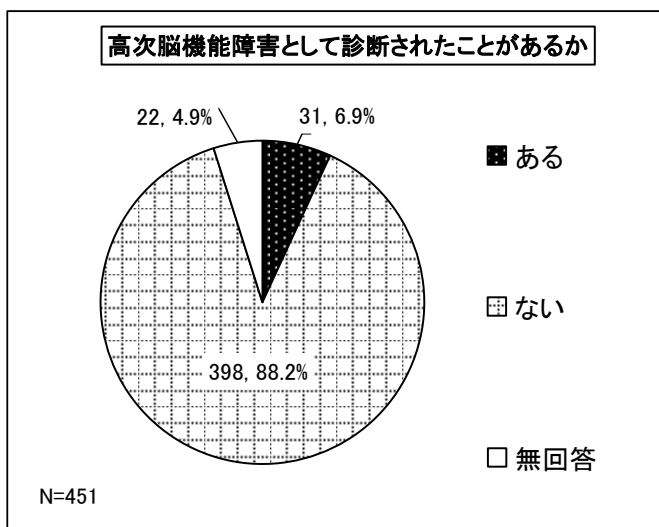
発達障がいと診断されたことがあるとの回答割合は、平成26年度と比較して5.2ポイント増加しています。

		発達障害として診断されたことがあるか			
		ある	ない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	67	437	48	552
	%	12.1%	79.2%	8.7%	100.0%
令和元年度	回答者数	78	351	22	451
	%	17.3%	77.8%	4.9%	100.0%

※平成29年度では設問が設定されておりません。

問9 あなたは高次脳機能障害と診断されたことがありますか。

高次脳機能障害として診断されたことがあるかをみると、「ない」が88.2%で、「ある」が6.9%となっています。



高次脳機能障害と診断されたことがあるとの回答割合は、平成26年度と比較してほぼ変化はみられません。

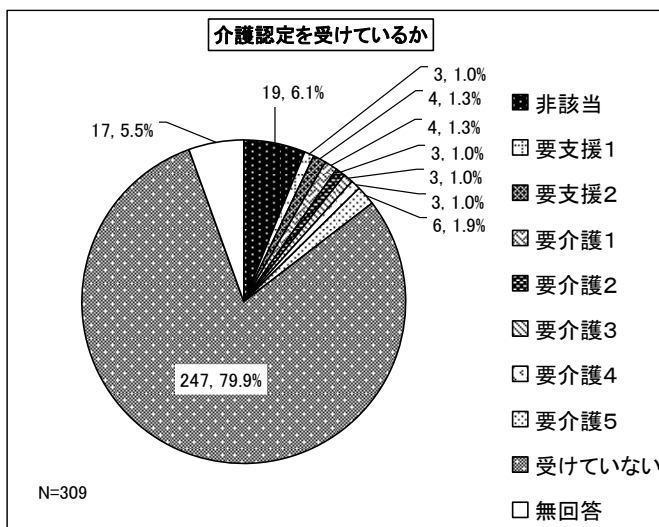
高次脳機能障害として診断されたことがあるか

		ある	ない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	39	465	48	552
	%	7.1%	84.2%	8.7%	100.0%
令和元年度	回答者数	31	398	22	451
	%	6.9%	88.2%	4.9%	100.0%

※平成29年度では設問が設定されておりません。

問10 令和2年3月1日現在、あなたは介護認定を受けていますか。

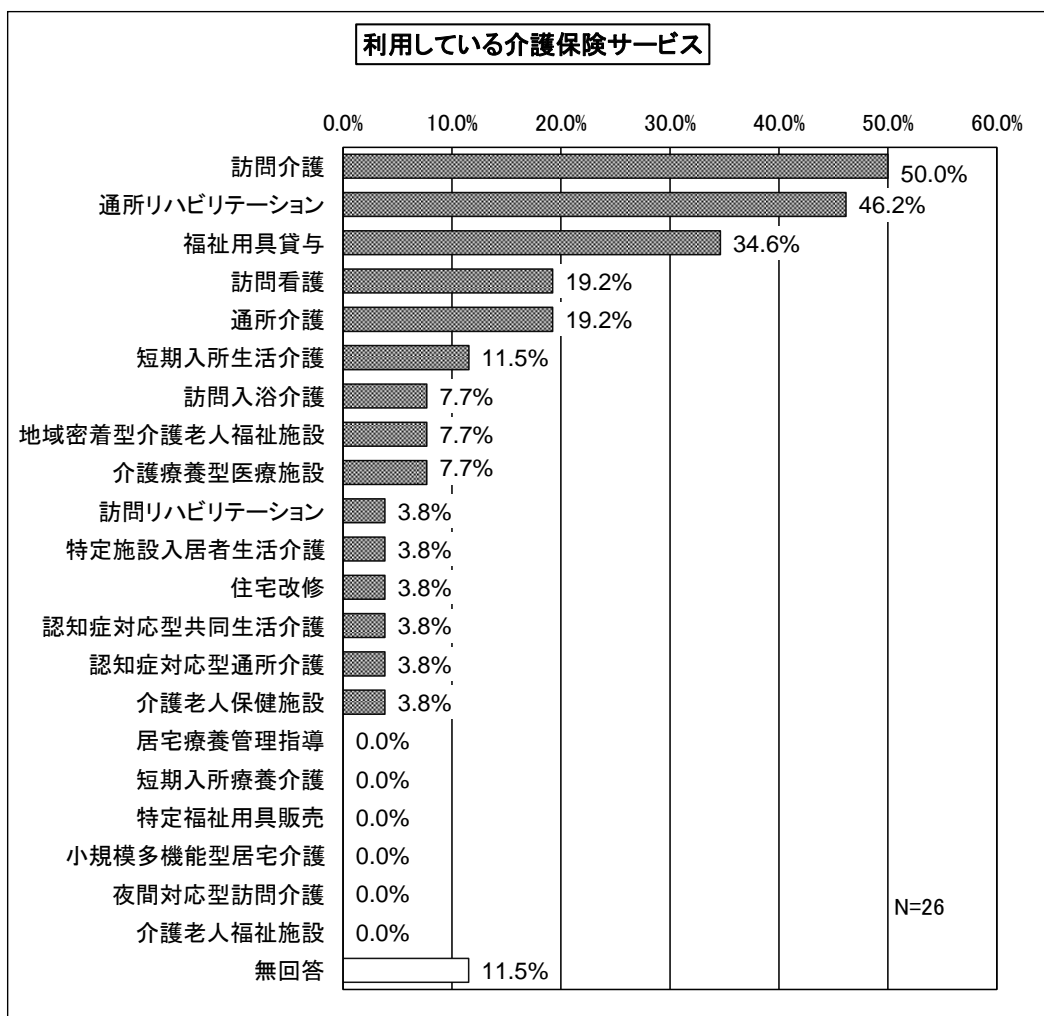
介護認定を受けているかをみると、「受けていない」が79.9%で最も多く、次いで「非該当」の6.1%、「要介護5」の1.9%、「要支援2」及び「要介護1」が同率の1.3%等となっています。



問 11 介護保険サービスの中で、あなたが利用しているサービスはどれですか。

利用している介護保険サービスの第1位は「訪問介護」の50.0%、第2位は「通所リハビリテーション」の46.2%、第3位は「福祉用具貸与」の34.6%、第4位は「訪問看護」及び「通所介護」が同率の19.2%等となっています。

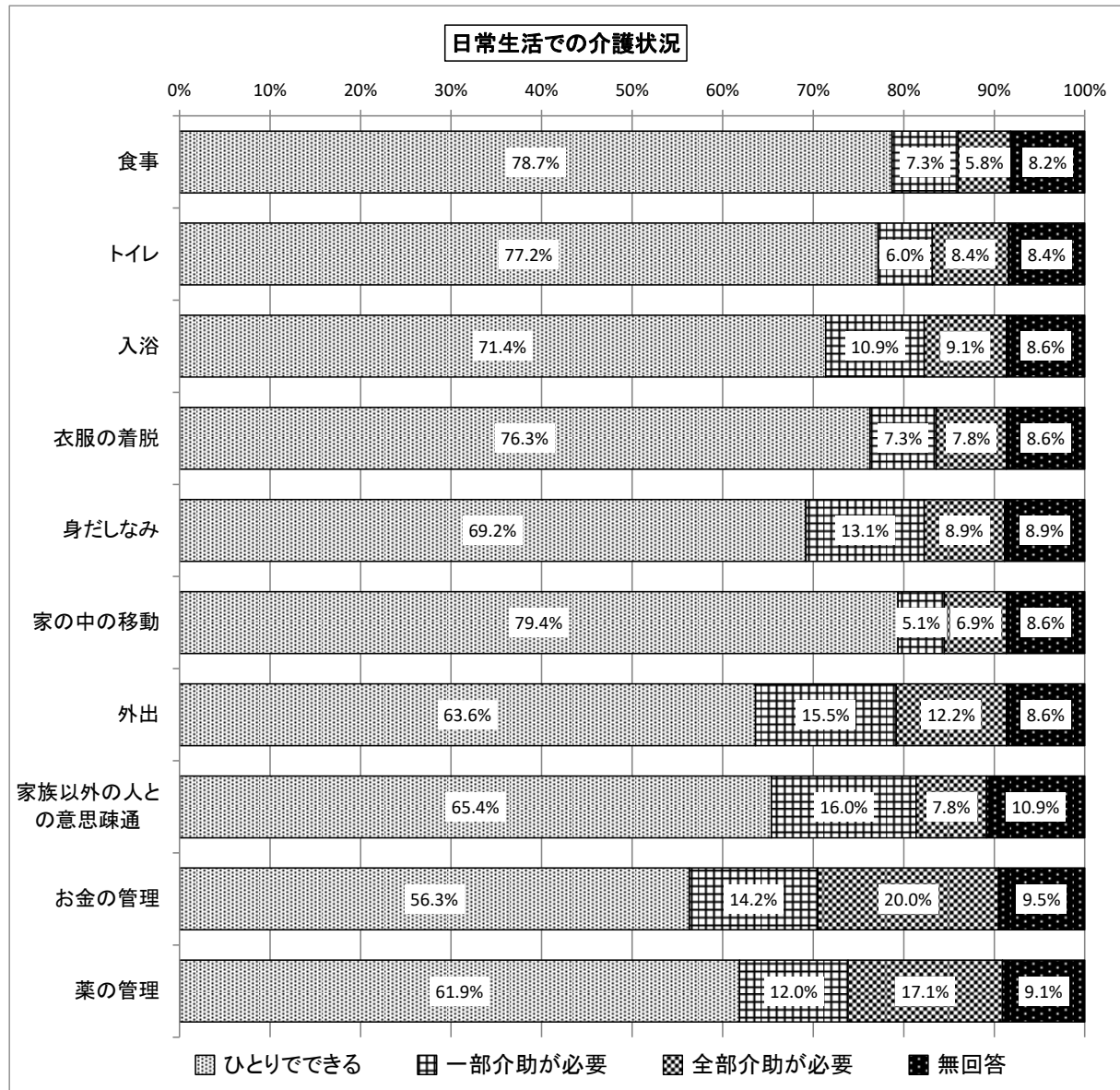
なお、「居宅療養管理指導」及び「短期入所療養介護」、「特定福祉用具販売」、「小規模多機能型居宅介護」、「夜間対応型訪問介護」、「介護老人福祉施設」との回答はありません。



問 12 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。

日常生活での介護状況をみると、「ひとりでできる」との回答で最も多いのは「家の中の移動」の79.4%となっており、次いで「食事」の78.7%、「トイレ」の77.2%、「衣服の着脱」の76.3%、「入浴」の71.4%等と続いています。

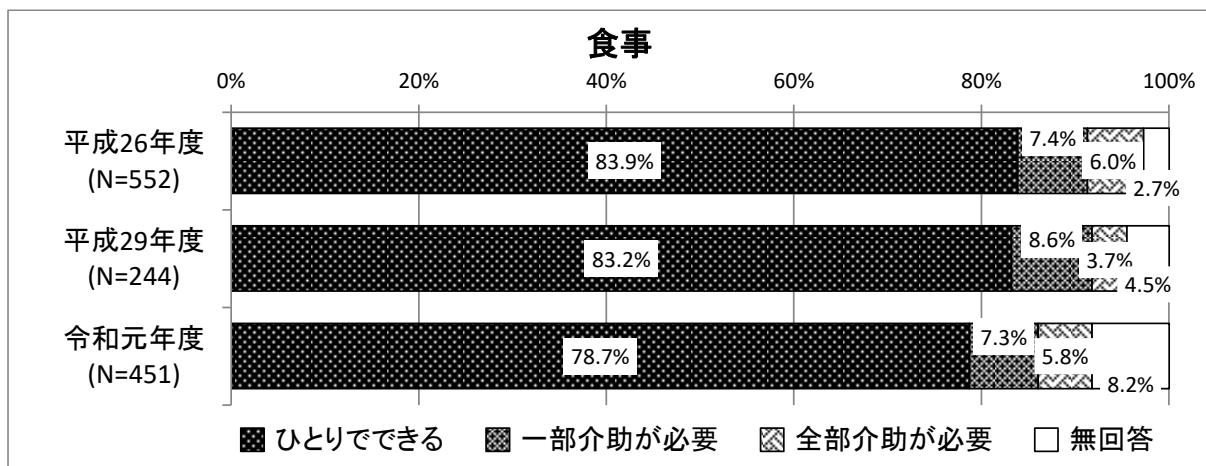
一方、「一部介助が必要」及び「全部介助が必要」との合計割合で最も多いのは「お金の管理」の34.2%となっており、次いで「薬の管理」の29.1%、「外出」の27.7%、「家族以外の人との意思疎通」の23.8%、「身だしなみ」の22.0%等と続いています。



「食事」について、「ひとりでできる」との回答は平成26年度から経年的に低下傾向で推移しています。

### 食事

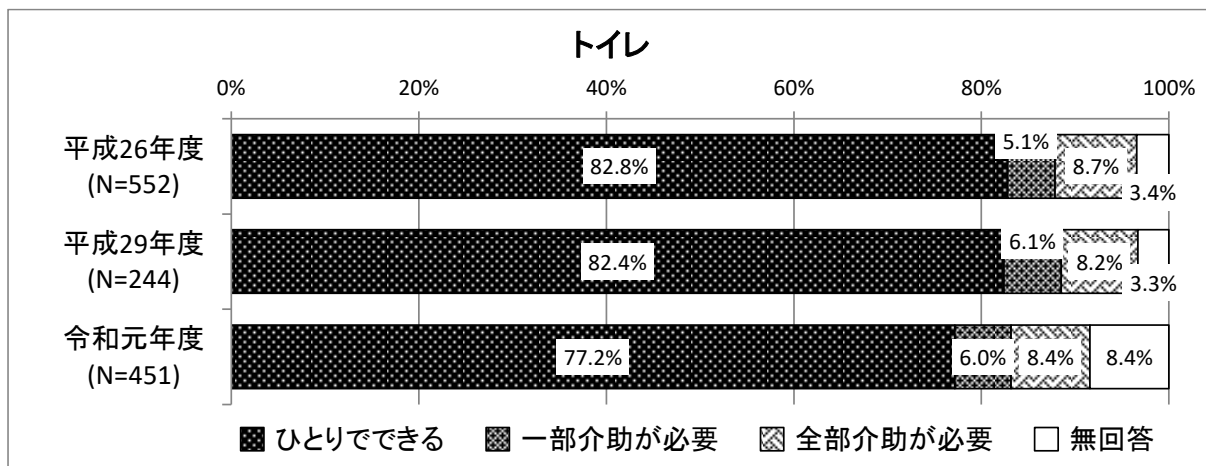
		ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	合計
平成26年度	回答者数	463	41	33	15	552
	%	83.9%	7.4%	6.0%	2.7%	100.0%
平成29年度	%	83.2%	8.6%	3.7%	4.5%	100.0%
令和元年度	回答者数	355	33	26	37	451
	%	78.7%	7.3%	5.8%	8.2%	100.0%



「トイレ」について、「ひとりでできる」との回答は平成26年度と比較して5.6ポイント低下しています。

### トイレ

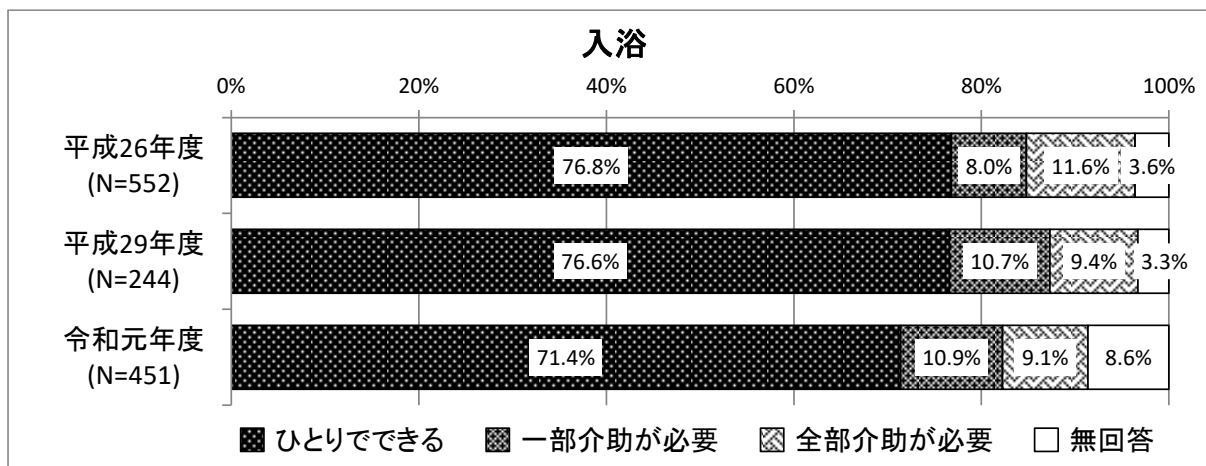
		ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	合計
平成26年度	回答者数	457	28	48	19	552
	%	82.8%	5.1%	8.7%	3.4%	100.0%
平成29年度	%	82.4%	6.1%	8.2%	3.3%	100.0%
令和元年度	回答者数	348	27	38	38	451
	%	77.2%	6.0%	8.4%	8.4%	100.0%



「入浴」について、「ひとりでできる」との回答は平成26年度から経年的に低下傾向で推移しています。

### 入浴

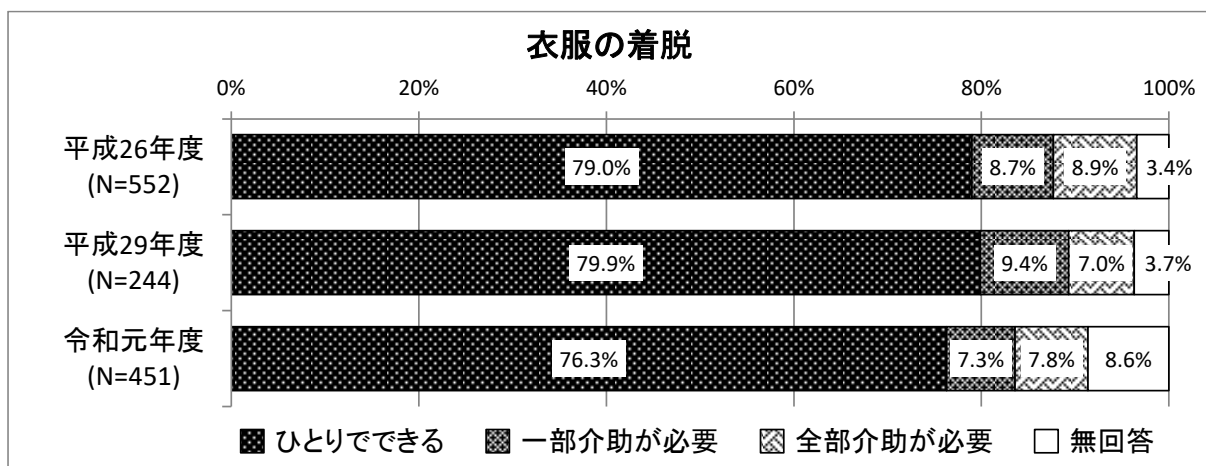
		ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	合計
平成26年度	回答者数	424	44	64	20	552
	%	76.8%	8.0%	11.6%	3.6%	100.0%
平成29年度	%	76.6%	10.7%	9.4%	3.3%	100.0%
	回答者数	322	49	41	39	451
令和元年度	%	71.4%	10.9%	9.1%	8.6%	100.0%



「衣服の着脱」について、「ひとりでできる」との回答は平成26年度と比較して2.7ポイント低下しています。

### 衣服の着脱

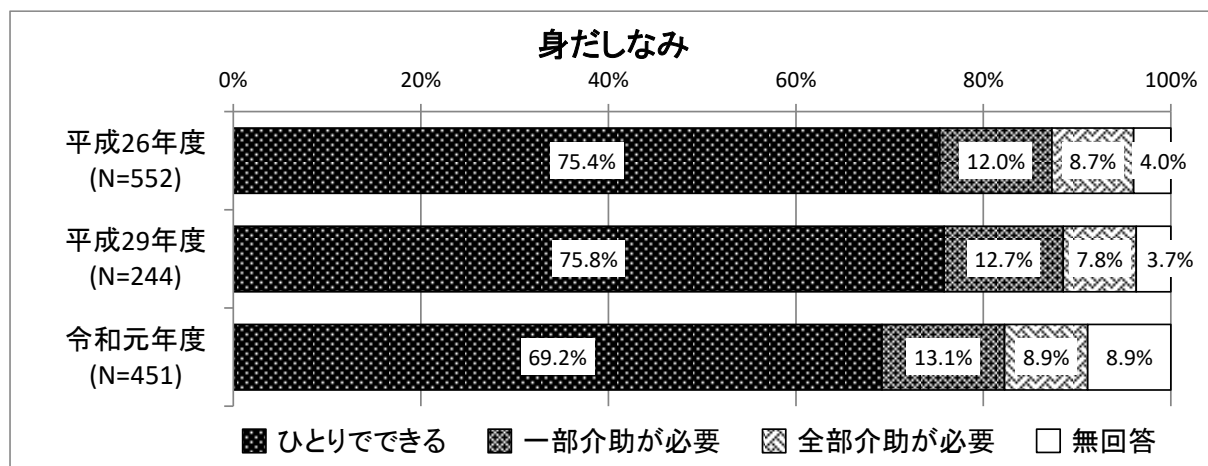
		ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	合計
平成26年度	回答者数	436	48	49	19	552
	%	79.0%	8.7%	8.9%	3.4%	100.0%
平成29年度	%	79.9%	9.4%	7.0%	3.7%	100.0%
	回答者数	344	33	35	39	451
令和元年度	%	76.3%	7.3%	7.8%	8.6%	100.0%



「身だしなみ」について、「ひとりでできる」との回答は平成26年度と比較して6.2ポイント低下しています。

### 身だしなみ

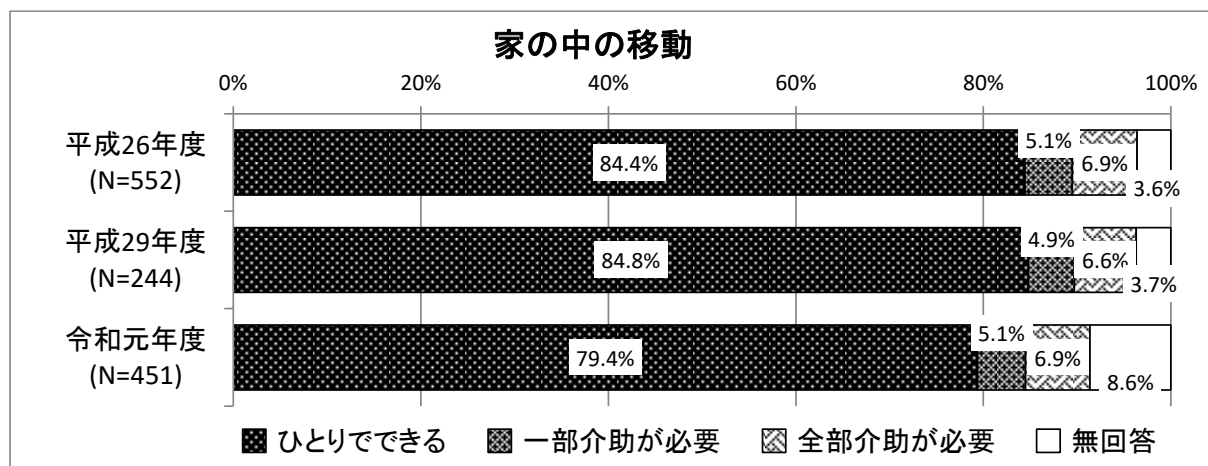
		ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	合計
平成26年度	回答者数	416	66	48	22	552
	%	75.4%	12.0%	8.7%	4.0%	100.0%
平成29年度	%	75.8%	12.7%	7.8%	3.7%	100.0%
	回答者数	312	59	40	40	451
令和元年度	%	69.2%	13.1%	8.9%	8.9%	100.0%



「家の中の移動」について、「ひとりでできる」との回答は平成26年度と比較して5.0ポイント低下しています。

### 家の中の移動

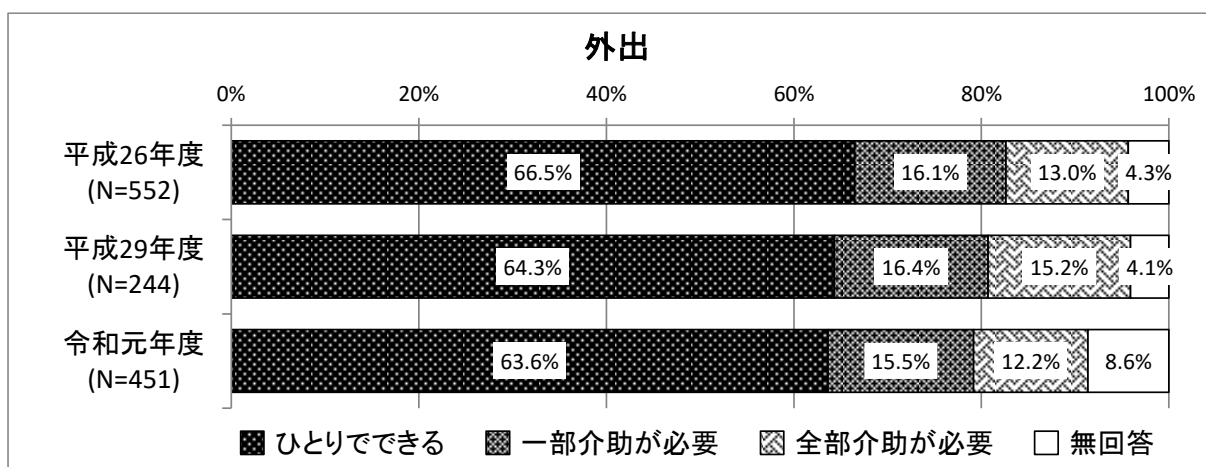
		ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	合計
平成26年度	回答者数	466	28	38	20	552
	%	84.4%	5.1%	6.9%	3.6%	100.0%
平成29年度	%	84.8%	4.9%	6.6%	3.7%	100.0%
	回答者数	358	23	31	39	451
令和元年度	%	79.4%	5.1%	6.9%	8.6%	100.0%



「外出」について、「ひとりでできる」との回答は平成26年度と比較して2.9ポイント低下しています。

### 外出

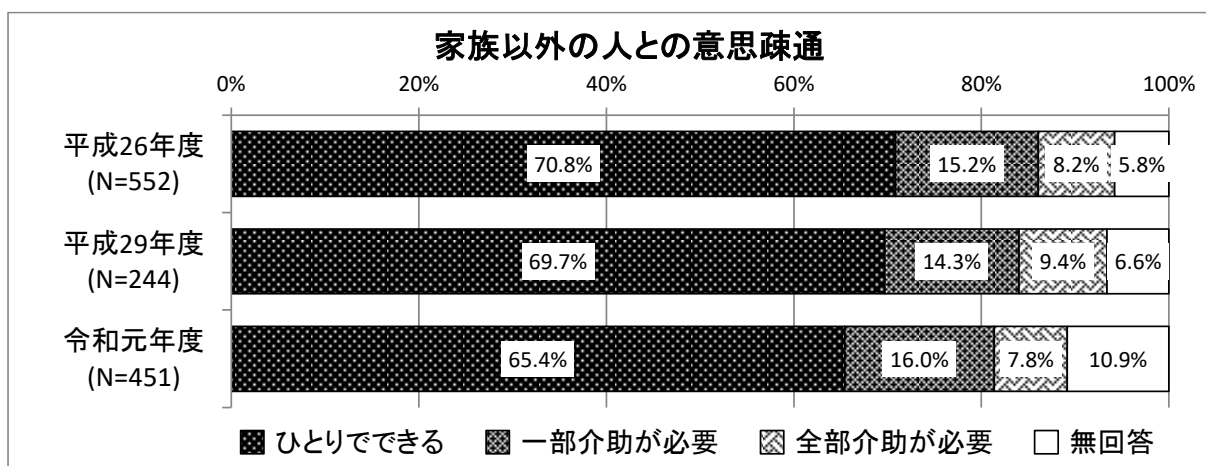
		ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	合計
平成26年度	回答者数	367	89	72	24	552
	%	66.5%	16.1%	13.0%	4.3%	100.0%
平成29年度	%	64.3%	16.4%	15.2%	4.1%	100.0%
	回答者数	287	70	55	39	451
令和元年度	%	63.6%	15.5%	12.2%	8.6%	100.0%



「家族以外の人との意思疎通」について、「ひとりでできる」との回答は平成26年度から経年的に低下傾向で推移しています。

### 家族以外の人との意思疎通

		ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	合計
平成26年度	回答者数	391	84	45	32	552
	%	70.8%	15.2%	8.2%	5.8%	100.0%
平成29年度	%	69.7%	14.3%	9.4%	6.6%	100.0%
	回答者数	295	72	35	49	451
令和元年度	%	65.4%	16.0%	7.8%	10.9%	100.0%

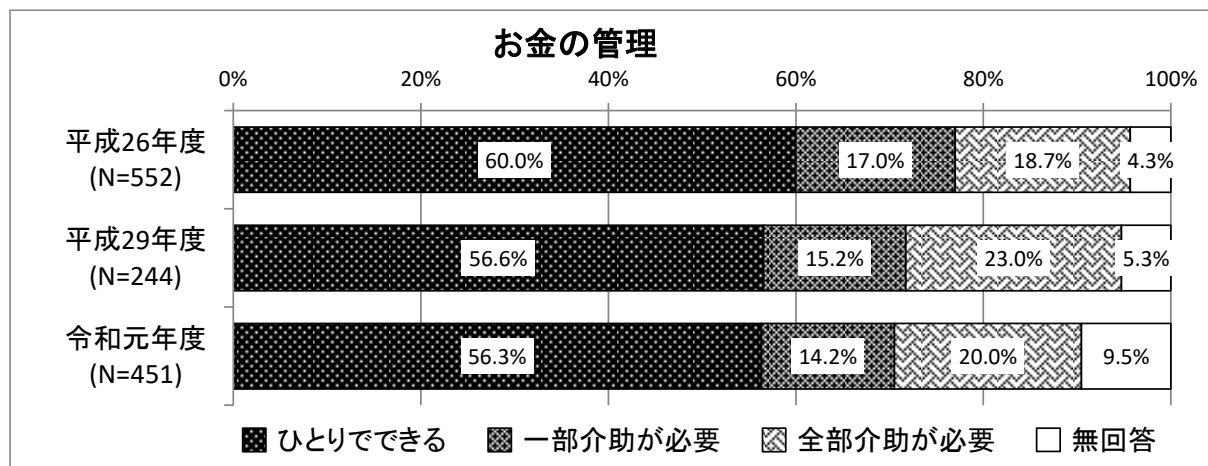




「お金の管理」について、「ひとりでできる」との回答は平成 26 年度から経年的に低下傾向で推移しています。

### お金の管理

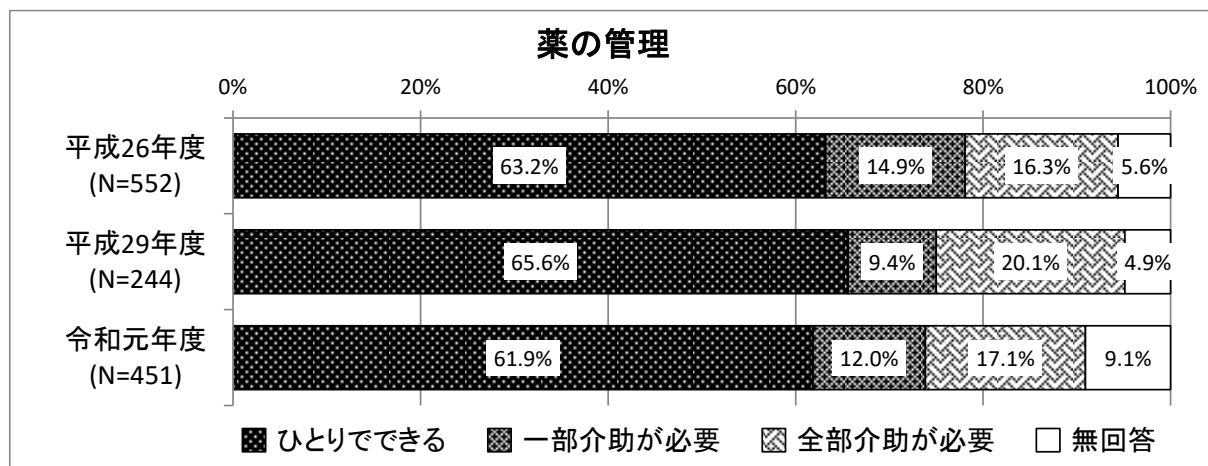
		ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	合計
平成26年度	回答者数	331	94	103	24	552
	%	60.0%	17.0%	18.7%	4.3%	100.0%
平成29年度	%	56.6%	15.2%	23.0%	5.3%	100.0%
令和元年度	回答者数	254	64	90	43	451
	%	56.3%	14.2%	20.0%	9.5%	100.0%



「薬の管理」について、「ひとりでできる」との回答は平成 26 年度と比較して 1.3 ポイント低下しています。

### 薬の管理

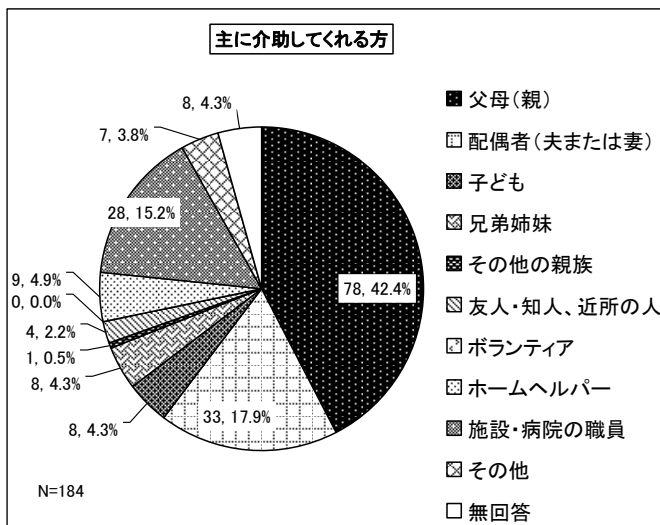
		ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	合計
平成26年度	回答者数	349	82	90	31	552
	%	63.2%	14.9%	16.3%	5.6%	100.0%
平成29年度	%	65.6%	9.4%	20.1%	4.9%	100.0%
令和元年度	回答者数	279	54	77	41	451
	%	61.9%	12.0%	17.1%	9.1%	100.0%



問 13 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。

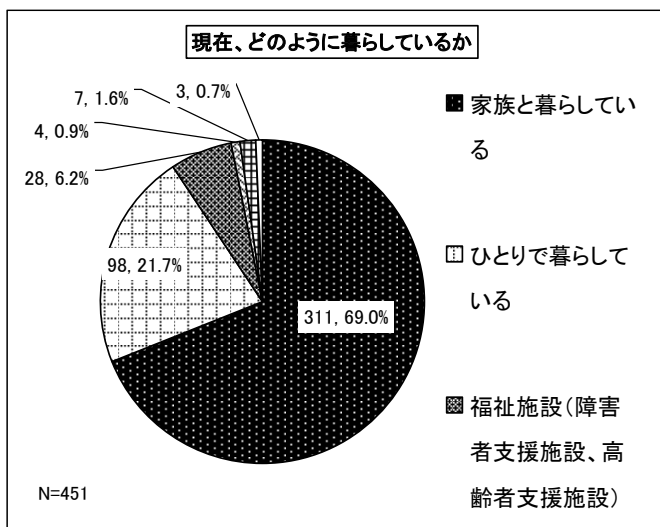
主に介助してくれる方をみると、「父母（親）」が42.4%で最も多く、次いで「配偶者（夫または妻）」の17.9%、「施設・病院の職員」の15.2%、「ホームヘルパー」の4.9%、「子ども」及び「兄妹姉妹」が同率の4.3%等となっています。

なお、「ボランティア」との回答はありません。



問 14 あなたは現在どのように暮らしていますか。

現在、どのように暮らしているかをみると、「家族と暮らしている」が69.0%で最も多く、次いで「ひとりで暮らしている」の21.7%、「福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている」の6.2%、「その他（児童養護施設など）」の1.6%、「病院に入院している」の0.9%となっています。

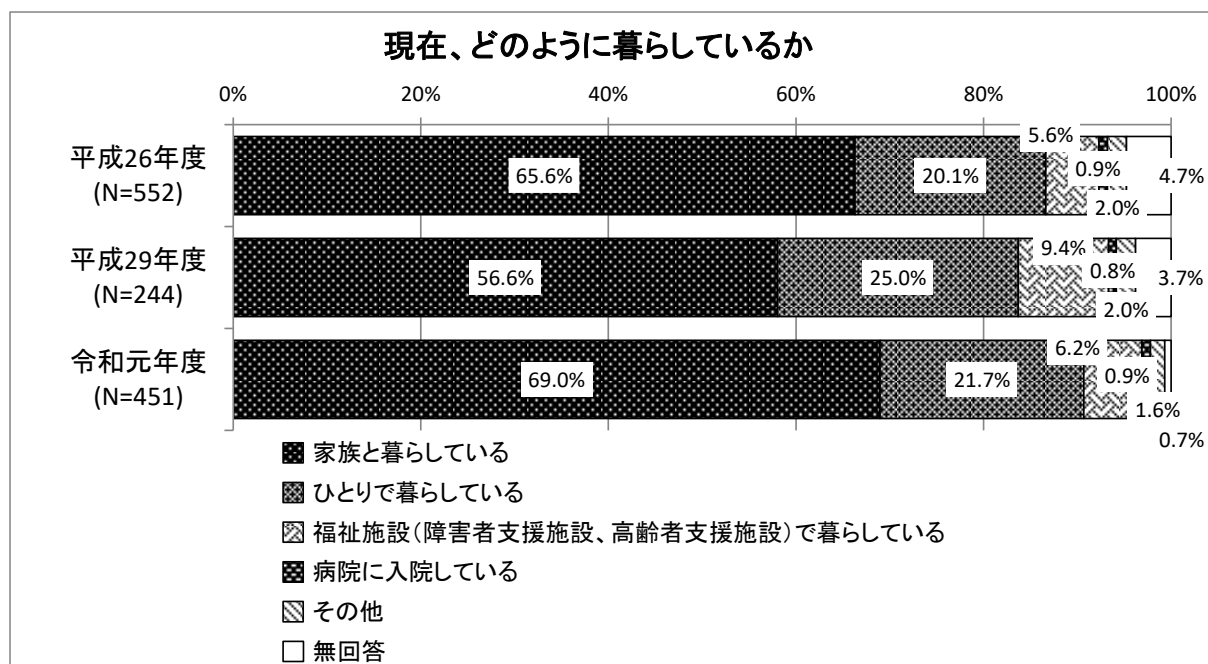


現在の暮らしを経年的にみると、平成26年度と比較して「無回答」が少なくなった分、「家族と暮らしている」、「ひとりで暮らしている」、「福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている」という割合が若干上昇しています。

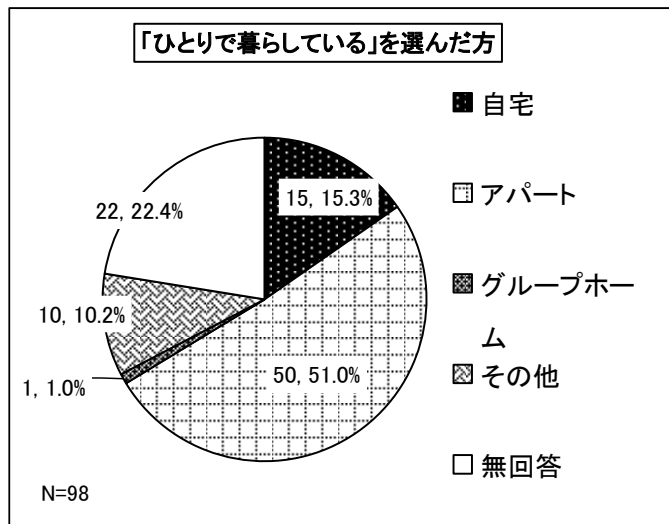
現在、どのように暮らしているか

		家族と暮らしている	ひとりで暮らしている	福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている	病院に入院している	その他	無回答	合計
平成26年度	回答者数	362	111	31	5	11	26	552
	%	65.6%	20.1%	5.6%	0.9%	2.0%	4.7%	100.0%
平成29年度	%	56.6%	25.0%	9.4%	0.8%	2.0%	3.7%	100.0%
令和元年度	回答者数	311	98	28	4	7	3	451
	%	69.0%	21.7%	6.2%	0.9%	1.6%	0.7%	100.0%

※平成26・29年度では「グループホーム」との項目がある為、項目の合計割合は100%となりません。

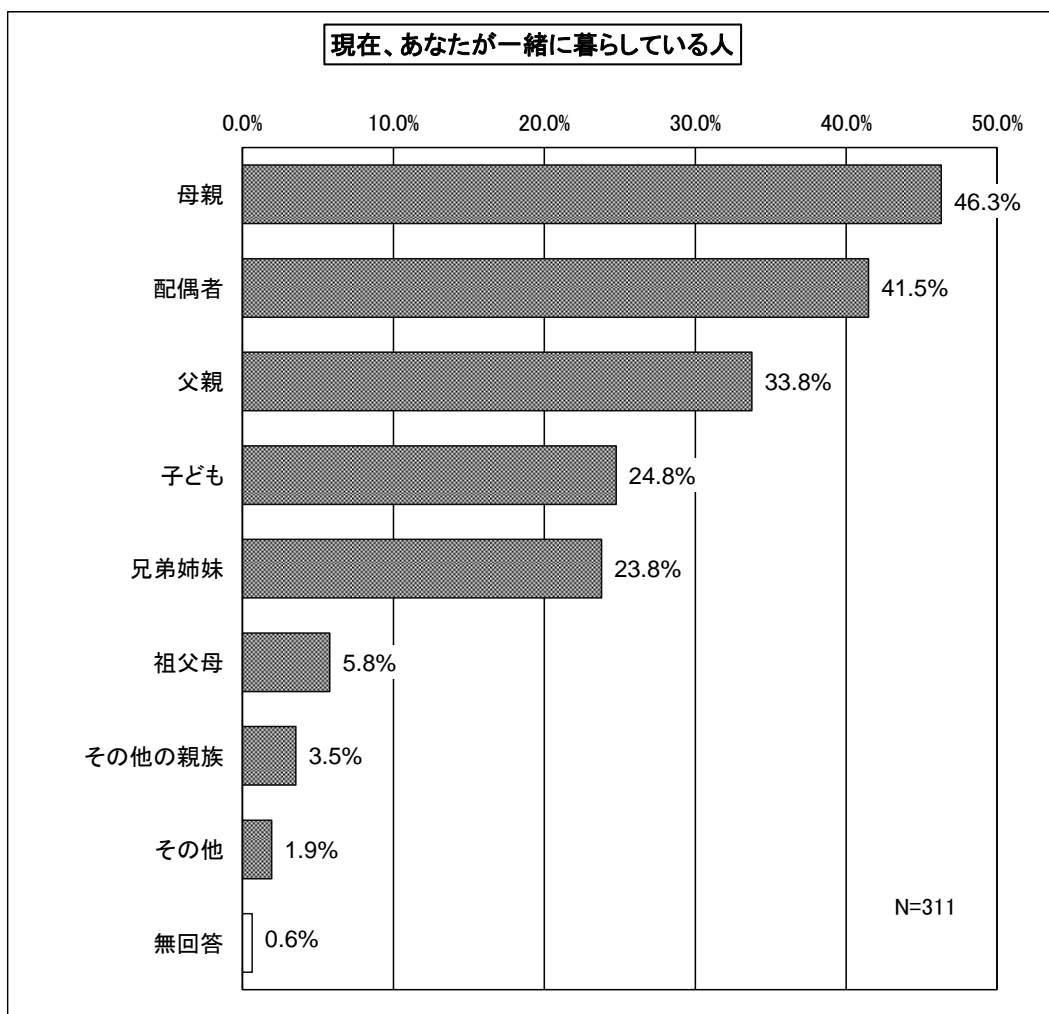


「ひとりで暮らしている」を選んだ方がどのように暮らしているかをみると、「アパート」が51.0%で最も多く、次いで「自宅」の15.3%、「その他（団地など）」の10.2%、「グループホーム」の1.0%となっています。



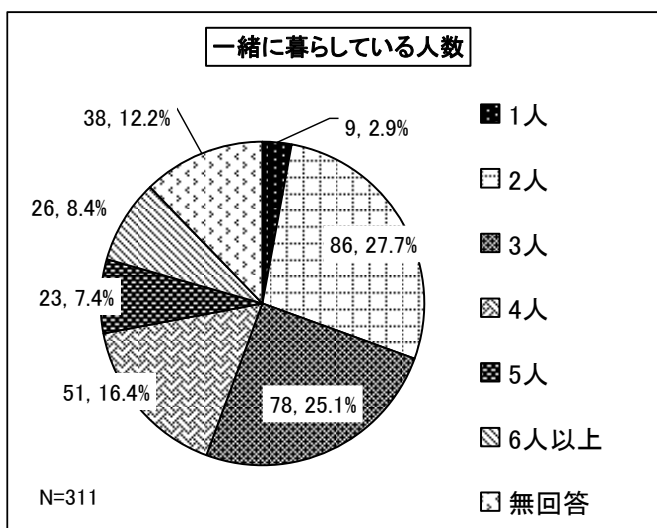
問 14-1 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。

現在、あなたが一緒に暮らしている人の第1位は「母親」の46.3%、第2位は「配偶者」の41.5%、第3位は「父親」の33.8%、第4位は「子ども」の24.8%、第5位は「兄弟姉妹」の23.8%等となっています。



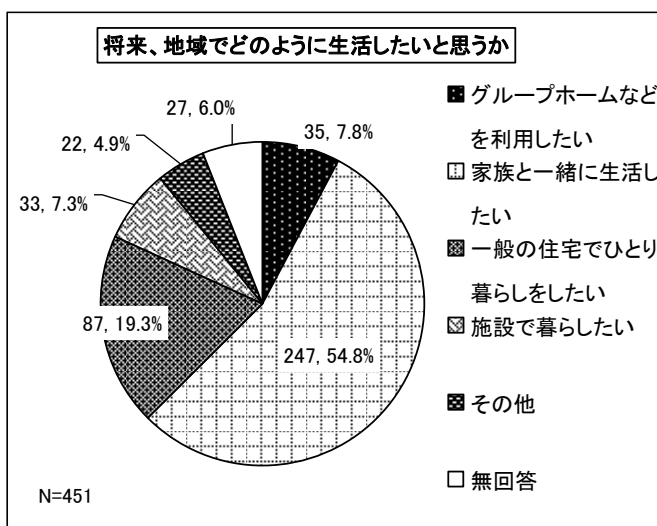
問 14-2 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、何人ですか。

一緒に暮らしている人数をみると、「2人」が27.7%で最も多く、次いで「3人」の25.1%、「4人」の16.4%、「6人以上」の8.4%、「5人」の7.4%等となっています。



問 15 あなたは将来、地域でどのように生活したいと思いますか。

将来、地域でどのように生活したいと思いますかをみると、「家族と一緒に生活したい」が54.8%で最も多く、次いで「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」の19.3%、「グループホームなどを利用したい」の7.8%、「施設で暮らしたい」の7.3%、「その他（まだ考えていないなど）」の4.9%となっています。

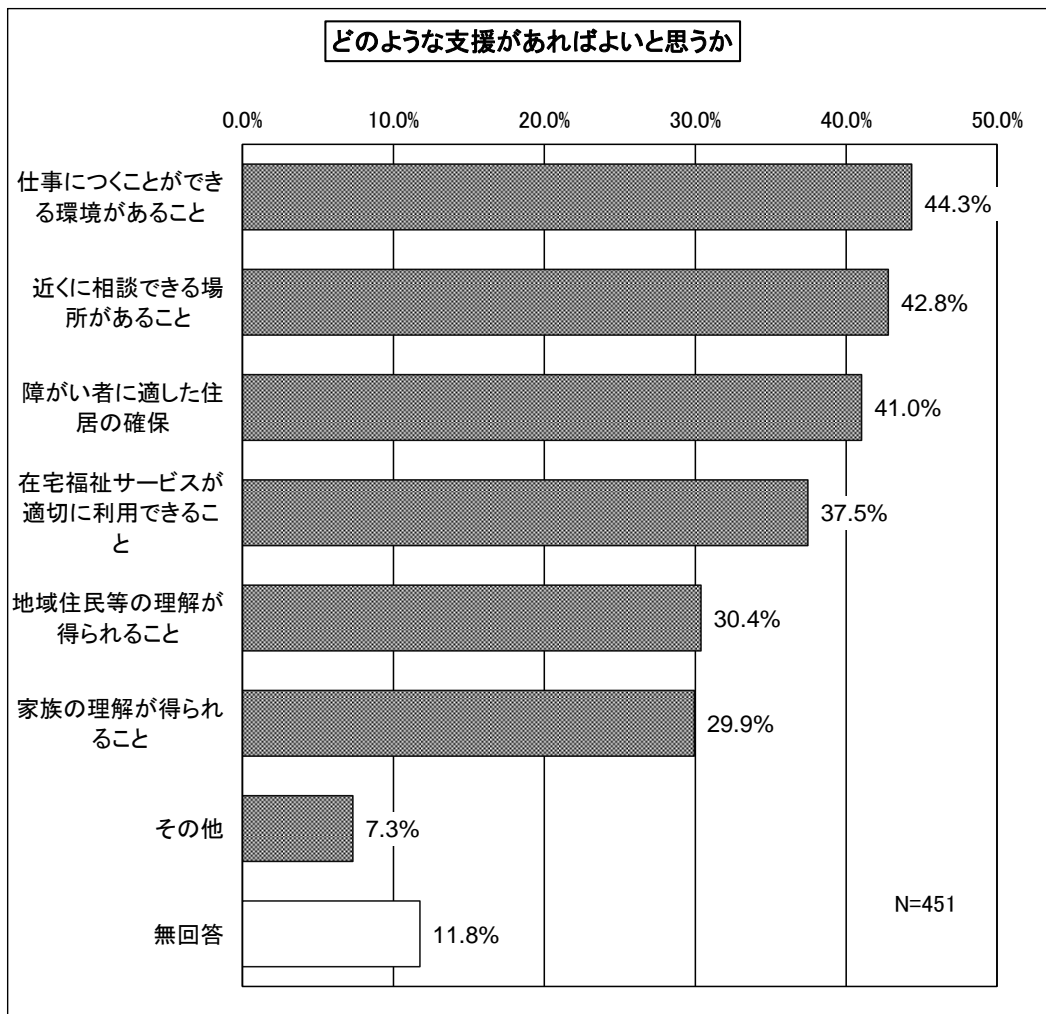


障がい種別にみると、「グループホームなどを利用したい」という回答は「知的障がい」で24.7%と高くなっています。

	グループホームなどを利用したい	家族と一緒に生活したい	一般の住宅でひとり暮らしをしたい	施設で暮らしたい	その他	無回答
身体 (N=165)	3.6%	56.4%	21.8%	8.5%	3.0%	6.7%
知的 (N=73)	24.7%	46.6%	19.2%	2.7%	1.4%	5.5%
精神 (N=41)	9.8%	53.7%	22.0%	2.4%	9.8%	2.4%
難病 (N=40)	0.0%	77.5%	12.5%	0.0%	5.0%	5.0%
重複 (N=117)	5.1%	49.6%	18.8%	11.1%	7.7%	7.7%
持っていない (N=15)	6.7%	60.0%	6.7%	20.0%	6.7%	0.0%
合計 (N=451)	7.8%	54.8%	19.3%	7.3%	4.9%	6.0%

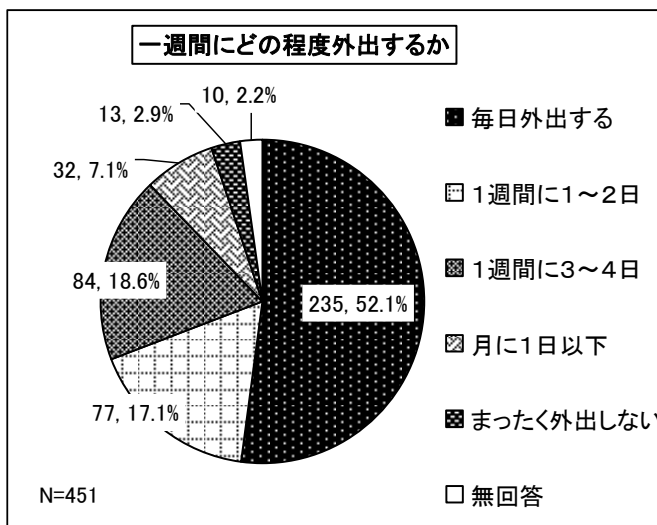
問 16 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。

どのような支援があればよいと思うかの第 1 位は「仕事につくことができる環境があること」の 44.3%、第 2 位は「近くに相談できる場所があること」の 42.8%、第 3 位は「障がい者に適した住居の確保」の 41.0%、第 4 位は「在宅福祉サービスが適切に利用できること」の 37.5%、第 5 位は「地域住民等の理解が得られること」の 30.4%等となっています。



問 17 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。

一週間にどの程度外出するかをみると、「毎日外出する」が52.1%で最も多く、次いで「1週間に3～4日」の18.6%、「1週間に1～2日」の17.1%、「月に1日以下」の7.1%、「まったく外出しない」の2.9%となっています。

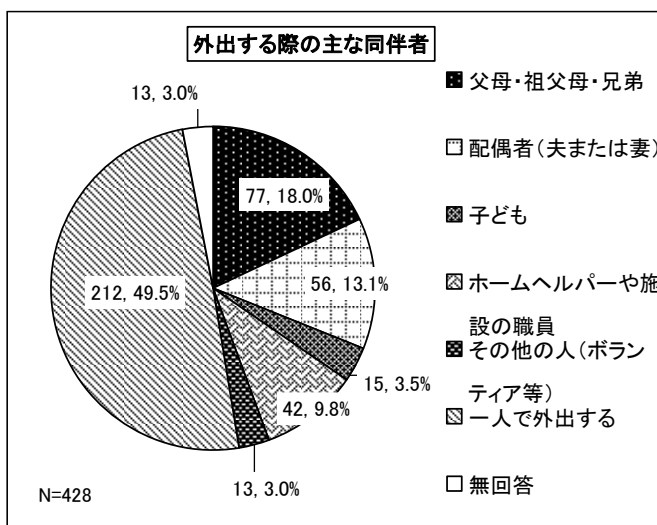


障がい種別にみると、「毎日外出する」割合は、「手帳を持っていない」、「難病」、「知的障がい」で全体割合より高くなっています。「重複障がい」では、「月に1回以下」及び「まったく外出しない」割合が全体割合よりも高くなっています。

	毎日外出する	1週間に1～2日	1週間に3～4日	月に1回以下	まったく外出しない	無回答
身体 (N=165)	50.3%	15.8%	20.6%	6.7%	3.6%	3.0%
知的 (N=73)	60.3%	15.1%	15.1%	2.7%	2.7%	4.1%
精神 (N=41)	53.7%	7.3%	29.3%	7.3%	2.4%	0.0%
難病 (N=40)	62.5%	17.5%	17.5%	2.5%	0.0%	0.0%
重複 (N=117)	43.6%	23.1%	15.4%	12.8%	3.4%	1.7%
持っていない (N=15)	66.7%	20.0%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%
合計 (N=451)	52.1%	17.1%	18.6%	7.1%	2.9%	2.2%

問 18 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。

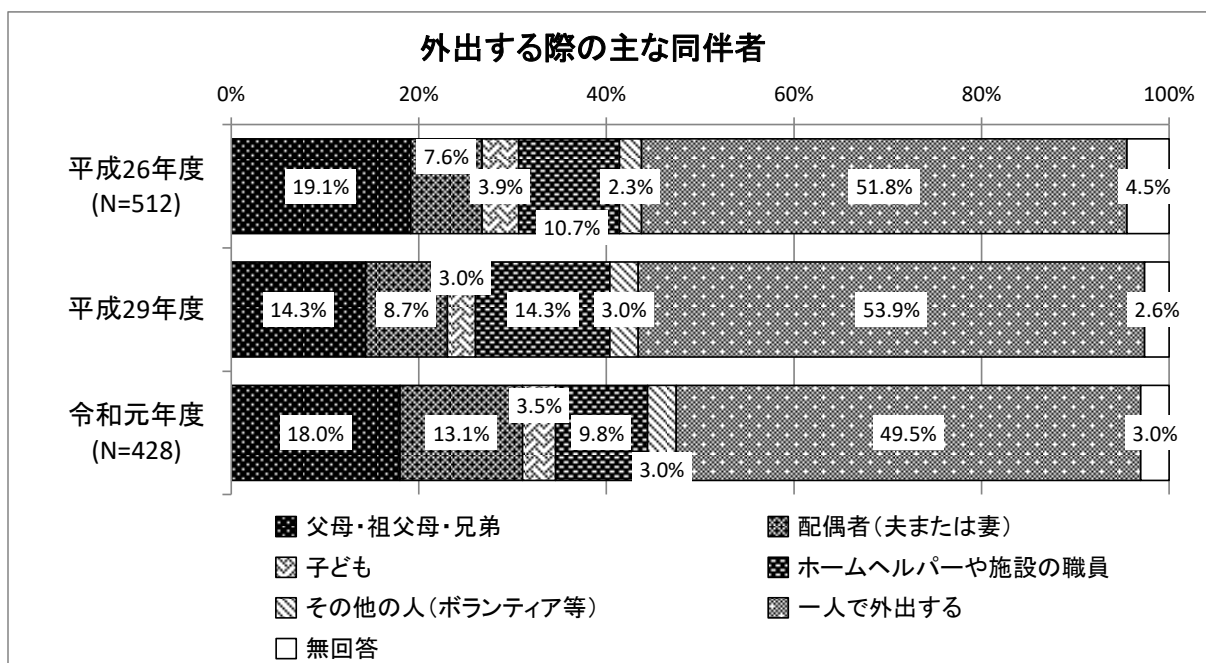
外出する際の主な同伴者をみると、「一人で外出する」が49.5%で最も多く、次いで「父母・祖父母・兄弟」の18.0%、「配偶者(夫または妻)」の13.1%、「ホームヘルパーや施設の職員」の9.8%、「子ども」の3.5%等となっています。



外出する際の同伴者を経年的にみると、「一人で外出する」という回答が低下する一方で「配偶者（夫または妻）」が平成26年度と比較して5.5ポイント上昇しています。

外出する際の主な同伴者

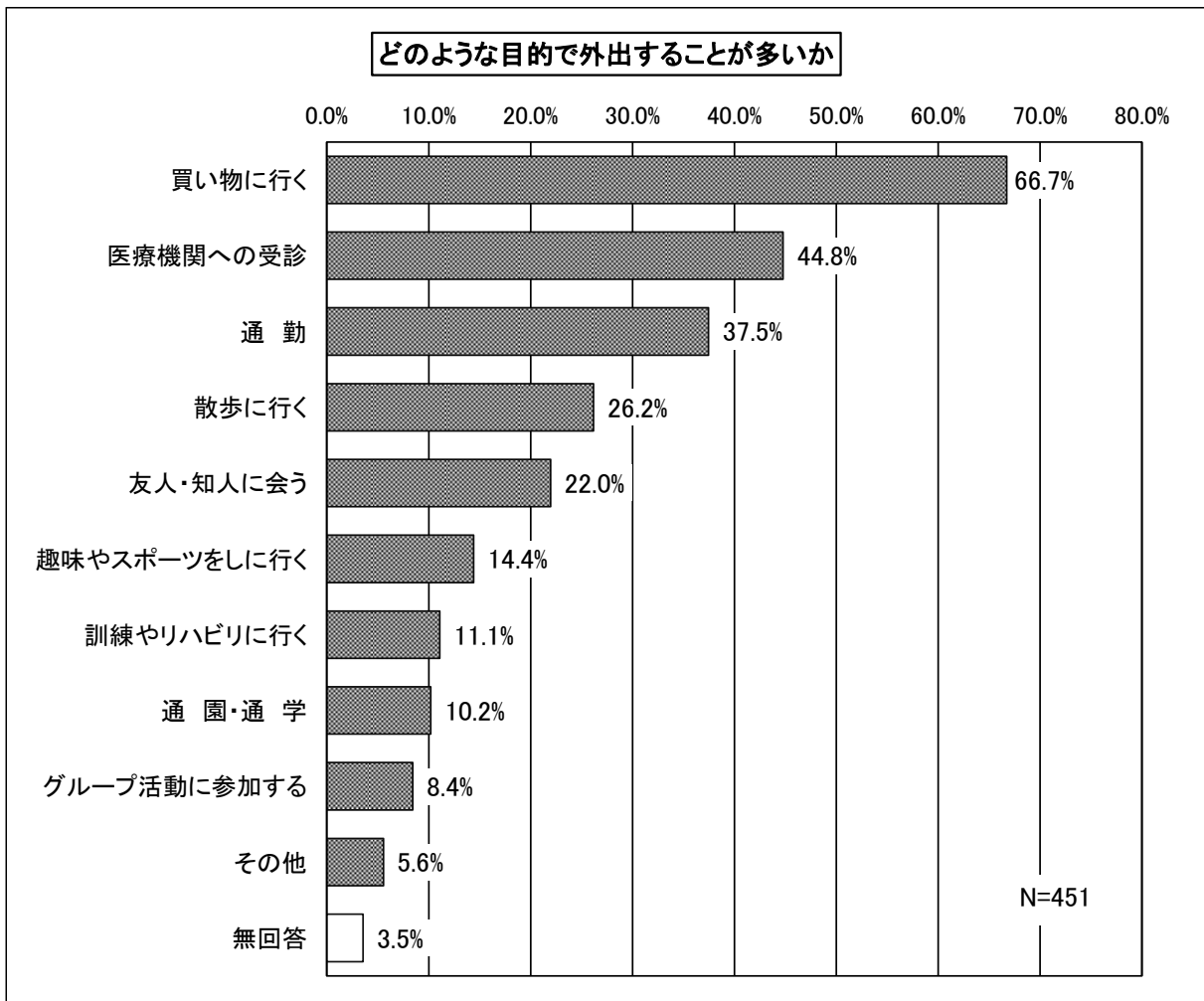
		父母・祖父母・兄弟	配偶者（夫または妻）	子ども	ホームヘルパーや施設の職員	その他の人（ボランティア等）	一人で外出する	無回答	合計
平成26年度	回答者数	98	39	20	55	12	265	23	512
	%	19.1%	7.6%	3.9%	10.7%	2.3%	51.8%	4.5%	100.0%
平成29年度	%	14.3%	8.7%	3.0%	14.3%	3.0%	53.9%	2.6%	100.0%
令和元年度	回答者数	77	56	15	42	13	212	13	428
	%	18.0%	13.1%	3.5%	9.8%	3.0%	49.5%	3.0%	100.0%





問 19 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。

どのような目的で外出することが多いかの第 1 位は「買い物に行く」の 66.7%、第 2 位は「医療機関への受診」の 44.8%、第 3 位は「通勤」の 37.5%、第 4 位は「散歩に行く」の 26.2%、第 5 位は「友人・知人に会う」の 22.0%等となっています。



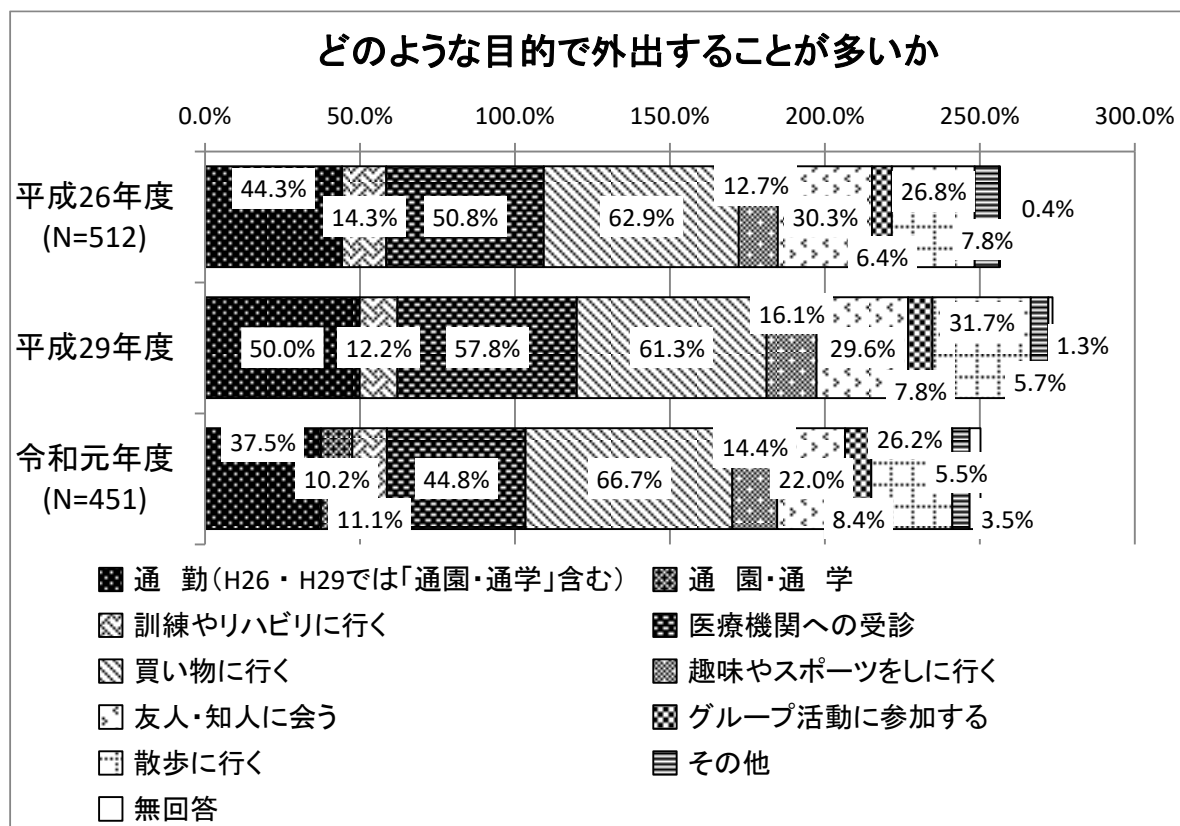
外出の目的を経年的にみると、上位の3項目は「通勤及び通園・通学」、「医療機関への受診」、「買い物に行く」で共通しています。

「友人・知人に会う」との回答は、平成26年度と比較して8.3ポイントと大きく低下しています。

どのような目的で外出することが多いか

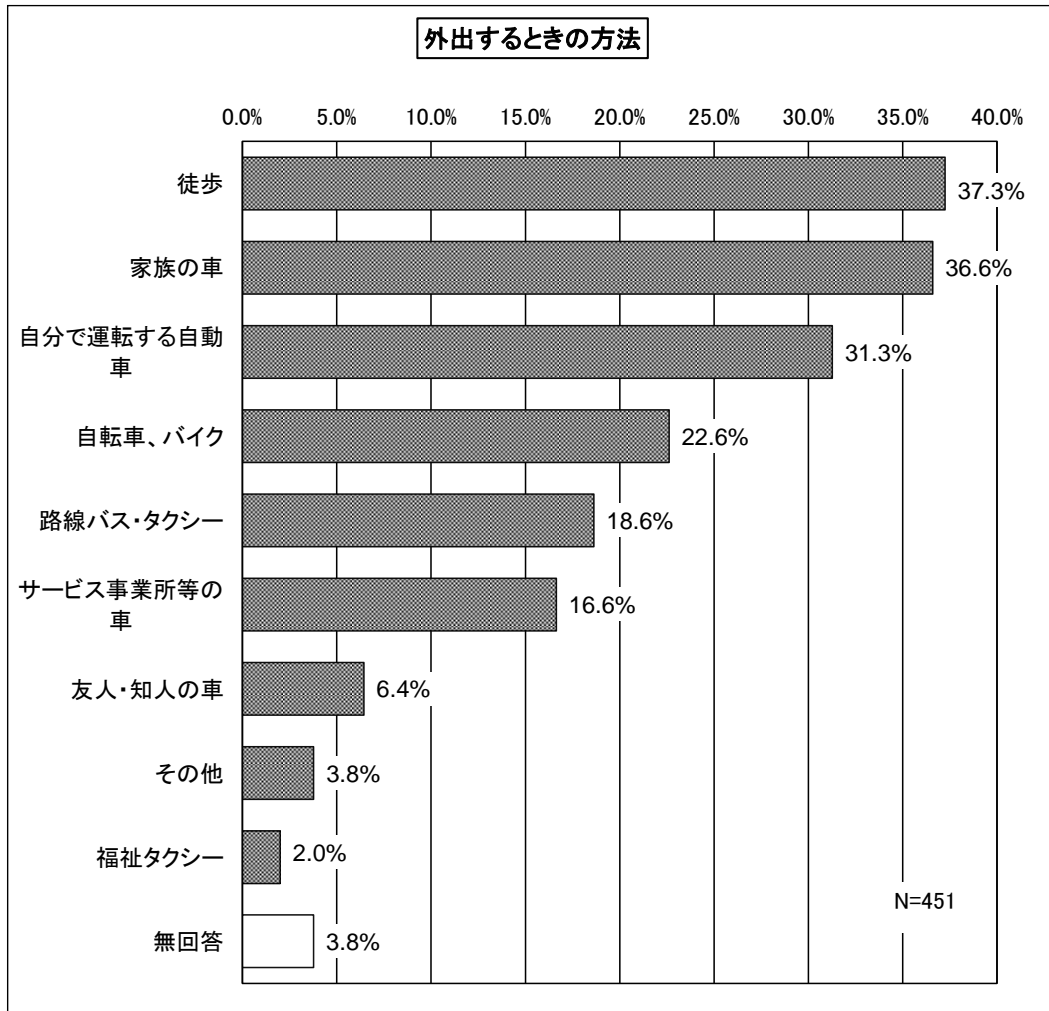
		通勤	通園・通学	訓練やリハビリに行く	医療機関への受診	買い物に行く	趣味やスポーツをしに行く	友人・知人に会う	グループ活動に参加する	散歩に行く	その他	無回答	合計
平成26年度	回答者数	227		73	260	322	65	155	33	137	40	2	512
	%	44.3%		14.3%	50.8%	62.9%	12.7%	30.3%	6.4%	26.8%	7.8%	0.4%	100.0%
平成29年度	%	50.0%		12.2%	57.8%	61.3%	16.1%	29.6%	7.8%	31.7%	5.7%	1.3%	100.0%
令和元年度	回答者数	169	46	50	202	301	65	99	38	118	25	16	451
	%	37.5%	10.2%	11.1%	44.8%	66.7%	14.4%	22.0%	8.4%	26.2%	5.5%	3.5%	100.0%

※平成26・29年度は「通勤・通学・通所」との項目になっており、回答を統合しております。



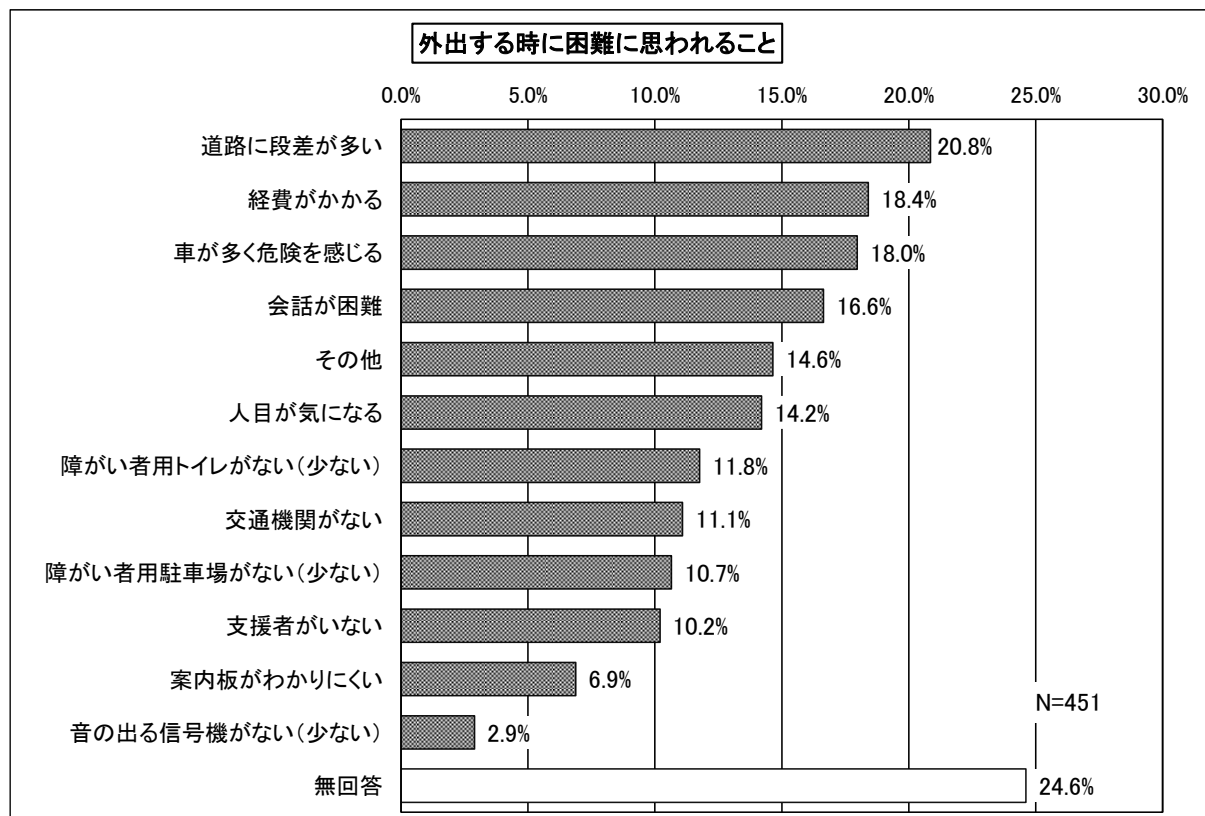
問 20 外出するときの方法をお答えください。

外出するときの方法の第 1 位は「徒歩」の 37.3%、第 2 位は「家族の車」の 36.6%、第 3 位は「自分で運転する自動車」の 31.3%、第 4 位は「自転車、バイク」の 22.6%、第 5 位は「路線バス・タクシー」の 18.6%等となっています。



問 21 外出する時に困難に思われることはどれですか。

外出する時に困難に思われることの第1位は「道路に段差が多い」の20.8%、第2位は「経費がかかる」の18.4%、第3位は「車が多く危険を感じる」の18.0%、第4位は「会話が困難」の16.6%、第5位は「その他（自分の車がない、特にないなど）」の14.6%等となっています。

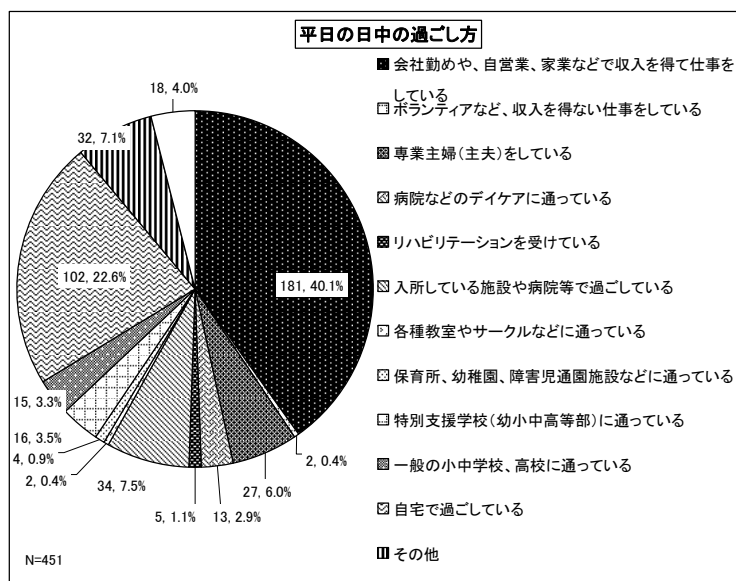


障がい種別の割合を全体の割合と比較すると、「身体障がい」では「道路に段差が多い」及び「障がい者専用駐車場がない(少ない)」、「知的障がい」では「会話が困難」及び「案内板がわかりにくい」、「精神障がい」では「人目が気になる」及び「案内板がわかりにくい」、「難病」では「交通機関がない」及び「その他」、「重複障がい」では「支援者がいない」及び「障がい者用トイレがない」の割合が高くなっています。

	支援者がいない	交通機関がない	経費がかかる	車が多く危険を感じる	人目が気になる	会話が困難	道路に段差が多い	案内板がわかりにくい	音の出る信号機がない(少ない)	障がい者用トイレがない(少ない)	障がい者専用駐車場がない(少ない)	その他	無回答
身体(N=165)	7.3%	12.7%	21.8%	16.4%	10.3%	10.9%	24.2%	6.1%	3.0%	10.9%	12.7%	13.9%	23.6%
知的(N=73)	13.7%	11.0%	9.6%	21.9%	19.2%	30.1%	6.8%	11.0%	2.7%	6.8%	4.1%	11.0%	28.8%
精神(N=41)	7.3%	9.8%	22.0%	24.4%	24.4%	12.2%	9.8%	12.2%	2.4%	4.9%	2.4%	14.6%	26.8%
難病(N=40)	0.0%	15.0%	15.0%	15.0%	7.5%	0.0%	25.0%	7.5%	5.0%	10.0%	7.5%	22.5%	32.5%
重複(N=117)	17.9%	8.5%	19.7%	14.5%	14.5%	23.1%	23.9%	3.4%	2.6%	19.7%	15.4%	16.2%	20.5%
持っていない(N=15)	0.0%	6.7%	13.3%	33.3%	20.0%	20.0%	46.7%	6.7%	0.0%	6.7%	13.3%	6.7%	20.0%
合計(N=451)	10.2%	11.1%	18.4%	18.0%	14.2%	16.6%	20.8%	6.9%	2.9%	11.8%	10.6%	14.6%	24.6%

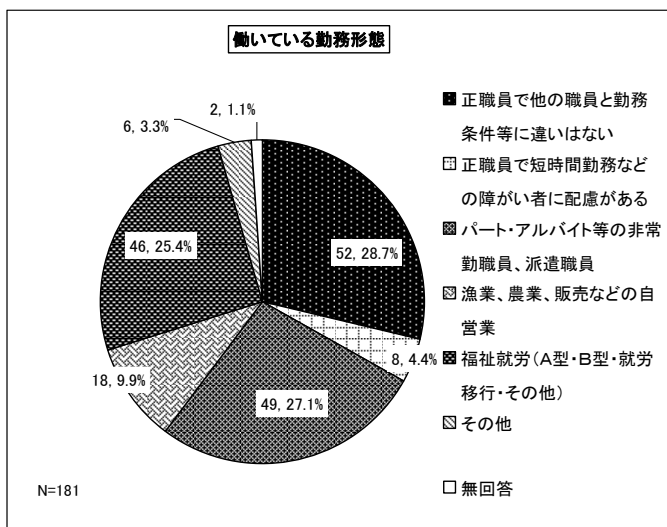
問 22 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。

平日の日中の過ごし方をみると、「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が40.1%で最も多く、次いで「自宅で過ごしている」の22.6%、「入所している施設や病院等で過ごしている」の7.5%、「その他（就労継続支援施設に通っているなど）」の7.1%、「専業主婦（主夫）をしている」の6.0%等となっています。



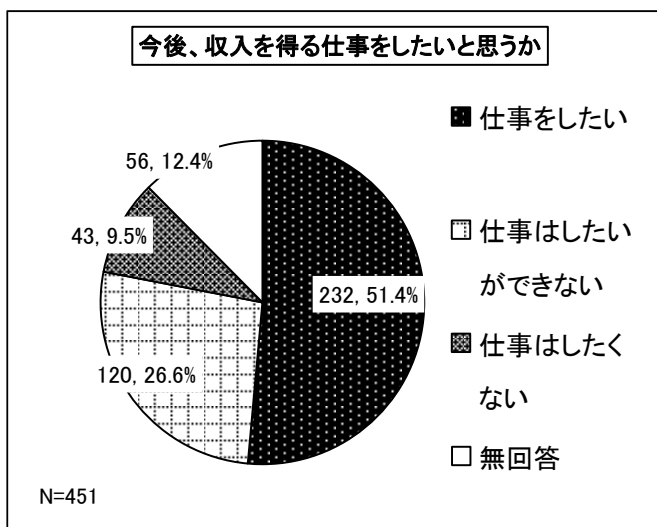
問 23 どのような勤務形態で働いていますか。

働いている勤務形態をみると、「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」が28.7%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」の27.1%、「福祉就労（A型・B型・就労移行・その他）」の25.4%、「漁業、農業、販売などの自営業」の9.9%、「正職員で短時間勤務などの障がい者に配慮がある」の4.4%等となっています。



問 24 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。

今後、収入を得る仕事をしたいと思うかをみると、「仕事をしたい」が51.4%で最も多く、次いで「仕事はしたいができない」の26.6%、「仕事はしたくない」の9.5%となっています。



障がい種別の割合を全体の割合と比較すると、「仕事をしたい」という回答割合は「知的障がい」と「難病」、「仕事はしたいができない」では「重複障がい」、「仕事はしたくない」では「精神障がい」で高くなっています。

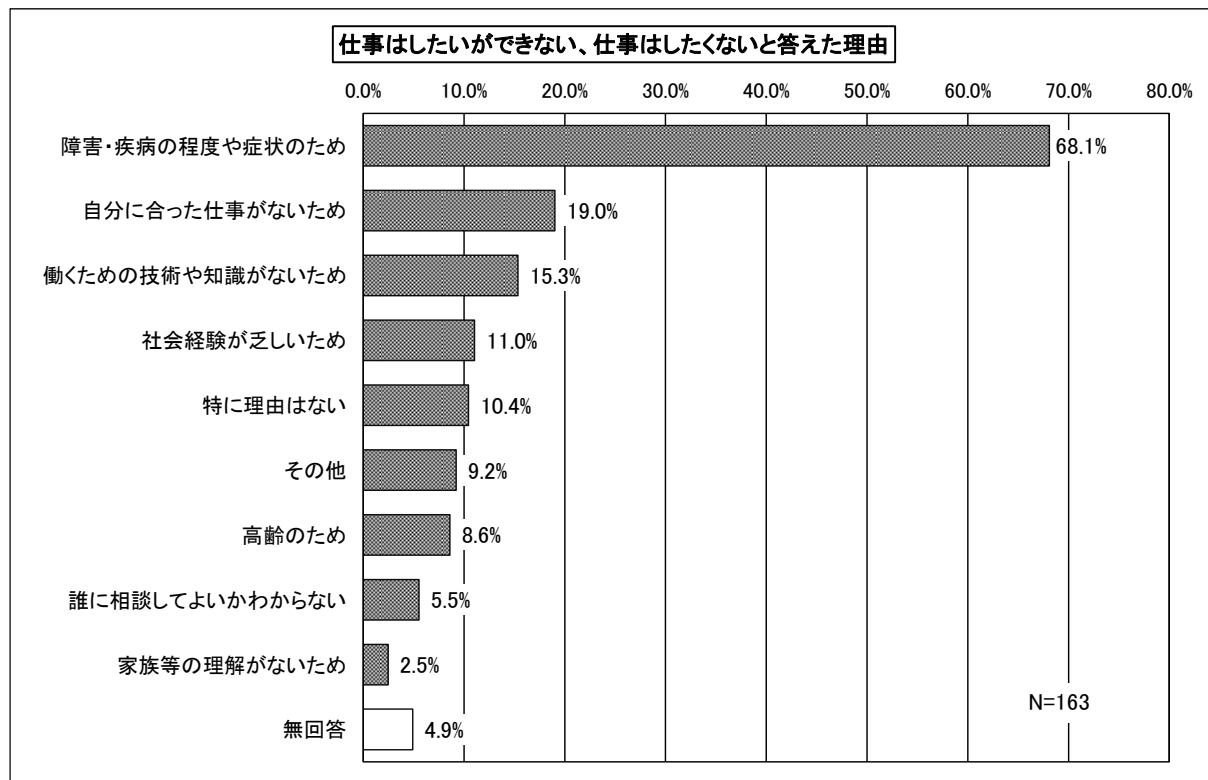
	仕事をしたい	仕事はしたいができない	仕事はしたくない	無回答
身体 (N=165)	47.9%	27.9%	8.5%	15.8%
知的 (N=73)	68.5%	13.7%	8.2%	9.6%
精神 (N=41)	53.7%	22.0%	14.6%	9.8%
難病 (N=40)	62.5%	17.5%	2.5%	17.5%
重複 (N=117)	40.2%	39.3%	11.1%	9.4%
持っていない (N=15)	60.0%	13.3%	20.0%	6.7%
合計 (N=451)	51.4%	26.6%	9.5%	12.4%

「仕事をしたい」という回答割合の推移をみると、平成26年度39.3%、平成29年度47.7%、令和元年度51.4%となり経年的に増加傾向にあります。

	仕事をしたい
平成26年度	39.3%
平成29年度	47.7%
令和元年度	51.4%

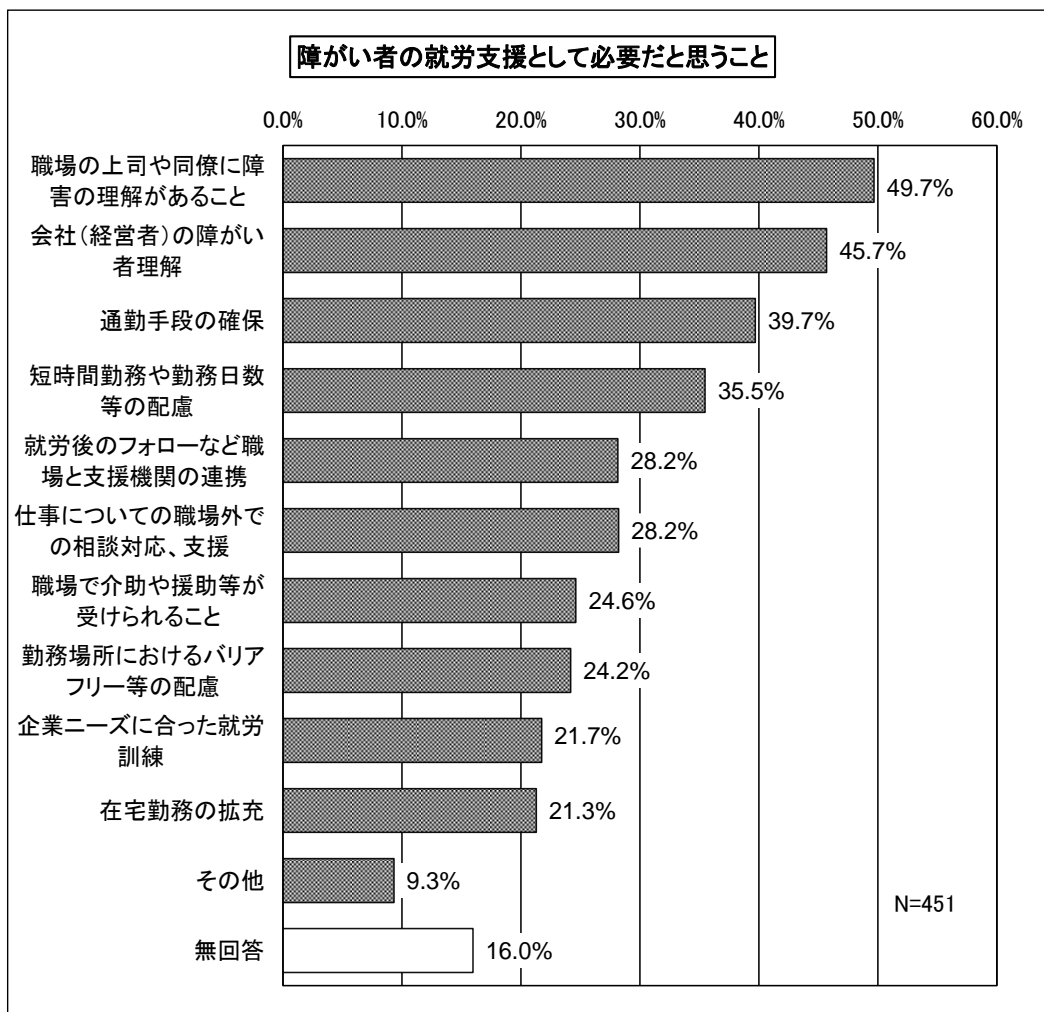
問 25 仕事はしたいができない、仕事はしたくないと答えた理由は何ですか。

仕事はしたいができない、仕事はしたくないと答えた理由の第1位は「障害・疾病の程度や症状のため」の68.1%、第2位は「自分に合った仕事がないため」の19.0%、第3位は「働くための技術や知識がないため」の15.3%、第4位は「社会経験が乏しいため」の11.0%、第5位は「特に理由はない」の10.4%等となっています。



問 26 障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。

障がい者の就労支援として必要だと思うことの第1位は「職場の上司や同僚に障害の理解があること」の49.7%、第2位は「会社（経営者）の障がい者理解」の45.7%、第3位は「通勤手段の確保」の39.7%、第4位は「短時間勤務や勤務日数等の配慮」の35.5%、第5位は「就労後のフォローなど職場と支援機関の連携」及び「仕事についての職場外での相談対応、支援」が同率の28.2%等となっています。

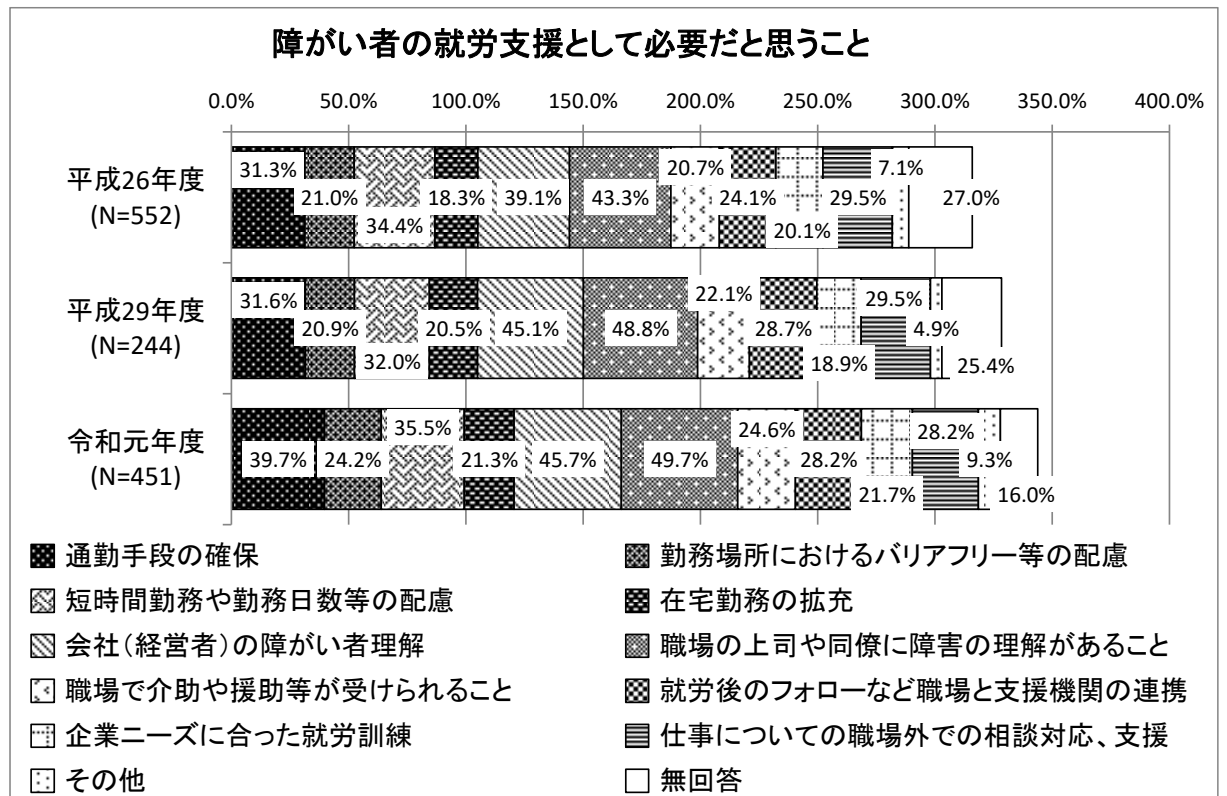




障がい者の就労支援として必要だと思うこと経年的にみると、無回答の割合が低下することで他の選択肢の割合が上昇しており、就労支援に対する意識の高まりが伺えます。

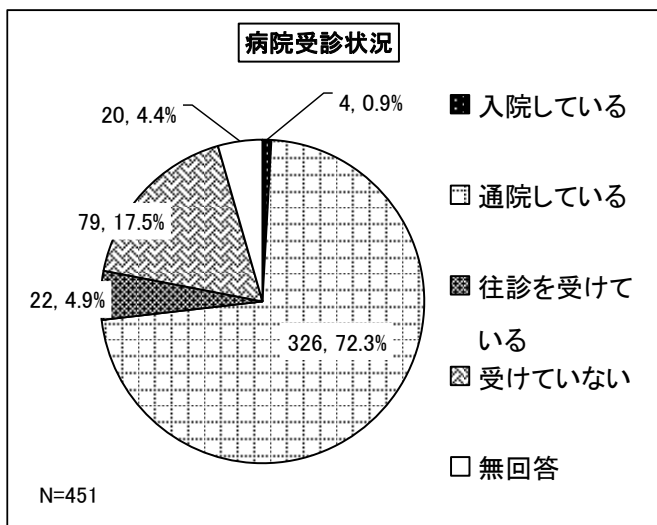
障がい者の就労支援として必要だと思うこと

	通勤手段の確保	勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	短時間勤務や勤務日数等の配慮	在宅勤務の拡充	会社(経営者)の障がい者理解	職場の上司や同僚に障害の理解があること	職場で介助や援助等が受けられること	就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	企業ニーズに合った就労訓練	仕事についての職場外での相談対応、支援	その他	無回答	合計
平成26年度	回答者数 173	116	190	101	216	239	114	133	111	163	39	149	552
	% 31.3%	21.0%	34.4%	18.3%	39.1%	43.3%	20.7%	24.1%	20.1%	29.5%	7.1%	27.0%	100.0%
平成29年度	回答者数 179	109	160	96	206	224	111	127	98	127	42	72	451
	% 31.6%	20.9%	32.0%	20.5%	45.1%	48.8%	22.1%	28.7%	18.9%	29.5%	4.9%	25.4%	100.0%
令和元年度	回答者数 179	109	160	96	206	224	111	127	98	127	42	72	451
	% 39.7%	24.2%	35.5%	21.3%	45.7%	49.7%	24.6%	28.2%	21.7%	28.2%	9.3%	16.0%	100.0%



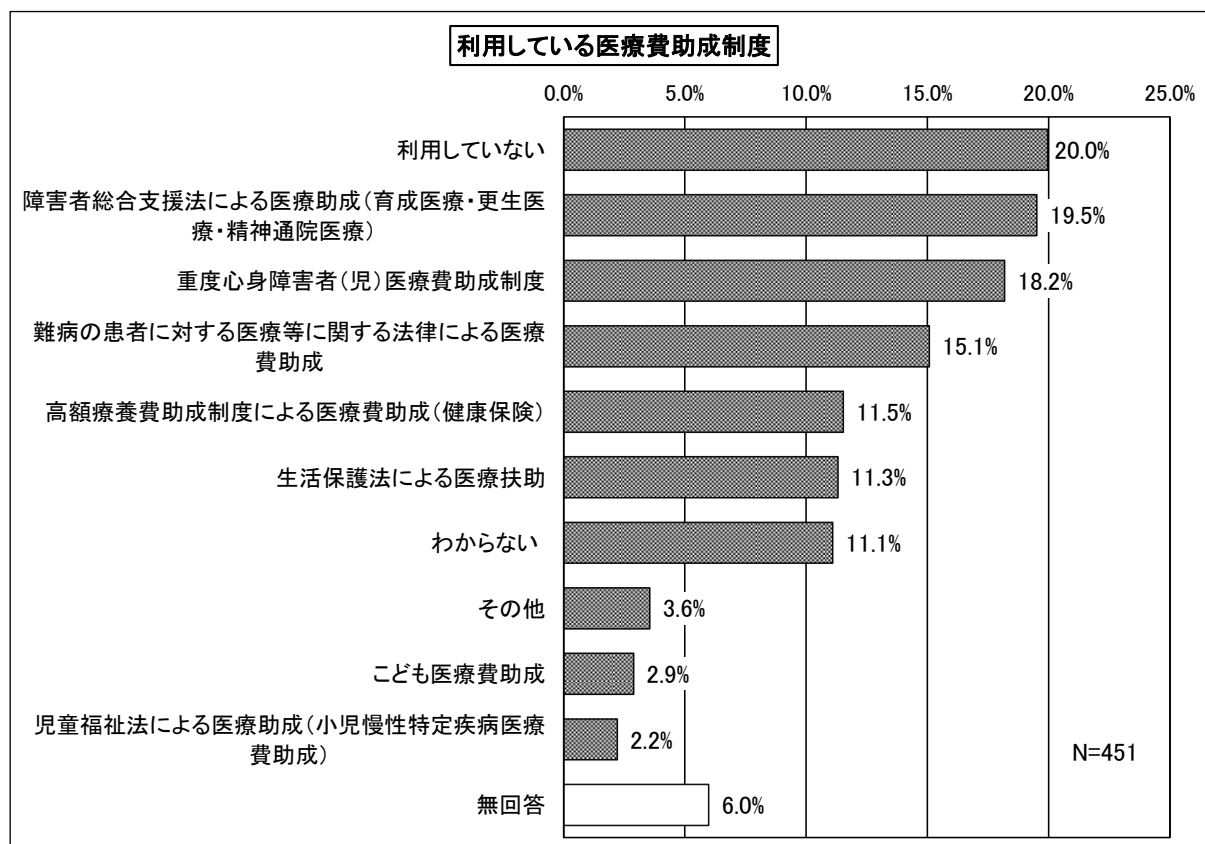
問 27 病院受診状況についてお答えください。

病院受診状況をみると、「通院している」が72.3%で最も多く、次いで「受けていない」の17.5%、「往診を受けている」の4.9%、「入院している」の0.9%となっています。



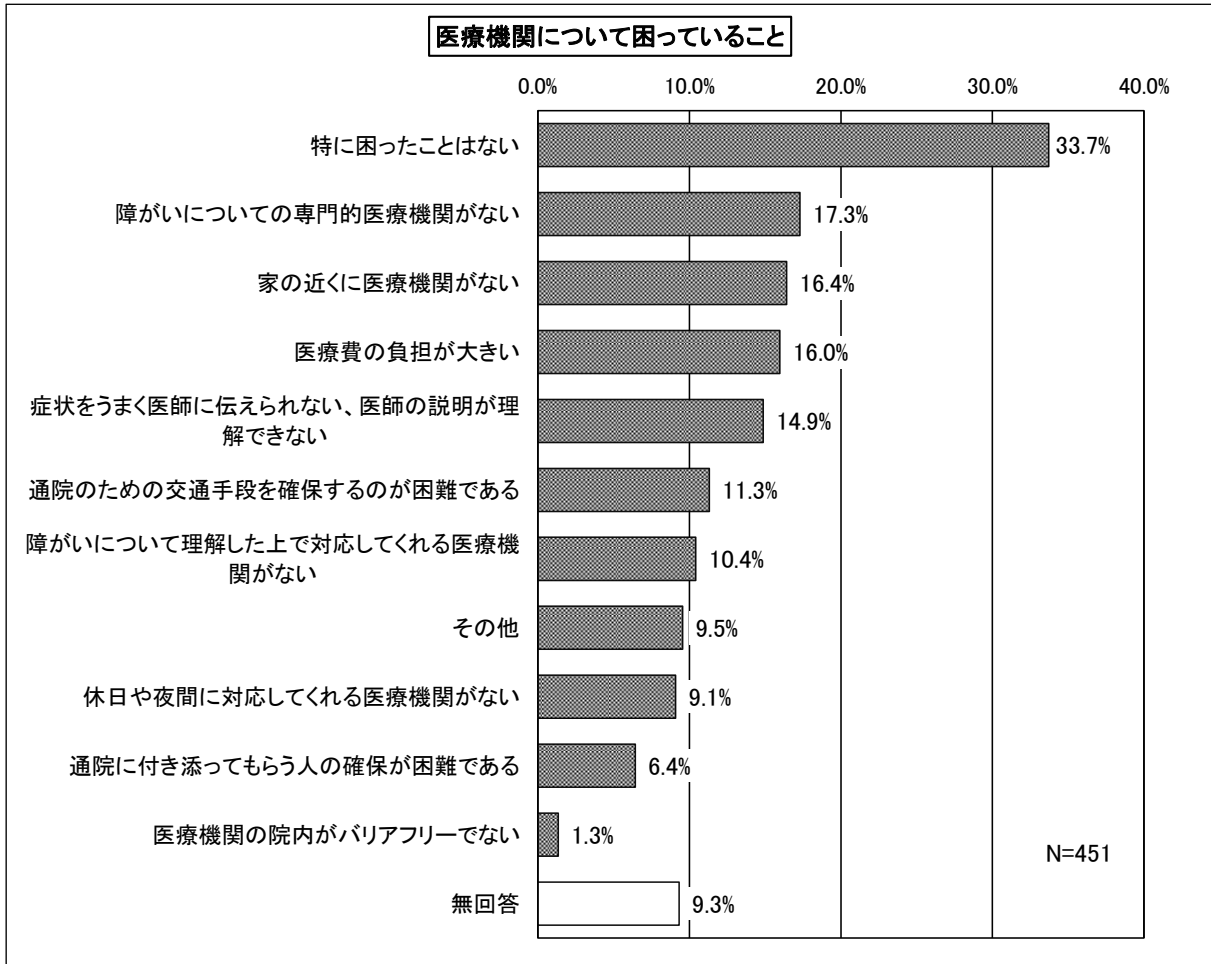
問 28 現在利用している医療費助成制度は何ですか。

利用している医療費助成制度の第1位は「利用していない」の20.0%、第2位は「障害者総合支援法による医療助成（育成医療・更生医療・精神通院医療）」の19.5%、第3位は「重度心身障害者（児）医療費助成制度」の18.2%、第4位は「難病の患者に対する医療等に関する法律による医療費助成」の15.1%、第5位は「高額療養費助成制度による医療費助成（健康保険）」の11.5%等となっています。



問 29 医療機関について困っていることがありますか。

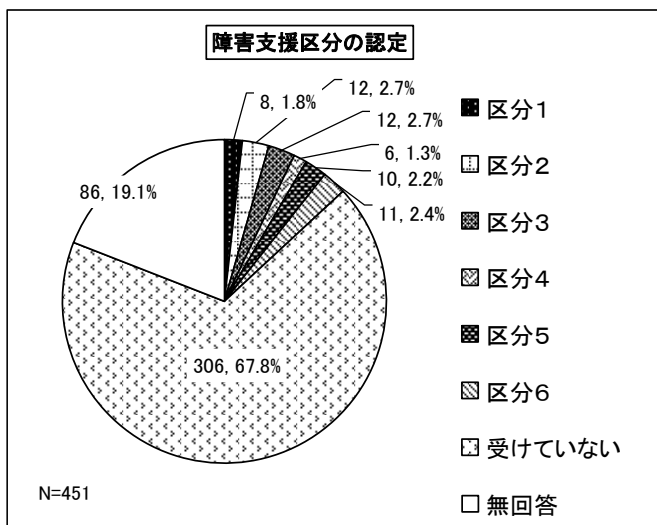
医療機関について困っていることの第1位は「特に困ったことはない」の33.7%、第2位は「障がいについての専門的医療機関がない」の17.3%、第3位は「家の近くに医療機関がない」の16.4%、第4位は「医療費の負担が大きい」の16.0%、第5位は「症状をうまく医師に伝えられない、医師の説明が理解できない」の14.9%等となっています。



問 30 障害支援区分の認定を受けていますか。

障害支援区分の認定をみると、「受けていない」が67.8%で最も多く、次いで「区分2」及び「区分3」が同率の2.7%、「区分6」の2.4%、「区分5」の2.2%等となっています。

障害支援区分の認定を受けている割合は、回答者の13.1%となっています。

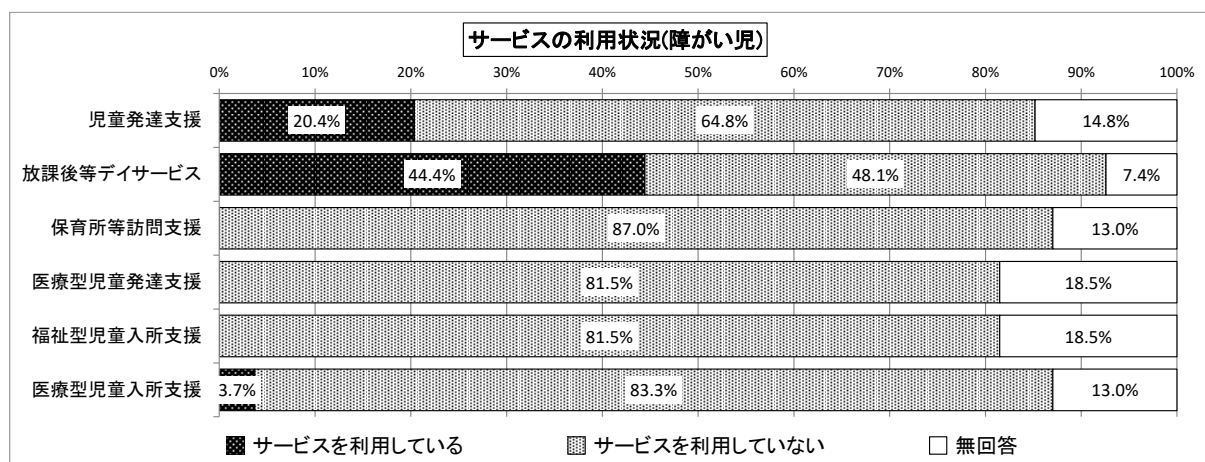
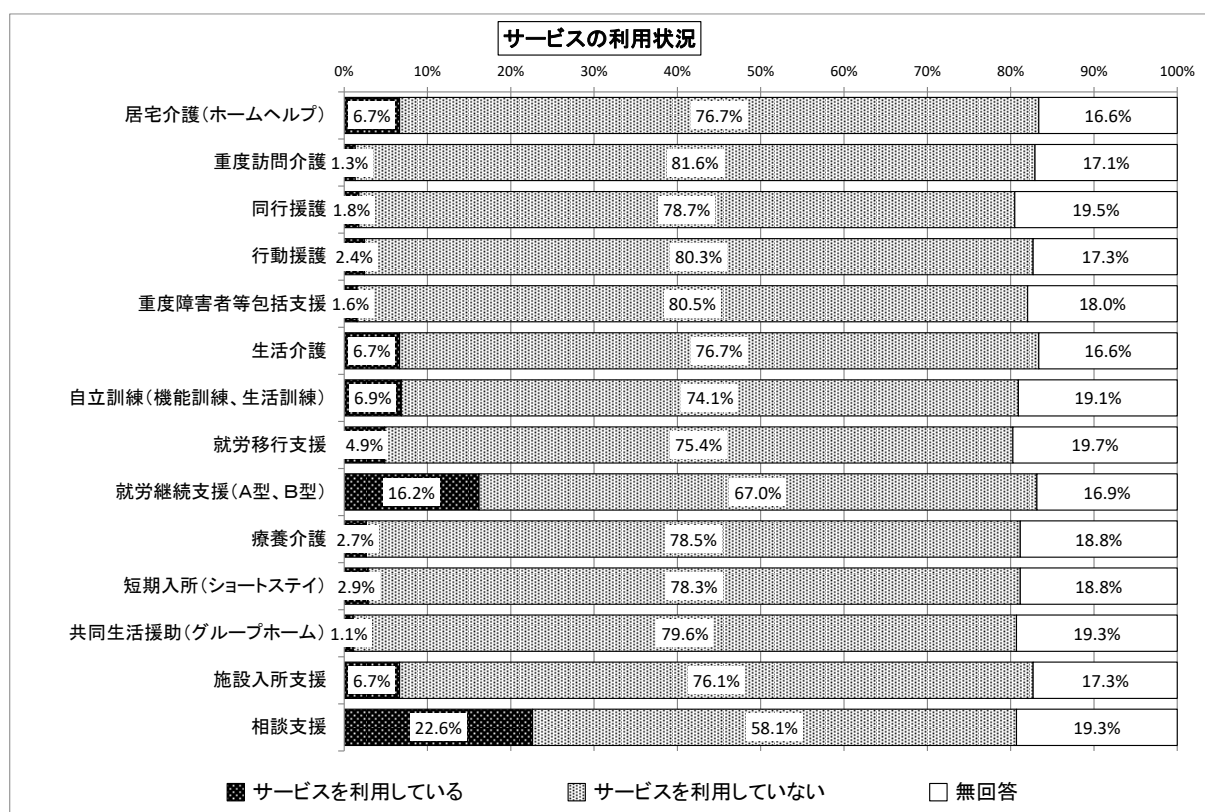


問 31 障がい福祉サービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。

サービスの利用状況を見ると、何かしらの障害福祉サービスを利用しているという回答は、20歳以上で36.5%、20歳未満で63.0%となっています。

利用しているサービス（障がい児サービスを除く）で最も多いのは「相談支援」の22.6%で、次いで「就労継続支援（A型、B型）」の16.2%、「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」の6.9%、「居宅介護（ホームヘルプ）」及び「生活介護」、「施設入所支援」がともに6.7%となっています。

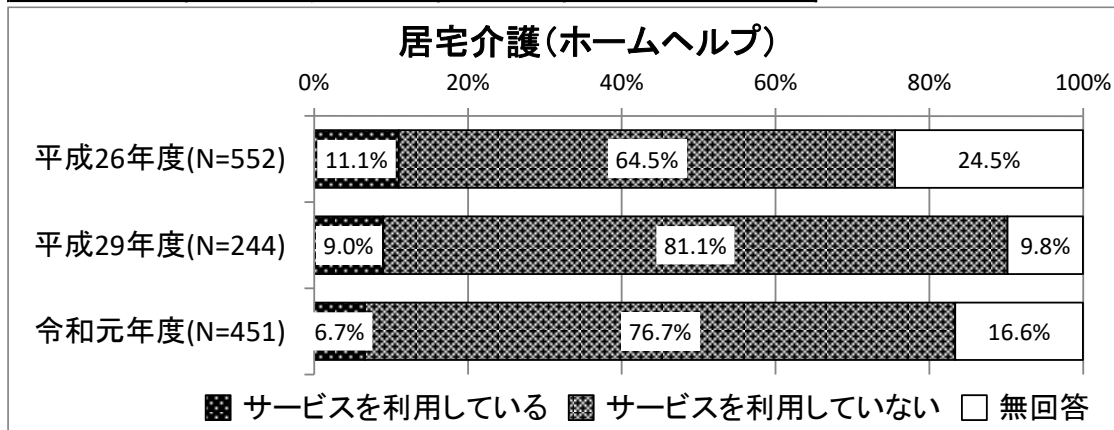
障がい児サービスで最も多いのは「放課後等デイサービス」の44.4%、「児童発達支援」の20.4%、「医療型児童入所支援」の3.7%等となっています。



居宅介護（ホームヘルプ）について、「サービスを利用している」との回答は平成 26 年度と比較して、経年的に低下傾向にあります。

#### 居宅介護（ホームヘルプ）

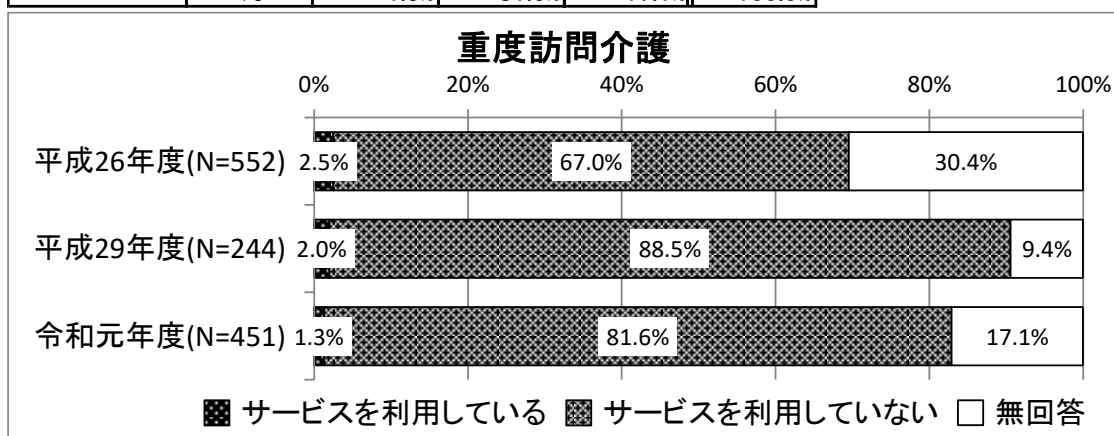
		サービス を利用し ている	サービス を利用し ていない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	61	356	135	552
	%	11.1%	64.5%	24.5%	100.0%
平成29年度	%	9.0%	81.1%	9.8%	100.0%
	回答者数	30	346	75	451
令和元年度	%	6.7%	76.7%	16.6%	100.0%



重度訪問介護について、「サービスを利用している」との回答は平成 26 年度と比較して経年的に低下傾向にあります。

#### 重度訪問介護

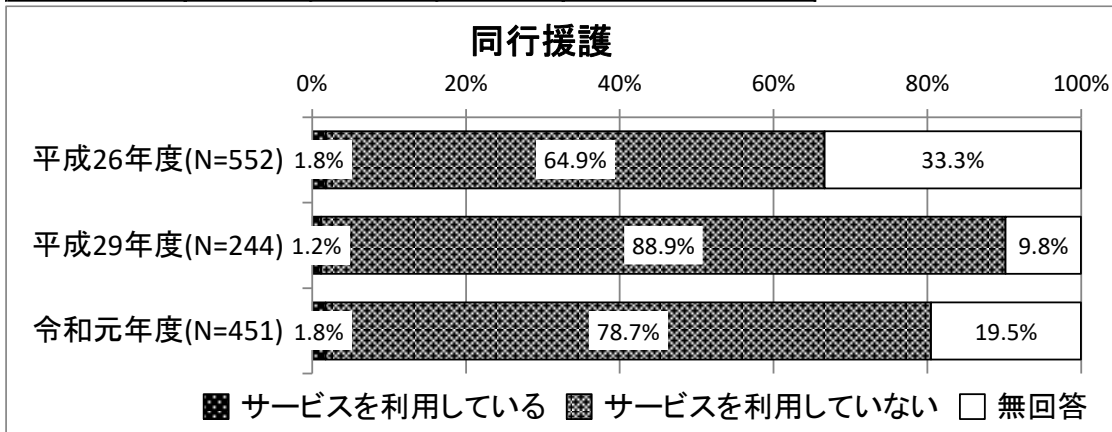
		サービス を利用し ている	サービス を利用し ていない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	14	370	168	552
	%	2.5%	67.0%	30.4%	100.0%
平成29年度	%	2.0%	88.5%	9.4%	100.0%
	回答者数	6	368	77	451
令和元年度	%	1.3%	81.6%	17.1%	100.0%



同行援護について、「サービスを利用している」との回答は平成26年度と変わりません。

同行援護

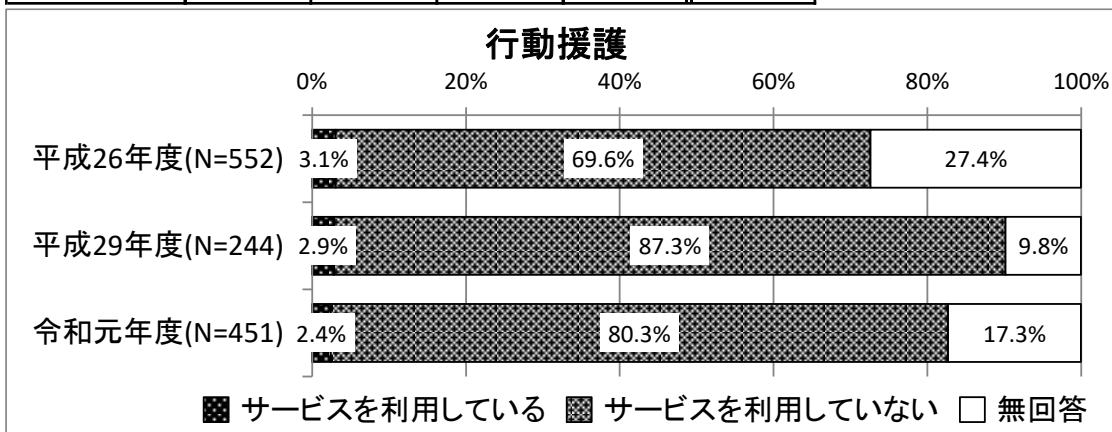
		サービス を利用し ている	サービス を利用し ていない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	10	358	184	552
	%	1.8%	64.9%	33.3%	100.0%
平成29年度	%	1.2%	88.9%	9.8%	100.0%
	回答者数	8	355	88	451
令和元年度	%	1.8%	78.7%	19.5%	100.0%



行動援護について、「サービスを利用している」との回答は平成26年度と比較して経年的に低下傾向にあります。

行動援護

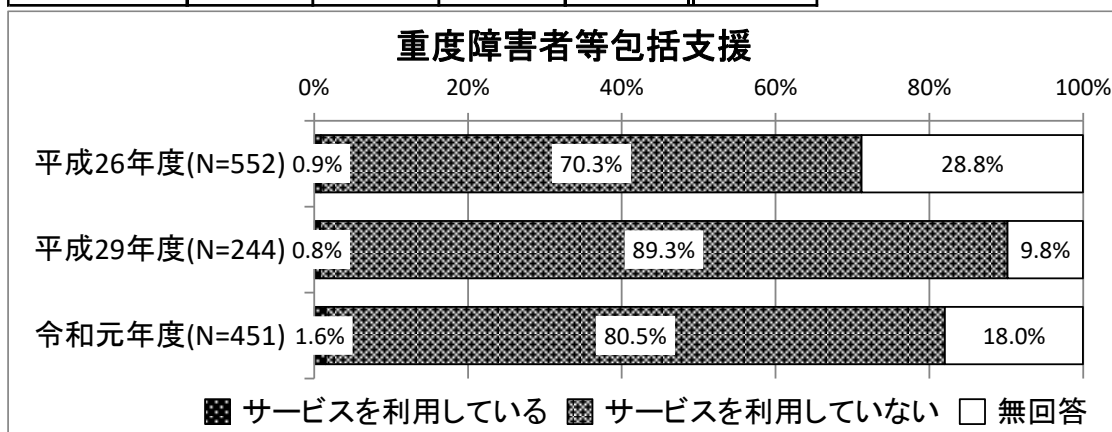
		サービス を利用し ている	サービス を利用し ていない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	17	384	151	552
	%	3.1%	69.6%	27.4%	100.0%
平成29年度	%	2.9%	87.3%	9.8%	100.0%
	回答者数	11	362	78	451
令和元年度	%	2.4%	80.3%	17.3%	100.0%



重度障害者等包括支援について、「サービスを利用している」との回答は平成 26 年度と比較して 0.7 ポイント上昇しています。

#### 重度障害者等包括支援

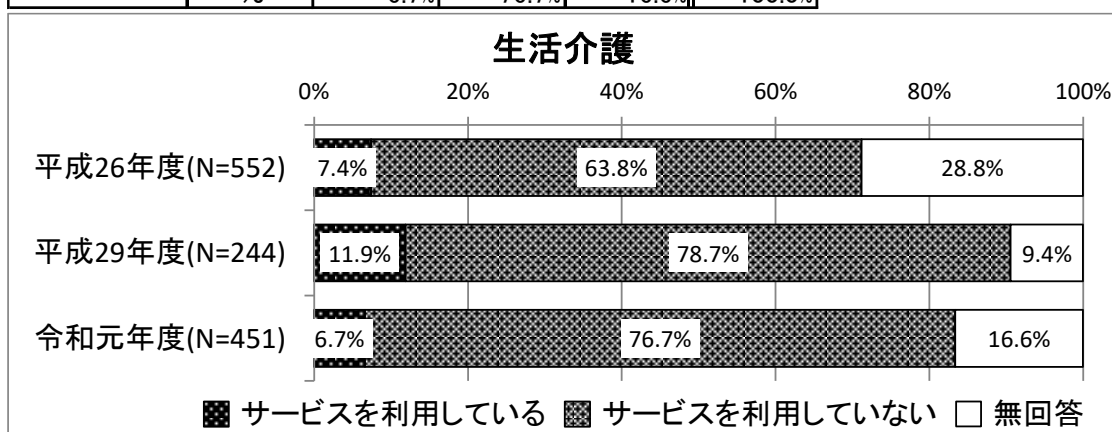
		サービス を利用し ている	サービス を利用し ていない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	5	388	159	552
	%	0.9%	70.3%	28.8%	100.0%
平成29年度	%	0.8%	89.3%	9.8%	100.0%
	回答者数	7	363	81	451
令和元年度	%	1.6%	80.5%	18.0%	100.0%



生活介護について、「サービスを利用している」との回答は、平成 26 年度から平成 29 年度にかけて高くなり、令和元年度は平成 26 年度よりも若干低下しています。

#### 生活介護

		サービス を利用し ている	サービス を利用し ていない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	41	352	159	552
	%	7.4%	63.8%	28.8%	100.0%
平成29年度	%	11.9%	78.7%	9.4%	100.0%
	回答者数	30	346	75	451
令和元年度	%	6.7%	76.7%	16.6%	100.0%

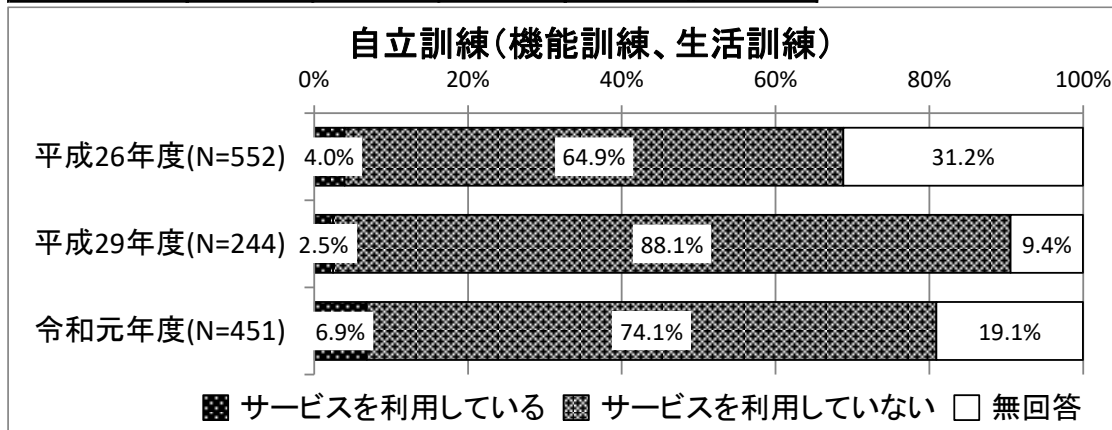




自立訓練（機能訓練、生活訓練）について、「サービスを利用している」との回答は平成 26 年度と比較して 2.9 ポイント上昇しています。

自立訓練（機能訓練、生活訓練）

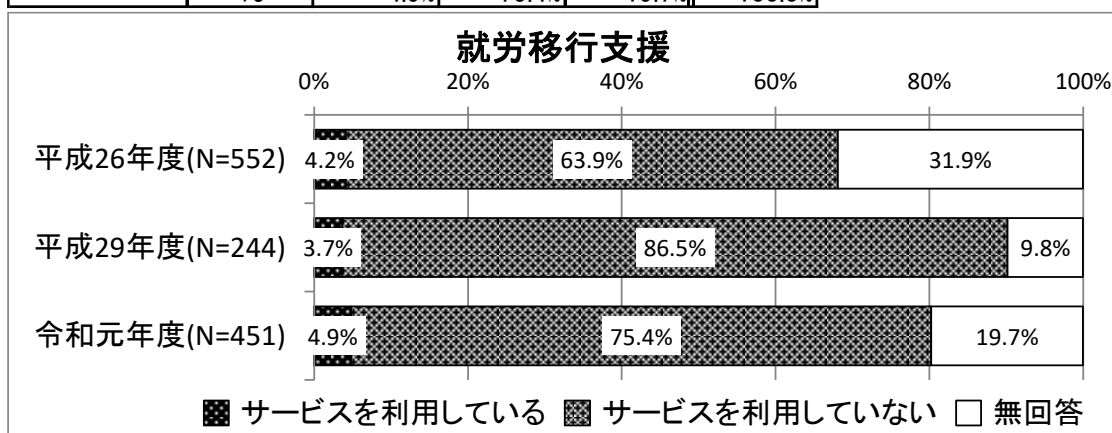
		サービス を利用し ている	サービス を利用し ていない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	22	358	172	552
	%	4.0%	64.9%	31.2%	100.0%
平成29年度	%	2.5%	88.1%	9.4%	100.0%
	回答者数	31	334	86	451
令和元年度	%	6.9%	74.1%	19.1%	100.0%



就労移行支援について、「サービスを利用している」との回答は平成 26 年度と比較して 0.7 ポイント上昇しています。

就労移行支援

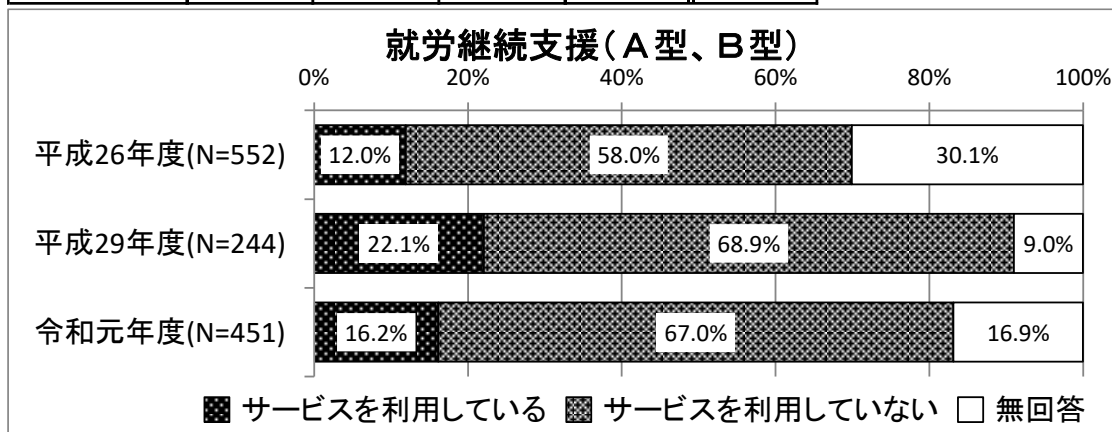
		サービス を利用し ている	サービス を利用し ていない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	23	353	176	552
	%	4.2%	63.9%	31.9%	100.0%
平成29年度	%	3.7%	86.5%	9.8%	100.0%
	回答者数	22	340	89	451
令和元年度	%	4.9%	75.4%	19.7%	100.0%



就労継続支援（A型、B型）について、「サービスを利用している」との回答は平成26年度と比較して4.2ポイント上昇しています。

就労継続支援(A型、B型)

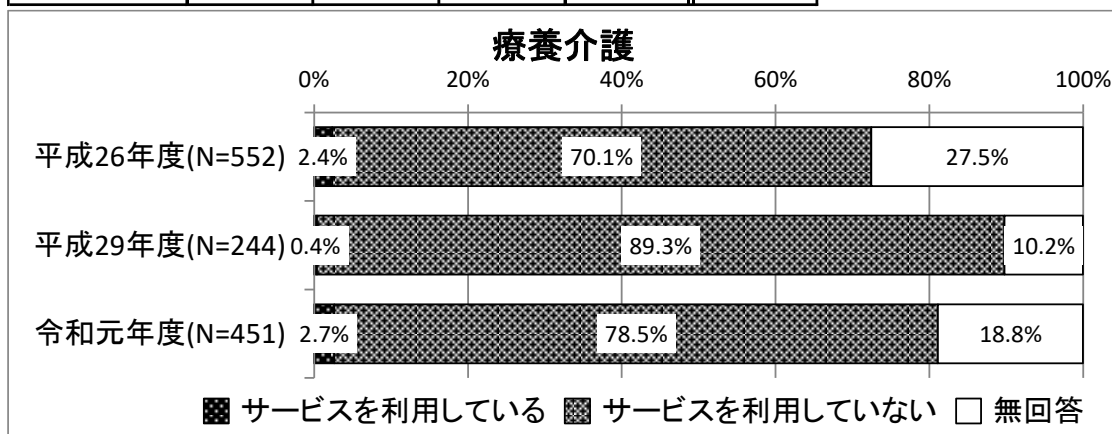
		サービス を利用し ている	サービス を利用し ていない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	66	320	166	552
	%	12.0%	58.0%	30.1%	100.0%
平成29年度	%	22.1%	68.9%	9.0%	100.0%
	回答者数	73	302	76	451
令和元年度	%	16.2%	67.0%	16.9%	100.0%



療養介護について、「サービスを利用している」との回答は平成26年度と比較して0.3ポイント上昇しています。

療養介護

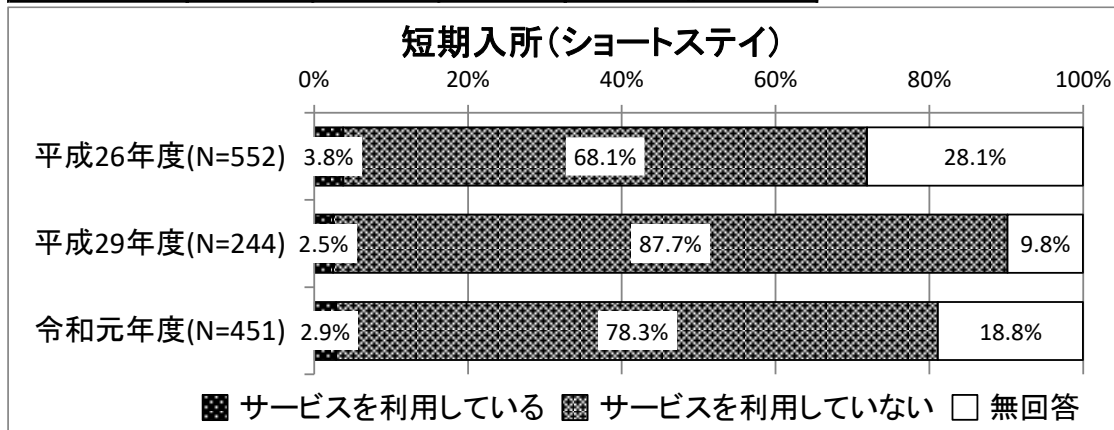
		サービス を利用し ている	サービス を利用し ていない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	13	387	152	552
	%	2.4%	70.1%	27.5%	100.0%
平成29年度	%	0.4%	89.3%	10.2%	100.0%
	回答者数	12	354	85	451
令和元年度	%	2.7%	78.5%	18.8%	100.0%



短期入所（ショートステイ）について、「サービスを利用している」との回答は平成 26 年度と比較して 0.9 ポイント低下しています。

短期入所(ショートステイ)

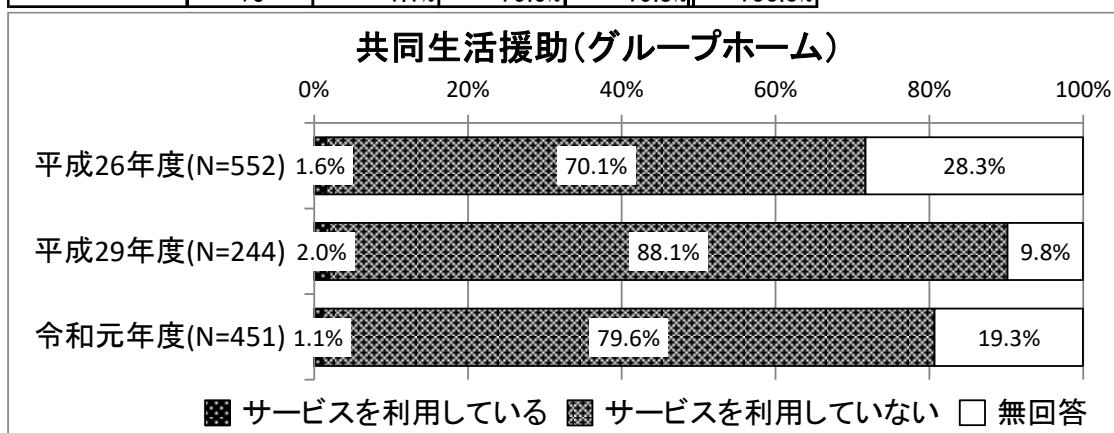
		サービス を利用し ている	サービス を利用し ていない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	21	376	155	552
	%	3.8%	68.1%	28.1%	100.0%
平成29年度	%	2.5%	87.7%	9.8%	100.0%
令和元年度	回答者数	13	353	85	451
	%	2.9%	78.3%	18.8%	100.0%



共同生活援助（グループホーム）について、「サービスを利用している」との回答は平成 26 年度と比較して 0.5 ポイント低下しています。

共同生活援助(グループホーム)

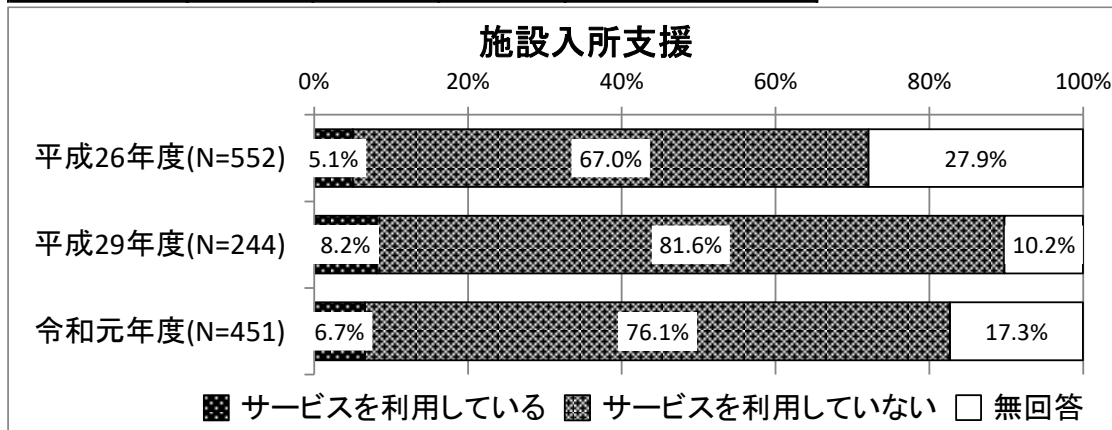
		サービス を利用し ている	サービス を利用し ていない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	9	387	156	552
	%	1.6%	70.1%	28.3%	100.0%
平成29年度	%	2.0%	88.1%	9.8%	100.0%
令和元年度	回答者数	5	359	87	451
	%	1.1%	79.6%	19.3%	100.0%



施設入所支援について、「サービスを利用している」との回答は平成 26 年度と比較して 1.6 ポイント上昇しています。

#### 施設入所支援

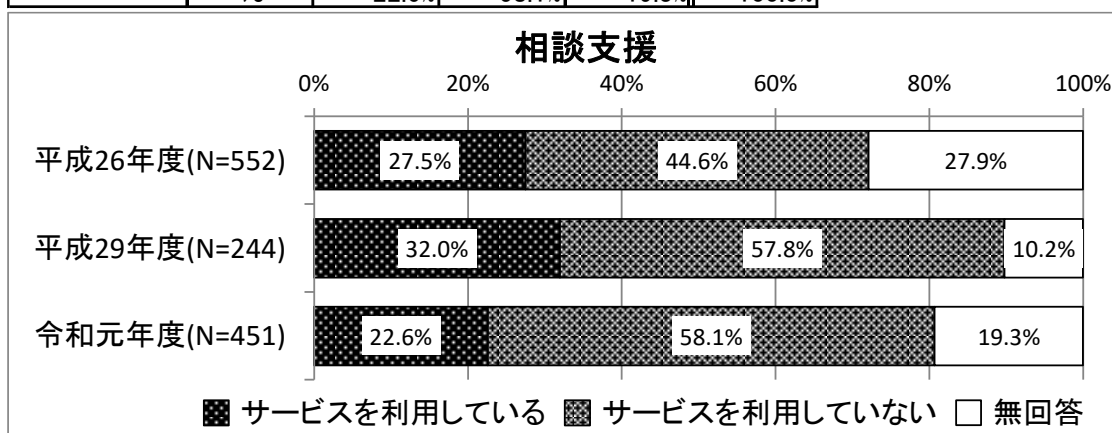
		サービス を利用し ている	サービス を利用し ていない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	28	370	154	552
	%	5.1%	67.0%	27.9%	100.0%
平成29年度	%	8.2%	81.6%	10.2%	100.0%
	回答者数	30	343	78	451
令和元年度	%	6.7%	76.1%	17.3%	100.0%



相談支援について、「サービスを利用している」との回答は平成 26 年度と比較して 4.9 ポイント低下しています

#### 相談支援

		サービス を利用し ている	サービス を利用し ていない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	152	246	154	552
	%	27.5%	44.6%	27.9%	100.0%
平成29年度	%	32.0%	57.8%	10.2%	100.0%
	回答者数	102	262	87	451
令和元年度	%	22.6%	58.1%	19.3%	100.0%



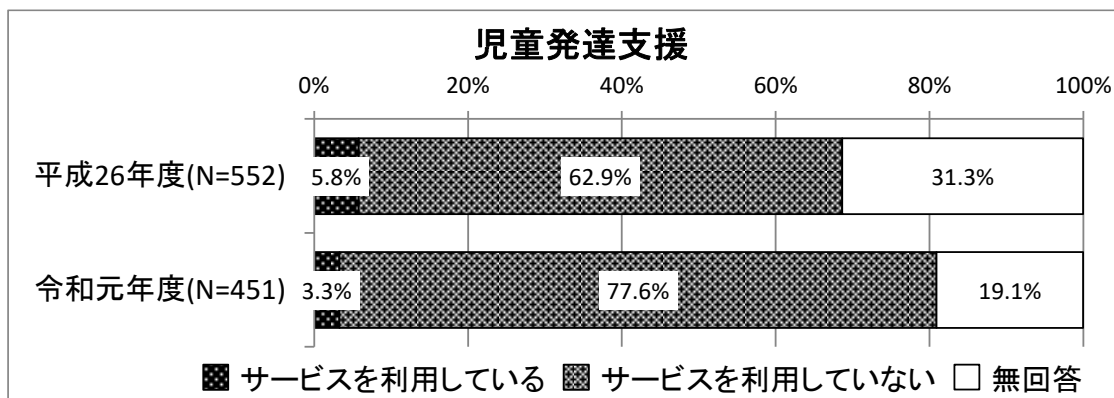
児童発達支援について、「サービスを利用している」との回答は平成 26 年度と比較して 2.5 ポイント低下しています。

#### 児童発達支援

		サービス を利用し ている	サービス を利用し ていない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	32	347	173	552
	%	5.8%	62.9%	31.3%	100.0%
令和元年度	回答者数	15	350	86	451
	%	3.3%	77.6%	19.1%	100.0%

※平成29年度では設問が設定されいない。

平成26年度の調査結果に合わせて回答者全体に占める割合で比較している。



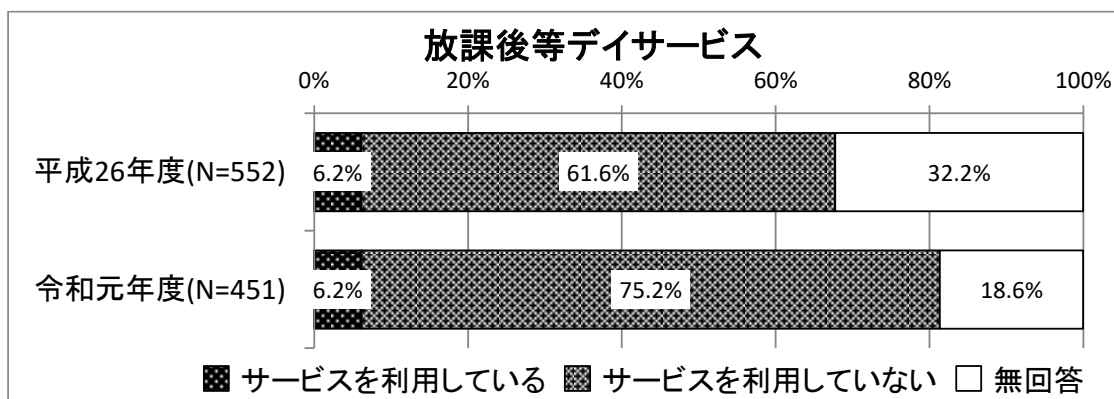
放課後等デイサービスについて、「サービスを利用している」との回答は平成 26 年度と比較して変化はみられません。

#### 放課後等デイサービス

		サービス を利用し ている	サービス を利用し ていない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	34	340	178	552
	%	6.2%	61.6%	32.2%	100.0%
令和元年度	回答者数	28	339	84	451
	%	6.2%	75.2%	18.6%	100.0%

※平成29年度では設問が設定されいない。

平成26年度の調査結果に合わせて回答者全体に占める割合で比較している。



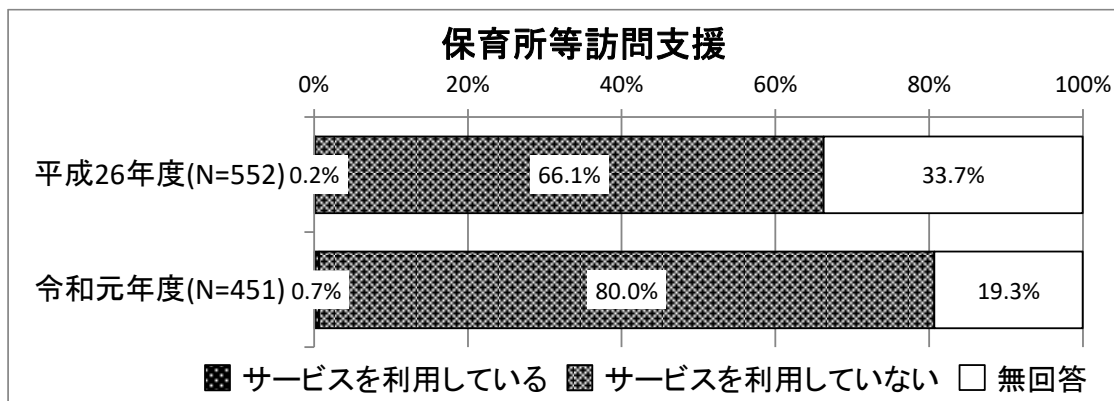
保育所等訪問支援について、「サービスを利用している」との回答は平成26年度と比較して0.5ポイント上昇しています。

#### 保育所等訪問支援

		サービス を利用し ている	サービス を利用し ていない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	1	365	186	552
	%	0.2%	66.1%	33.7%	100.0%
令和元年度	回答者数	3	361	87	451
	%	0.7%	80.0%	19.3%	100.0%

※平成29年度では設問が設定されいない。

平成26年度の調査結果に合わせて回答者全体に占める割合で比較している。



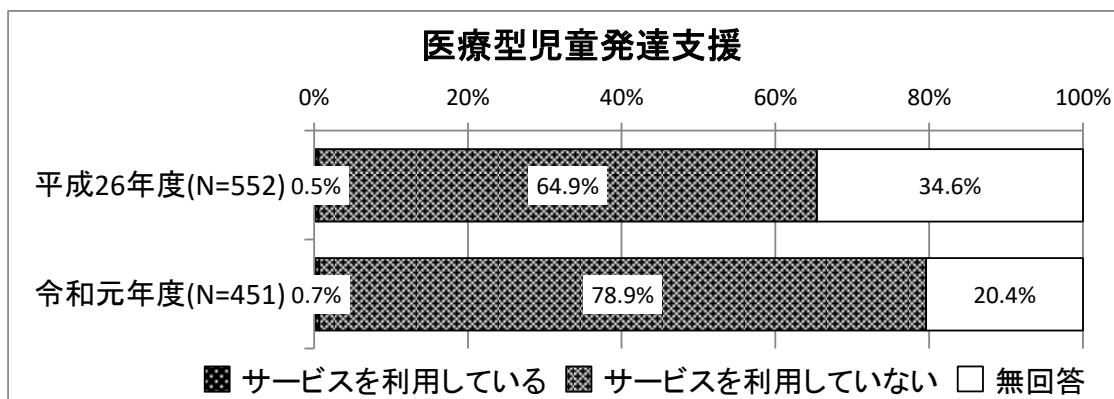
医療型児童発達支援について、「サービスを利用している」との回答は平成26年度と比較して0.2ポイント上昇しています。

#### 医療型児童発達支援

		サービス を利用し ている	サービス を利用し ていない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	3	358	191	552
	%	0.5%	64.9%	34.6%	100.0%
令和元年度	回答者数	3	356	92	451
	%	0.7%	78.9%	20.4%	100.0%

※平成29年度では設問が設定されいない。

平成26年度の調査結果に合わせて回答者全体に占める割合で比較している。



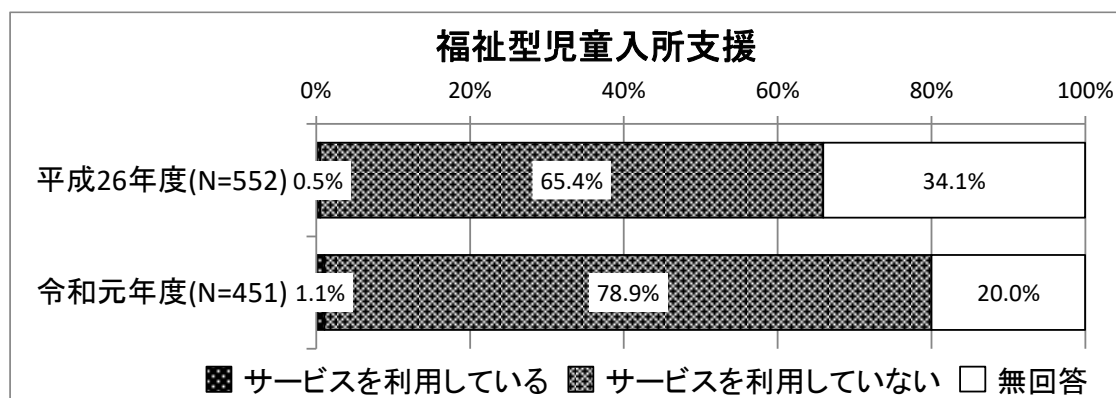
福祉型児童入所支援について、「サービスを利用している」との回答は平成26年度と比較して倍以上高くなっています。

#### 福祉型児童入所支援

		サービス を利用し ている	サービス を利用し ていない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	3	361	188	552
	%	0.5%	65.4%	34.1%	100.0%
令和元年度	回答者数	5	356	90	451
	%	1.1%	78.9%	20.0%	100.0%

※平成29年度では設問が設定されいない。

平成26年度の調査結果に合わせて回答者全体に占める割合で比較している。



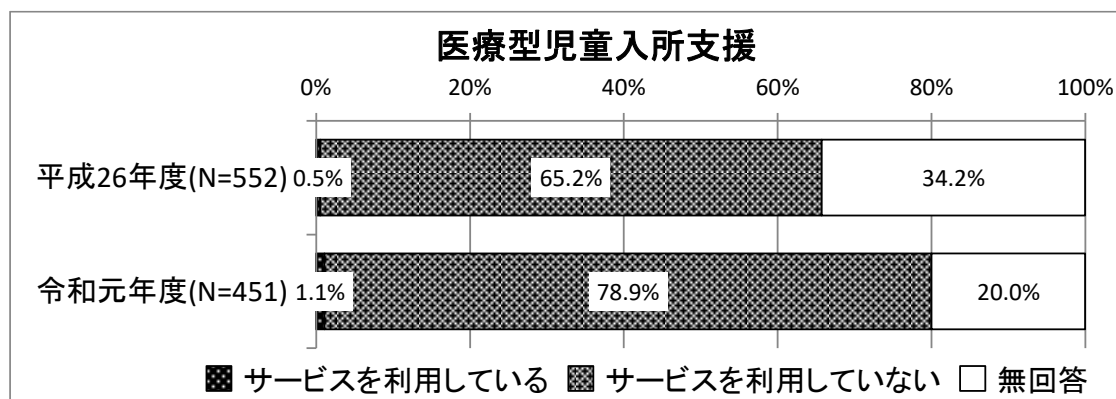
医療型児童入所支援について、「サービスを利用している」との回答は平成26年度と比較して倍以上高くなっています。

#### 医療型児童入所支援

		サービス を利用し ている	サービス を利用し ていない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	3	360	189	552
	%	0.5%	65.2%	34.2%	100.0%
令和元年度	回答者数	5	356	90	451
	%	1.1%	78.9%	20.0%	100.0%

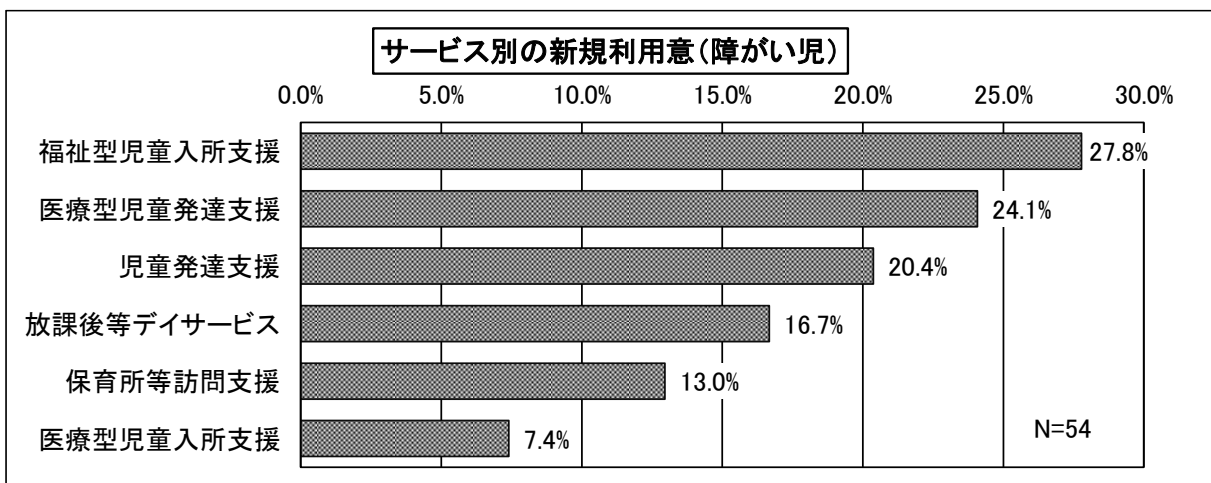
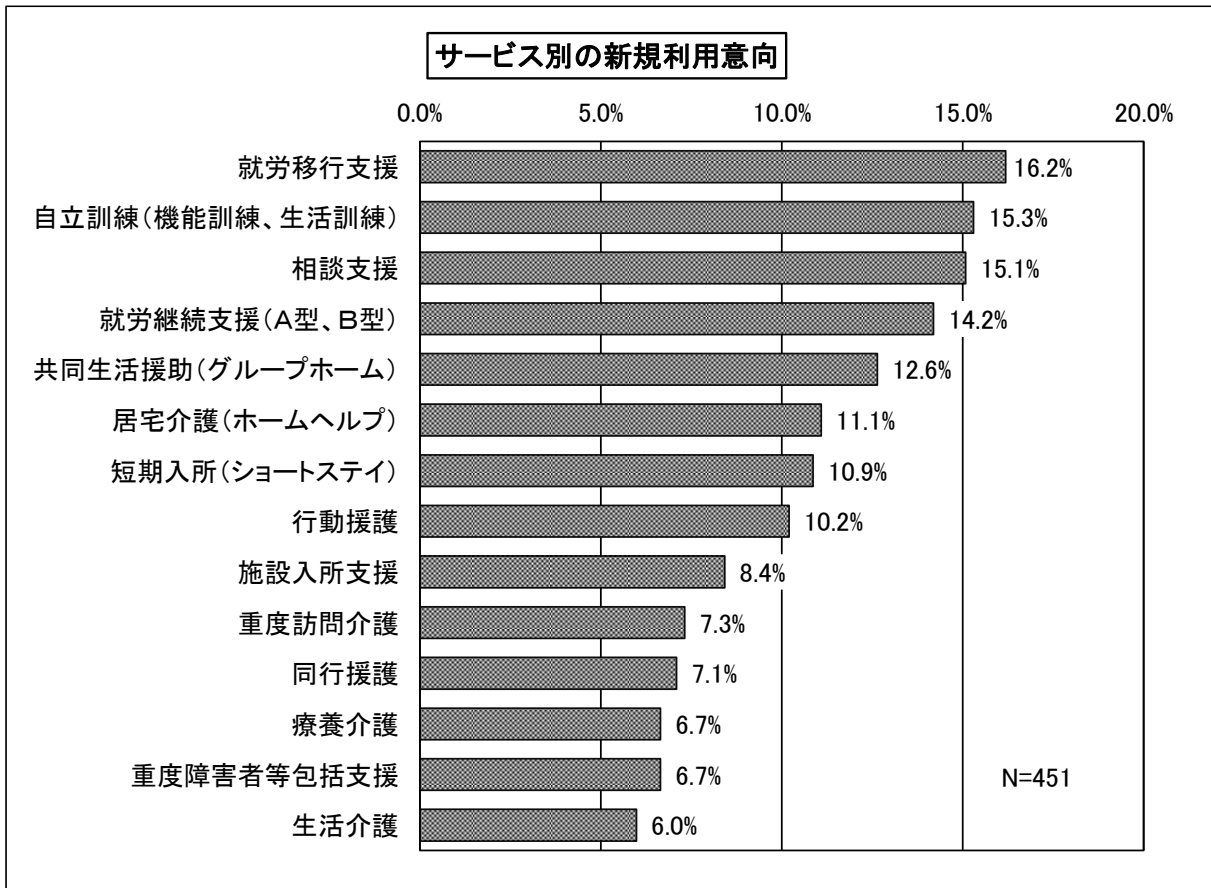
※平成29年度では設問が設定されいない。

平成26年度の調査結果に合わせて回答者全体に占める割合で比較している。



現在障がい福祉サービスを利用していない方の新規のサービス利用意向をみると、第1位は「就労移行支援」で16.2%、第2位は「自立訓練（機能訓練、生活訓練）」で15.3%、第3位は「相談支援」で15.1%、第4位は「就労継続支援（A型、B型）」で14.2%、第5位は「共同生活援助（グループホーム）」で12.6%となっています。

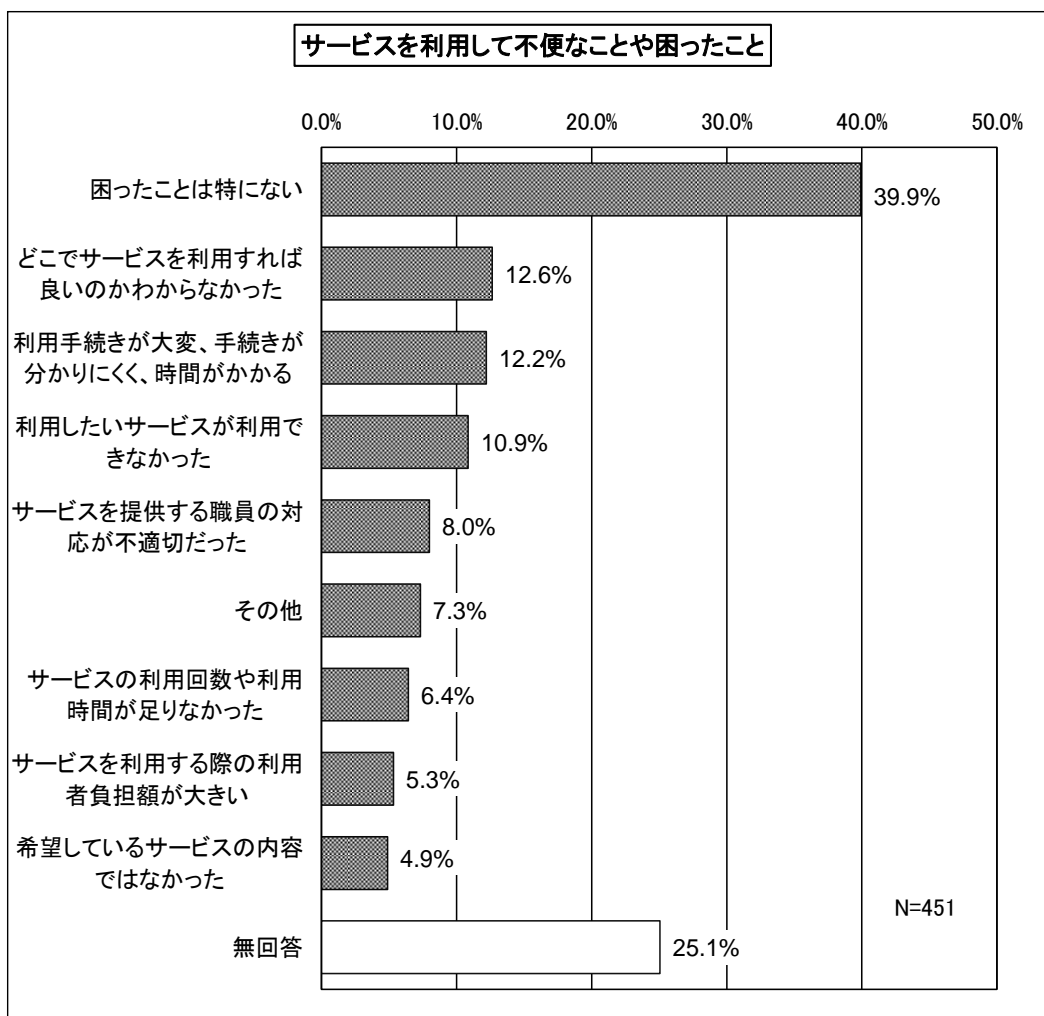
障がい児サービスの新規利用意向の第1位は「福祉型児童入所支援」で27.8%、第2位は「医療型児童発達支援」で24.1%、第3位は「児童発達支援」で20.4%、第4位は「放課後等デイサービス」で16.7%、第5位は「保育所等訪問支援」で13.0%、第6位は「医療型児童入所支援」で7.4%となっています。





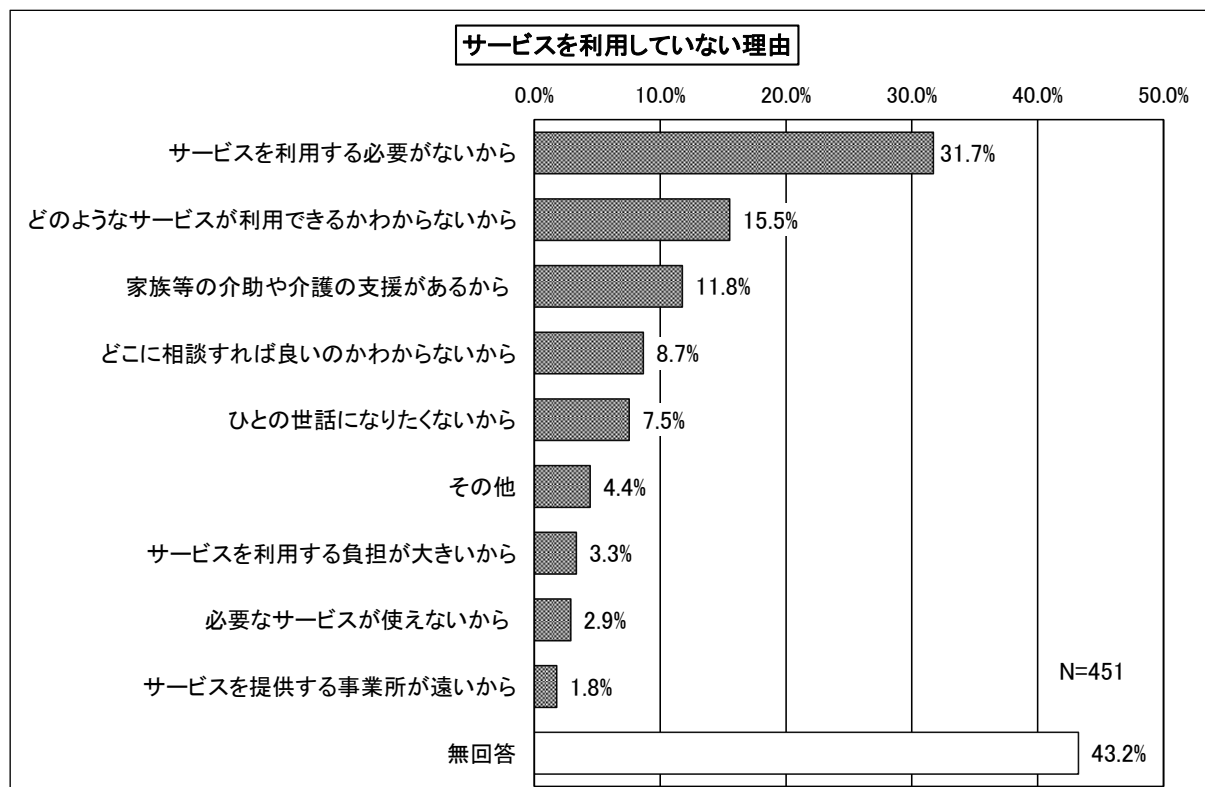
問 32 これまでサービスを利用して、不便なことや困ったことはありましたか。

サービスを利用して不便なことや困ったことの第 1 位は「困ったことは特にない」の 39.9%、第 2 位は「どこでサービスを利用すれば良いのかわからなかった」の 12.6%、第 3 位は「利用手続きが大変、手続きが分かりにくく、時間がかかる」の 12.2%、第 4 位は「利用したいサービスが利用できなかった」の 10.9%、第 5 位は「サービスを提供する職員の対応が不適切だった」の 8.0%等となっています。



問 33 サービスを利用していない理由はなんですか。

サービスを利用していない理由の第1位は「サービスを利用する必要がないから」の31.7%、第2位は「どのようなサービスが利用できるかわからないから」の15.5%、第3位は「家族等の介助や介護の支援があるから」の11.8%、第4位は「どこに相談すれば良いのかわからないから」の8.7%、第5位は「ひとの世話になりたくないから」の7.5%等となっています。

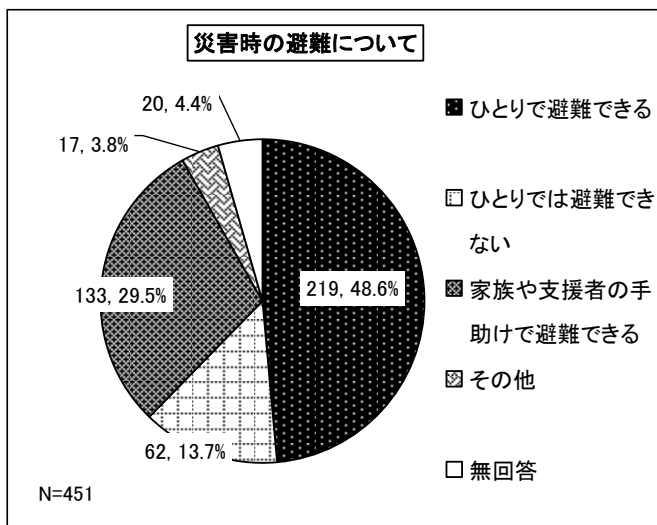


障がい種別の割合を全体の割合と比較すると、「どのようなサービスが利用できるかわからない」では「精神障がい」が高くなっています。「どこに相談すれば良いのかわからない」では、「難病」及び「知的障がい」で高くなっています。

	サービスを利用する必要がないから	家族等の介助や介護の支援があるから	必要なサービスが使えないから	サービスを提供する事業所が遠いから	どのようなサービスが利用できるかわからないから	どこに相談すれば良いのかわからないから	サービスを利用する負担が大きいから	ひとの世話になりたくないから	その他	無回答
身体 (N=165)	43.0%	10.3%	0.6%	0.0%	13.3%	7.3%	2.4%	7.3%	2.4%	36.4%
知的 (N=73)	15.1%	9.6%	4.1%	2.7%	16.4%	11.0%	5.5%	9.6%	5.5%	57.5%
精神 (N=41)	7.3%	14.6%	2.4%	0.0%	26.8%	9.8%	2.4%	7.3%	4.9%	58.5%
難病 (N=40)	67.5%	5.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	7.5%	5.0%	7.5%	7.5%
重複 (N=117)	17.9%	14.5%	6.8%	5.1%	15.4%	7.7%	2.6%	8.5%	6.0%	54.7%
持っていない (N=15)	66.7%	26.7%	0.0%	0.0%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%
合計 (N=451)	31.7%	11.8%	2.9%	1.8%	15.5%	8.6%	3.3%	7.5%	4.4%	43.2%

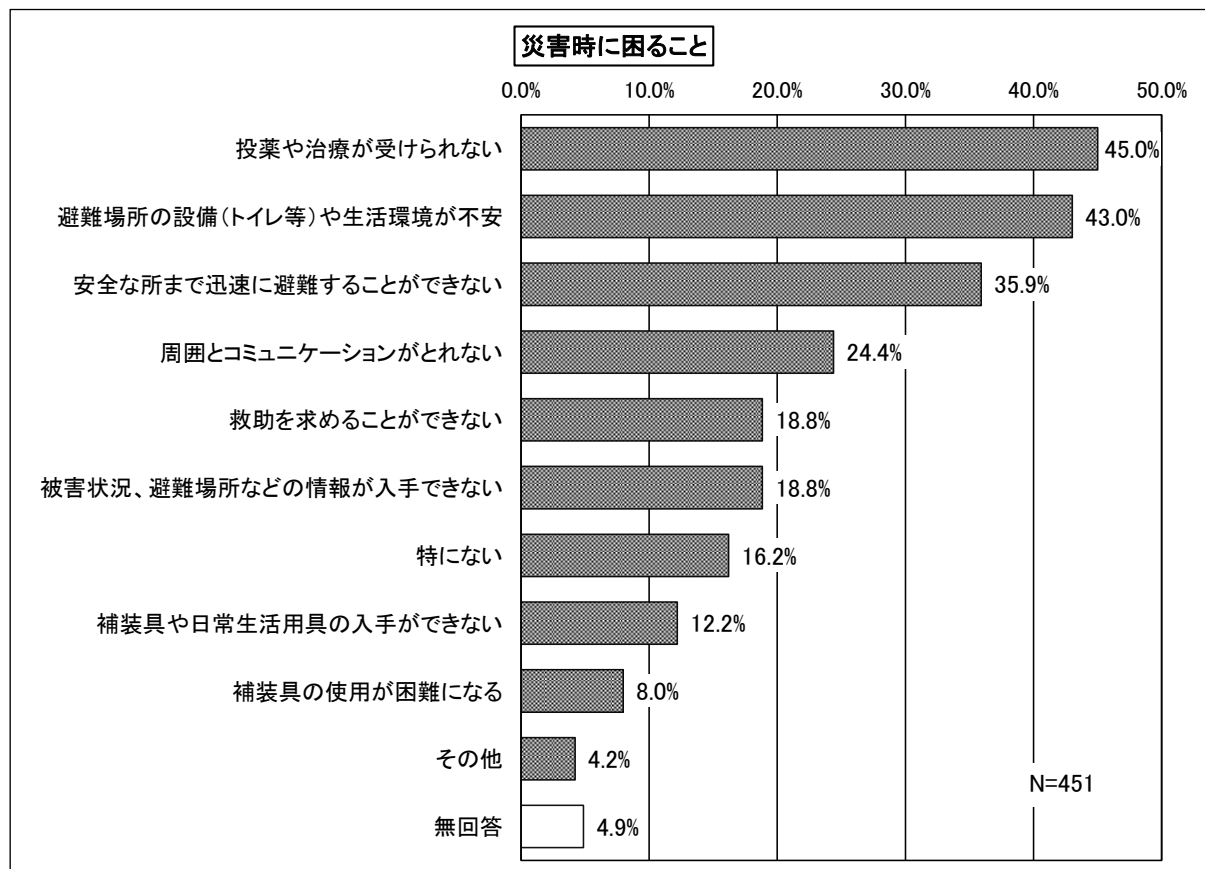
問 34 災害時の避難について伺います。

災害時の避難についてをみると、「ひとりで避難できる」が48.6%で最も多く、次いで「家族や支援者の手助けで避難できる」の29.5%、「ひとりでは避難できない」の13.7%、「その他（手段が分からないなど）」の3.8%となっています。



問 35 地震や火事等の災害時に困ることは何ですか。

災害時に困ることの第1位は「投薬や治療が受けられない」の45.0%、第2位は「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」の43.0%、第3位は「安全な所まで迅速に避難することができない」の35.9%、第4位は「周囲とコミュニケーションがとれない」の24.4%、第5位は「救助を求めることができない」及び「被害状況、避難場所などの情報が入手できない」が同率の18.8%等となっています。

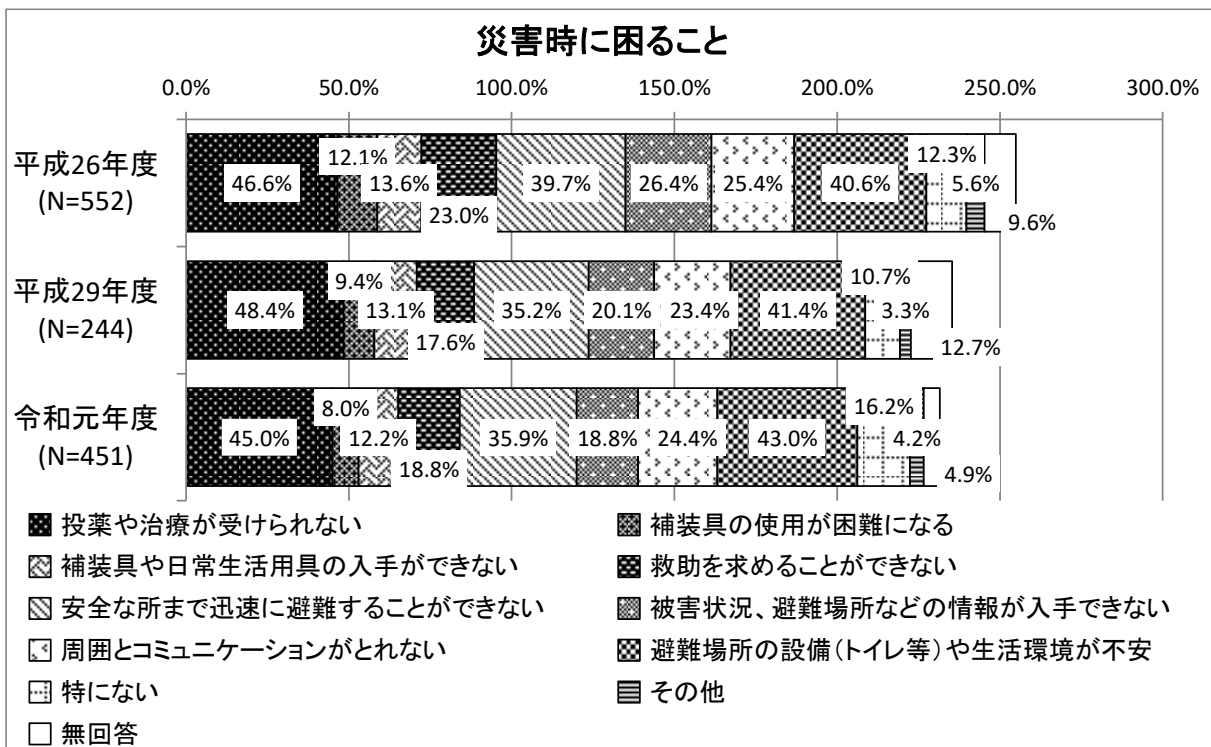


災害時に困ることを経年的にみると、平成 26 年度と比較して「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」及び「特にない」との回答が上昇しています。

災害時に困ること

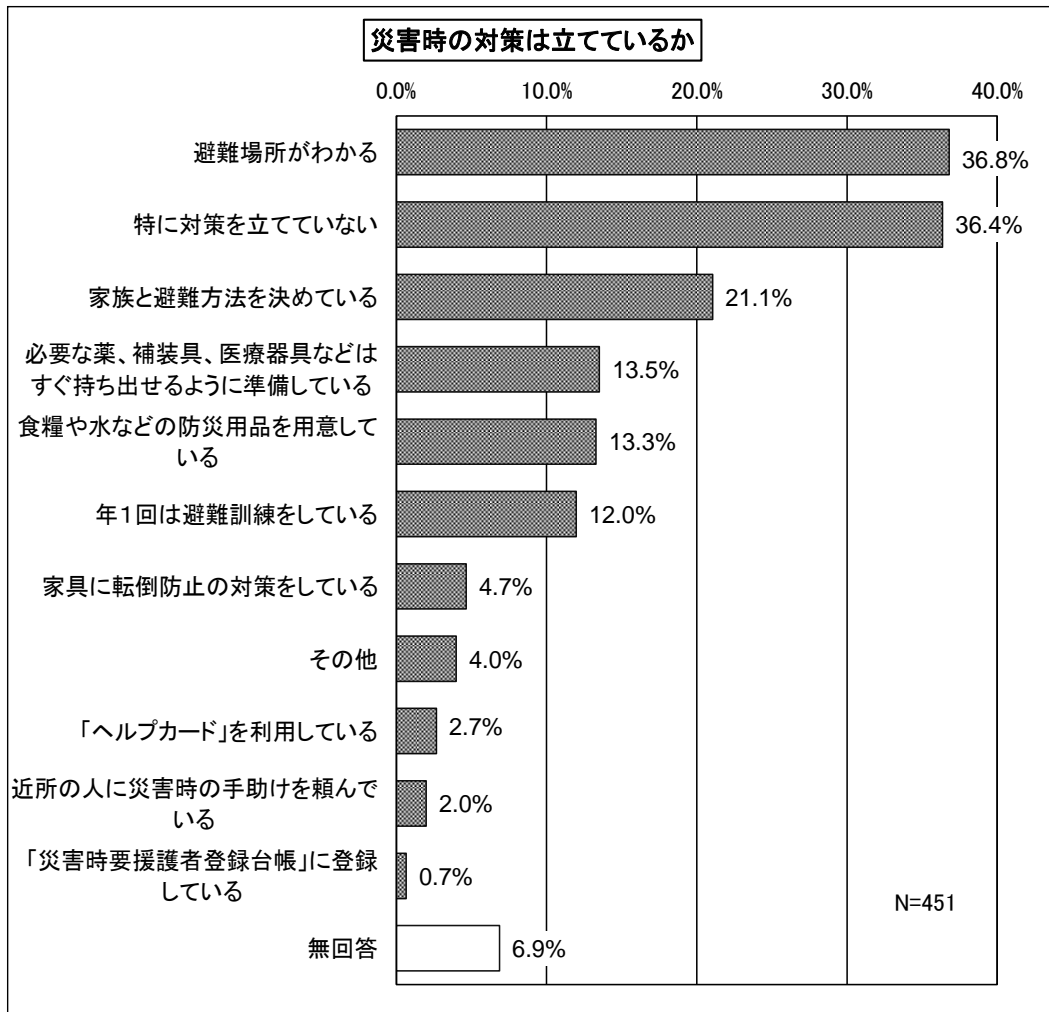
		投薬や治療が受けられない	補装具の使用が困難になる	補装具や日常生活用具の入手ができない	救助を求めることができない	安全な所まで迅速に避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	周囲とコミュニケーションがとれない	避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安	特にない	その他	無回答	合計
平成26年度	回答者数	257	67	75	127	219	146	140	224	68	31	53	552
	%	46.6%	12.1%	13.6%	23.0%	39.7%	26.4%	25.4%	40.6%	12.3%	5.6%	9.6%	100.0%
平成29年度	回答者数	257	67	75	127	219	146	140	224	68	31	53	552
	%	48.4%	9.4%	13.1%	17.6%	35.2%	20.1%	23.4%	41.4%	10.7%	3.3%	12.7%	100.0%
令和元年度	回答者数	203	36	55	85	162	85	110	194	73	19	22	451
	%	45.0%	8.0%	12.2%	18.8%	35.9%	18.8%	24.4%	43.0%	16.2%	4.2%	4.9%	100.0%

※平成29年度では「近所に助けてくれる人がいない」との項目が別に設定されています。



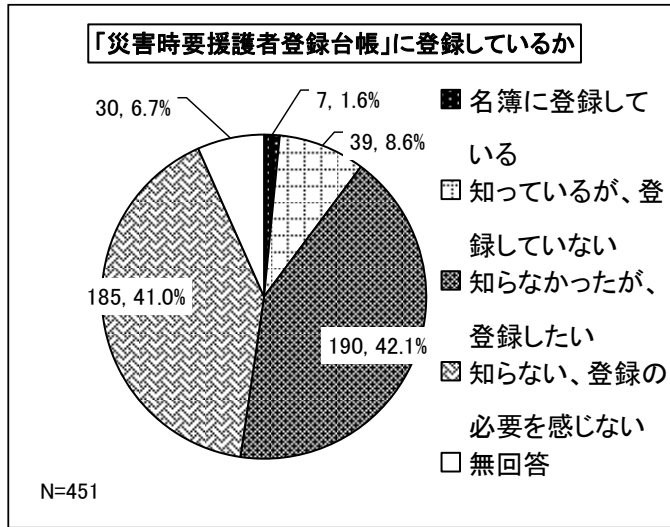
問 36 災害時の対策は立てていますか。

災害時の対策は立てているかの第 1 位は「避難場所がわかる」の 36.8%、第 2 位は「特に対策を立てていない」の 36.4%、第 3 位は「家族と避難方法を決めている」の 21.1%、第 4 位は「必要な薬、補装具、医療器具などはすぐ持ち出せるように準備している」の 13.5%、第 5 位は「食糧や水などの防災用品を用意している」の 13.3%等となっています。



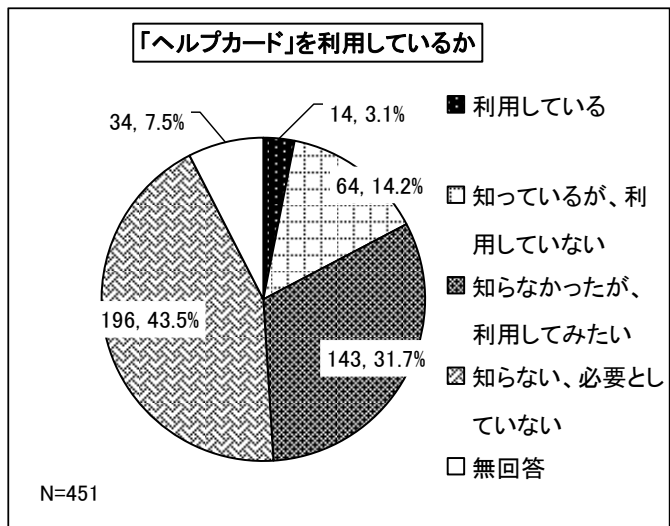
問 37 「災害時要援護者登録台帳」に登録していますか。

「災害時要援護者登録台帳」に登録しているかをみると、「知らなかったが、登録したい」が42.1%で最も多く、次いで「知らない、登録の必要を感じない」の41.0%、「知っているが、登録していない」の8.6%、「名簿に登録している」の1.6%となっています。



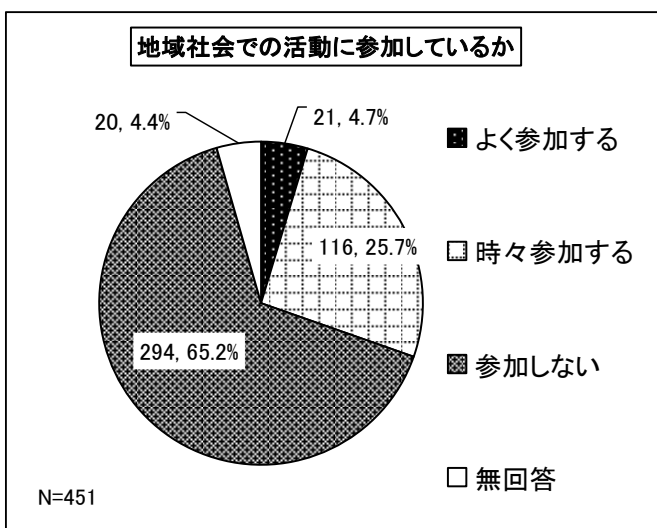
問 38 「ヘルプカード」を利用していますか。

「ヘルプカード」を利用しているかをみると、「知らない、必要としていない」が43.5%で最も多く、次いで「知らなかったが、利用してみたい」の31.7%、「知っているが、利用していない」の14.2%、「利用している」の3.1%となっています。



問 39 地域社会での活動に参加していますか。

地域社会での活動（市の行事、公民館・自治会・子ども会等の行事など）に参加しているかをみると、「参加しない」が65.2%で最も多く、次いで「時々参加する」の25.7%、「よく参加する」の4.7%となっています。



障がい種別の割合を全体の割合と比較すると、「良く参加する」では「知的障がい」で高くなる一方で、「参加しない」では「精神障がい」及び「難病」で高くなっています。

	良く参加する	時々参加する	参加しない	無回答
身体 (N=165)	4.2%	24.2%	64.2%	7.3%
知的 (N=73)	8.2%	35.6%	54.8%	1.4%
精神 (N=41)	2.4%	17.1%	75.6%	4.9%
難病 (N=40)	5.0%	22.5%	72.5%	0.0%
重複 (N=117)	4.3%	23.1%	68.4%	4.3%
持っていない (N=15)	0.0%	46.7%	53.3%	0.0%
合計 (N=451)	4.7%	25.7%	65.2%	4.4%

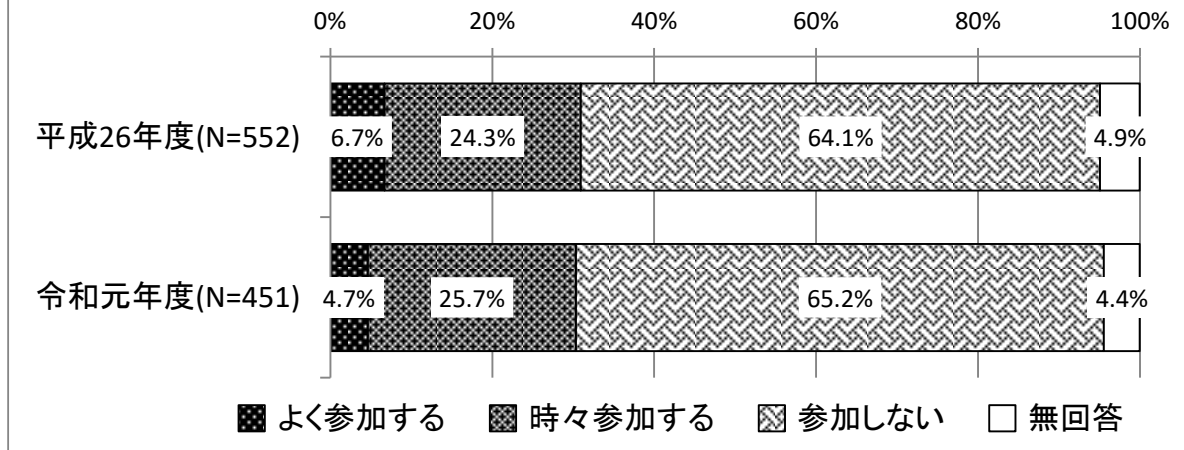
地域社会活動への参加状況を経年的にみると、平成26年度と比較して「よく参加する」という回答が2.0ポイント低下しています。

地域社会での活動に参加しているか

		よく参加する	時々参加する	参加しない	無回答	合計
平成26年度	回答者数	37	134	354	27	552
	%	6.7%	24.3%	64.1%	4.9%	100.0%
令和元年度	回答者数	21	116	294	20	451
	%	4.7%	25.7%	65.2%	4.4%	100.0%

※平成29年度では設問が設定されておりません。

### 地域社会での活動に参加しているか

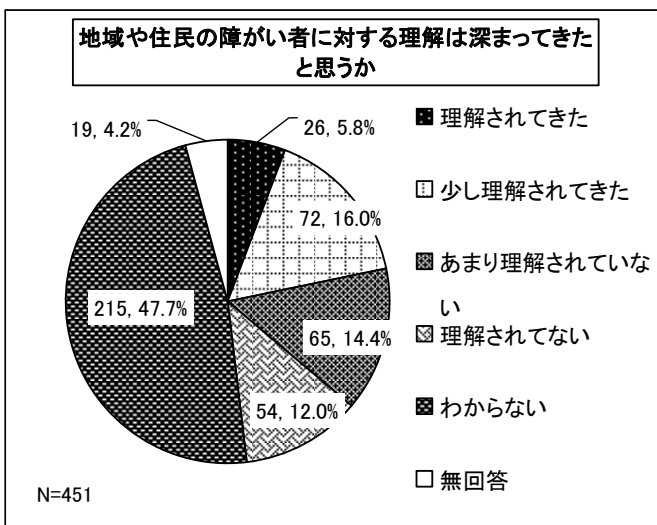




問 40 地域や住民の障がい者に対する理解は深まってきたと思いますか。

地域や住民の障がい者に対する理解は深まってきたと思うかをみると、「わからない」が47.7%で最も多く、次いで「少し理解されてきた」の16.0%、「あまり理解されていない」の14.4%、「理解されていない」の12.0%、「理解されてきた」の5.8%となっています。

理解されてきたと感じる割合（「理解されてきた」と「少し理解されてきた」の合計）は21.7%、理解されていないと感じる割合（「あまり理解されていない」と「理解されていない」の合計）は26.4%となり、理解されていないと感じる割合が上回っています。



障がい者に対する理解について、障がい種別にみると、「重複障がい」を除き全てで理解されていないと感じる割合が上回っています。理解されてきたと感じる割合で最も高いのは、「重複障がい」で28.8%となっています。

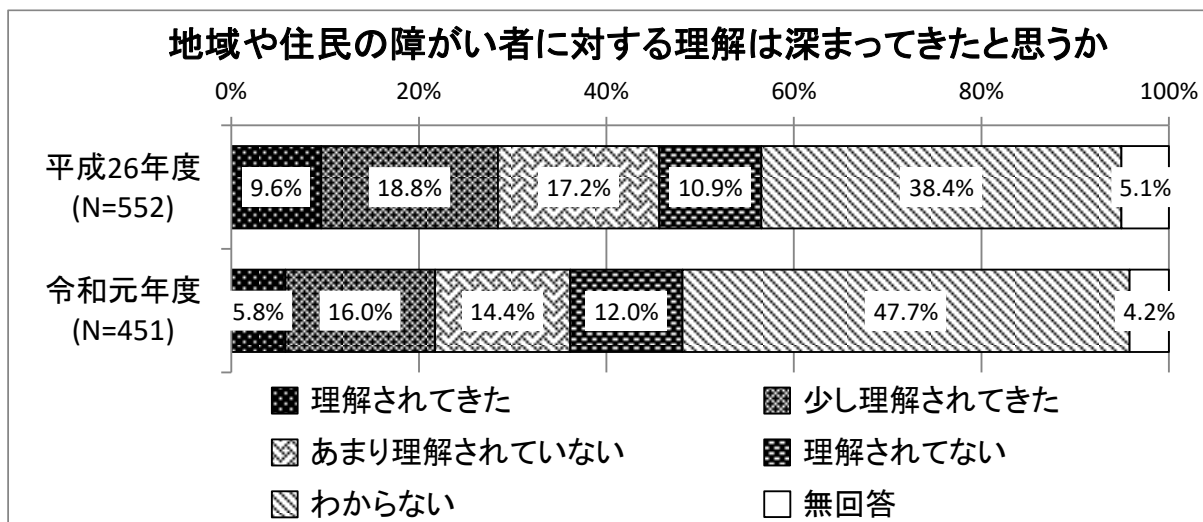
	理解されてきた(a)	少し理解されてきた(b)	あまり理解されていない(c)	理解されていない(d)	わからない(e)	無回答	理解されてきた(a)+(b)	理解されていない(c)+(d)
身体 (N=165)	4.2%	16.4%	14.5%	12.1%	46.1%	6.7%	20.6%	26.7%
知的 (N=73)	8.2%	12.3%	9.6%	12.3%	53.4%	4.1%	20.5%	21.9%
精神 (N=41)	4.9%	12.2%	22.0%	4.9%	53.7%	2.4%	17.1%	26.8%
難病 (N=40)	10.0%	10.0%	12.5%	12.5%	55.0%	0.0%	20.0%	25.0%
重複 (N=117)	6.0%	22.2%	14.5%	13.7%	40.2%	3.4%	28.2%	28.2%
持っていない (N=15)	0.0%	6.7%	20.0%	13.3%	60.0%	0.0%	6.7%	33.3%
合計 (N=451)	5.8%	16.0%	14.4%	12.0%	47.7%	4.2%	21.7%	26.4%

障がい者に対する理解度を経年的にみると、「わからない」との回答が高まる一方で、「理解されてきた」との回答が低下しています。

地域や住民の障がい者に対する理解は深まってきたと思うか

		理解されてきた(a)	少し理解されてきた(b)	あまり理解されていない(c)	理解されていない(d)	わからない(e)	無回答	合計	理解されてきた(a)+(b)	理解されていない(c)+(d)
平成26年度	回答者数	53	104	95	60	212	28	552	157	155
	%	9.6%	18.8%	17.2%	10.9%	38.4%	5.1%	100.0%	28.4%	28.1%
令和元年度	回答者数	26	72	65	54	215	19	451	98	119
	%	5.8%	16.0%	14.4%	12.0%	47.7%	4.2%	100.0%	21.7%	26.4%

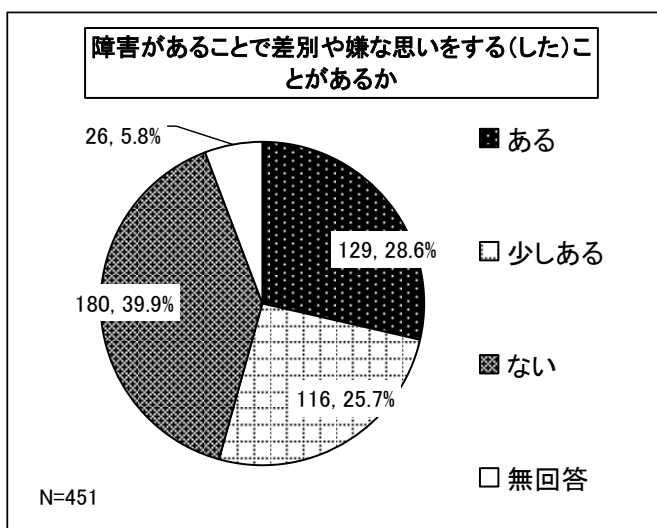
※平成29年度では設問が設定されておりません。



問 41 障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。

障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがあるかをみると、「ない」が39.9%で最も多く、次いで「ある」の28.6%、「少しある」の25.7%となっています。

「ある」と「少しある」の合計は54.3%となり、半数以上の方が差別や嫌な思いを経験したと回答しています。



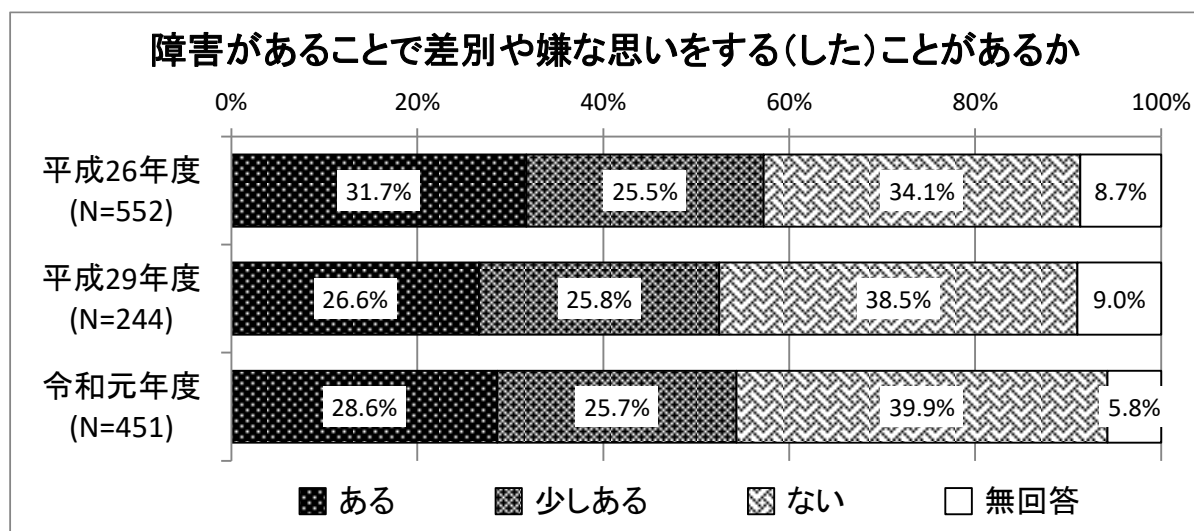
障がい種別で、「ある」という回答（「ある」と「少しある」の合計）と「ない」という回答を比較すると、「ない」が上回るのは「難病」、「身体障がい」、「障害手帳を持っていない」となっています。一方で「知的障がい」、「精神障がい」、「重複障がい」では「ない」より「ある」という回答が倍以上高く、障がい種別で大きく異なる状況が伺えます。

	ある(a)	少しある(b)	ない(c)	無回答	ある(a)+(b)
身体 (N=165)	21.8%	22.4%	46.7%	9.1%	44.2%
知的 (N=73)	34.2%	30.1%	34.2%	1.4%	64.4%
精神 (N=41)	46.3%	26.8%	22.0%	4.9%	73.2%
難病 (N=40)	0.0%	15.0%	80.0%	5.0%	15.0%
重複 (N=117)	41.9%	29.1%	24.8%	4.3%	70.9%
持っていない (N=15)	0.0%	40.0%	53.3%	6.7%	40.0%
合計 (N=451)	28.6%	25.7%	39.9%	5.8%	54.3%

差別や嫌な思いについて、「ない」との回答では平成26年度との比較で5.8ポイント高くなり、「ある」という回答（「ある」と「少しある」の合計）は低下しています。

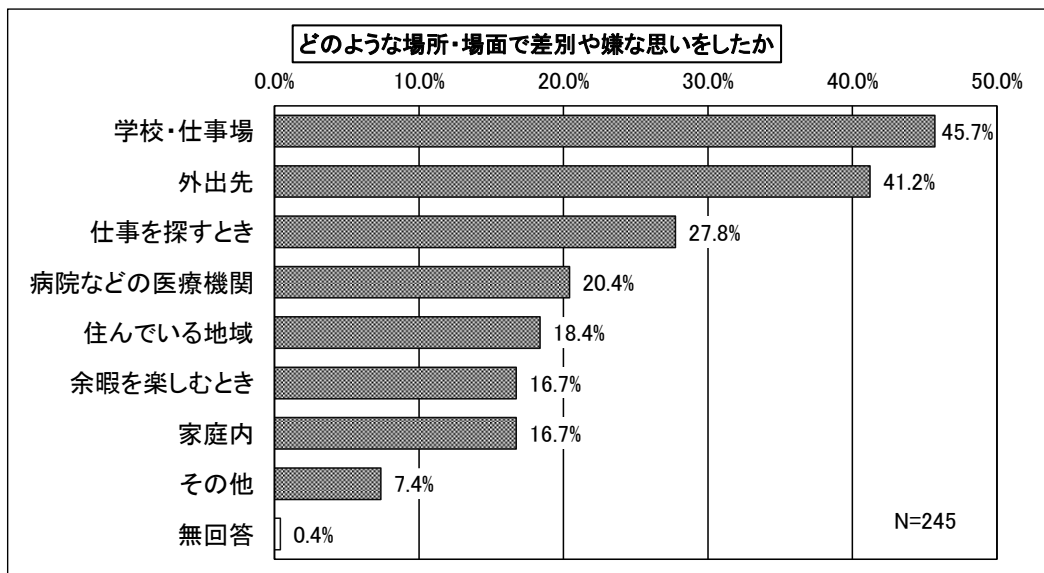
障害があることで差別や嫌な思いをする(した)ことがあるか

		ある(a)	少しある(b)	ない(c)	無回答	合計	ある(a)+b)
平成26年度	回答者数	175	141	188	48	552	316
	%	31.7%	25.5%	34.1%	8.7%	100.0%	57.2%
平成29年度	%	26.6%	25.8%	38.5%	9.0%	100.0%	52.4%
	回答者数	129	116	180	26	451	245
令和元年度	%	28.6%	25.7%	39.9%	5.8%	100.0%	54.3%



問 42 どのような場所・場面で差別や嫌な思いをしましたか。

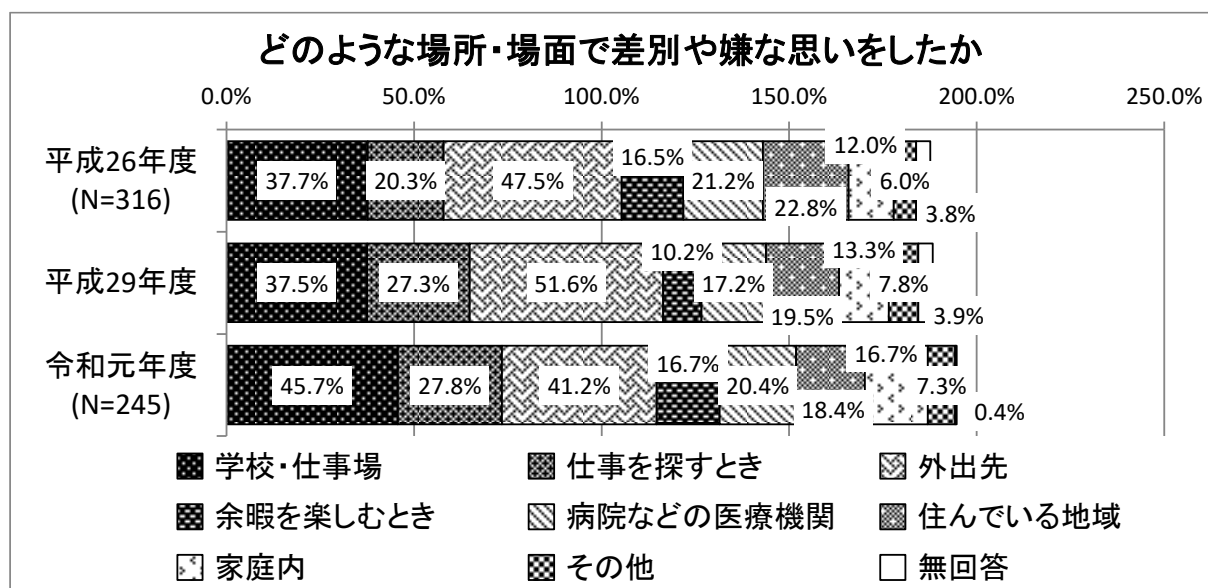
どのような場所・場面で差別や嫌な思いをしたかの第1位は「学校・仕事場」の45.7%、第2位は「外出先」の41.2%、第3位は「仕事を探するとき」の27.8%、第4位は「病院などの医療機関」の20.4%、第5位は「住んでいる地域」の18.4%等となっています。



差別や嫌な思いをした場所について、平成26年度と比較すると「無回答」が低下し、「学校・仕事場」、「仕事を探するとき」、「家庭内」という回答が上昇しています。

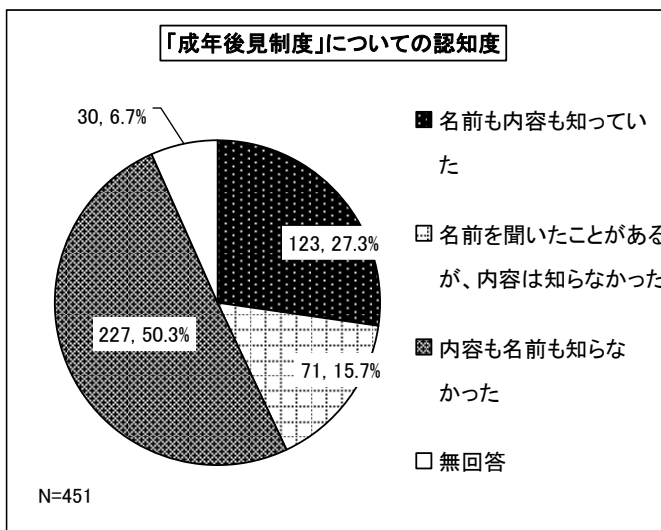
どのような場所・場面で差別や嫌な思いをしたか

		学校・仕事場	仕事を探するとき	外出先	余暇を楽しむとき	病院などの医療機関	住んでいる地域	家庭内	その他	無回答	合計
		平成26年度	回答者数	119	64	150	52	67	72	38	19
	%	37.7%	20.3%	47.5%	16.5%	21.2%	22.8%	12.0%	6.0%	3.8%	100.0%
平成29年度	%	37.5%	27.3%	51.6%	10.2%	17.2%	19.5%	13.3%	7.8%	3.9%	100.0%
令和元年度	回答者数	112	68	101	41	50	45	41	18	1	245
	%	45.7%	27.8%	41.2%	16.7%	20.4%	18.4%	16.7%	7.3%	0.4%	100.0%



問 43 「成年後見制度」についてご存じでしたか。

「成年後見制度」についての認知度をみると、「内容も名前も知らなかった」が50.3%で最も多く、次いで「名前も内容も知っていた」の27.3%、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らなかった」の15.7%となっています。

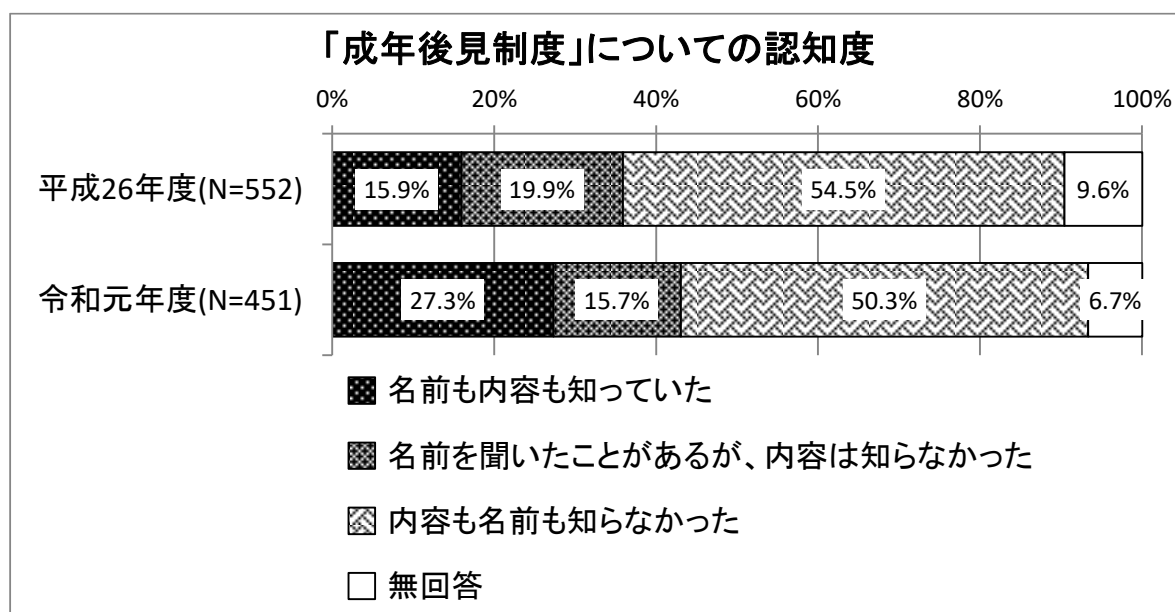


成年後見制度について、「名前も内容も知っていた」との回答は平成26年度と比較として11.4ポイント上昇しています。

「成年後見制度」についての認知度

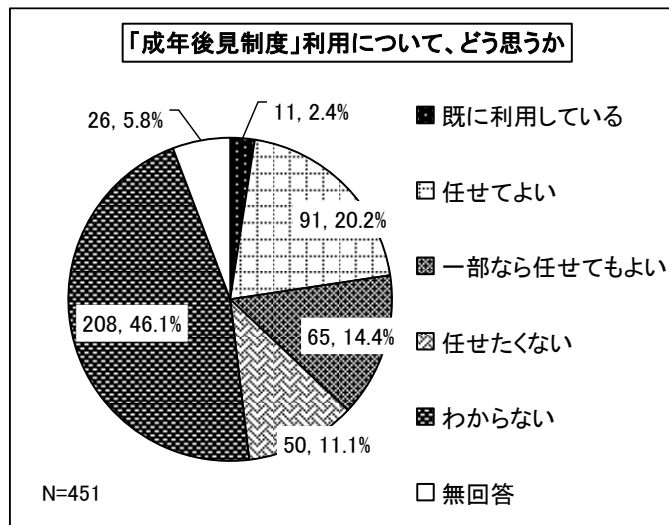
		名前も内容も知っていた	名前を聞いたことがあるが、内容は知らなかった	内容も名前も知らなかった	無回答	合計
平成26年度	回答者数	88	110	301	53	552
	%	15.9%	19.9%	54.5%	9.6%	100.0%
令和元年度	回答者数	123	71	227	30	451
	%	27.3%	15.7%	50.3%	6.7%	100.0%

※平成29年度では設問が設定されておりません。



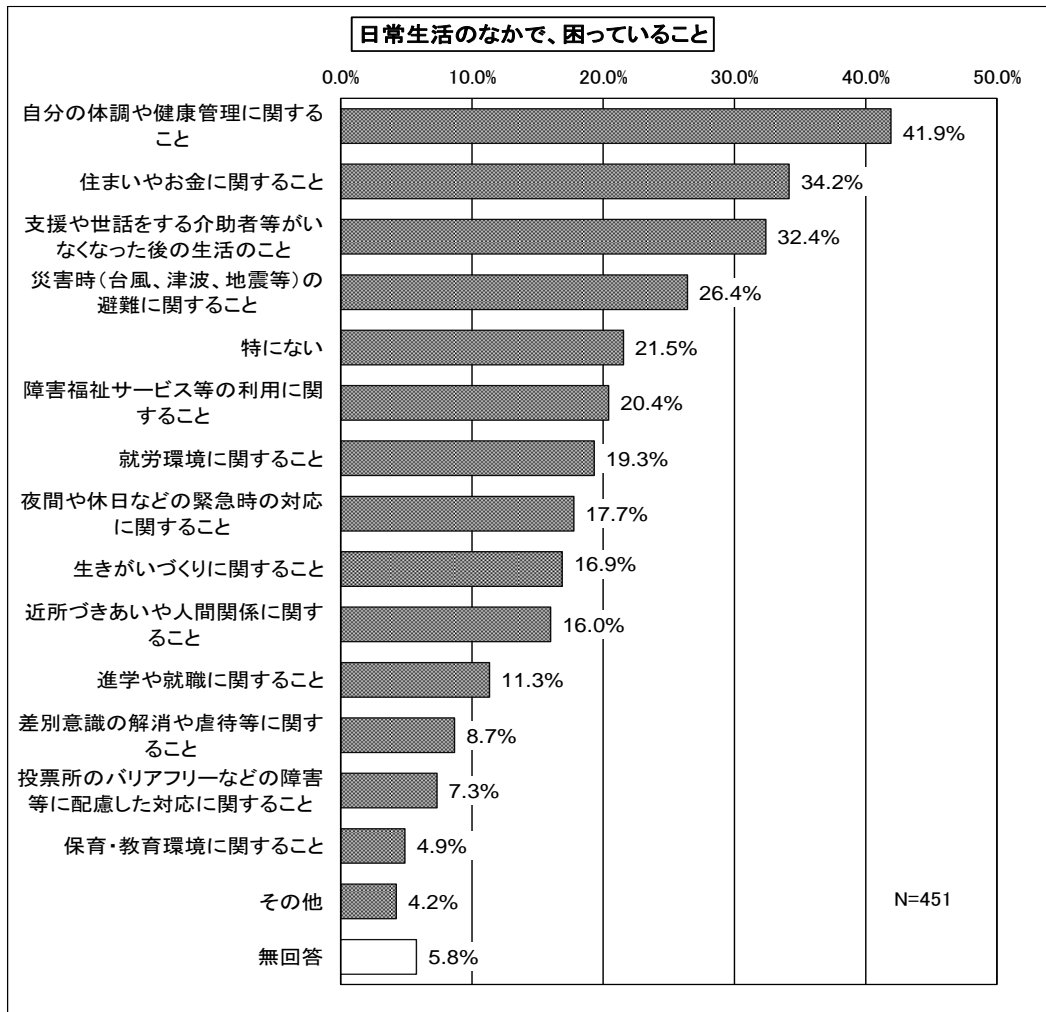
問 44 万一自分自身では判断ができなくなった場合、「成年後見制度」を利用し財産管理などを任せることについて、どう思いますか。

「成年後見制度」利用について、どう思うかをみると、「わからない」が46.1%で最も多く、次いで「任せてよい」の20.2%、「一部なら任せてもよい」の14.4%、「任せたくない」の11.1%、「既に利用している」の2.4%となっています。



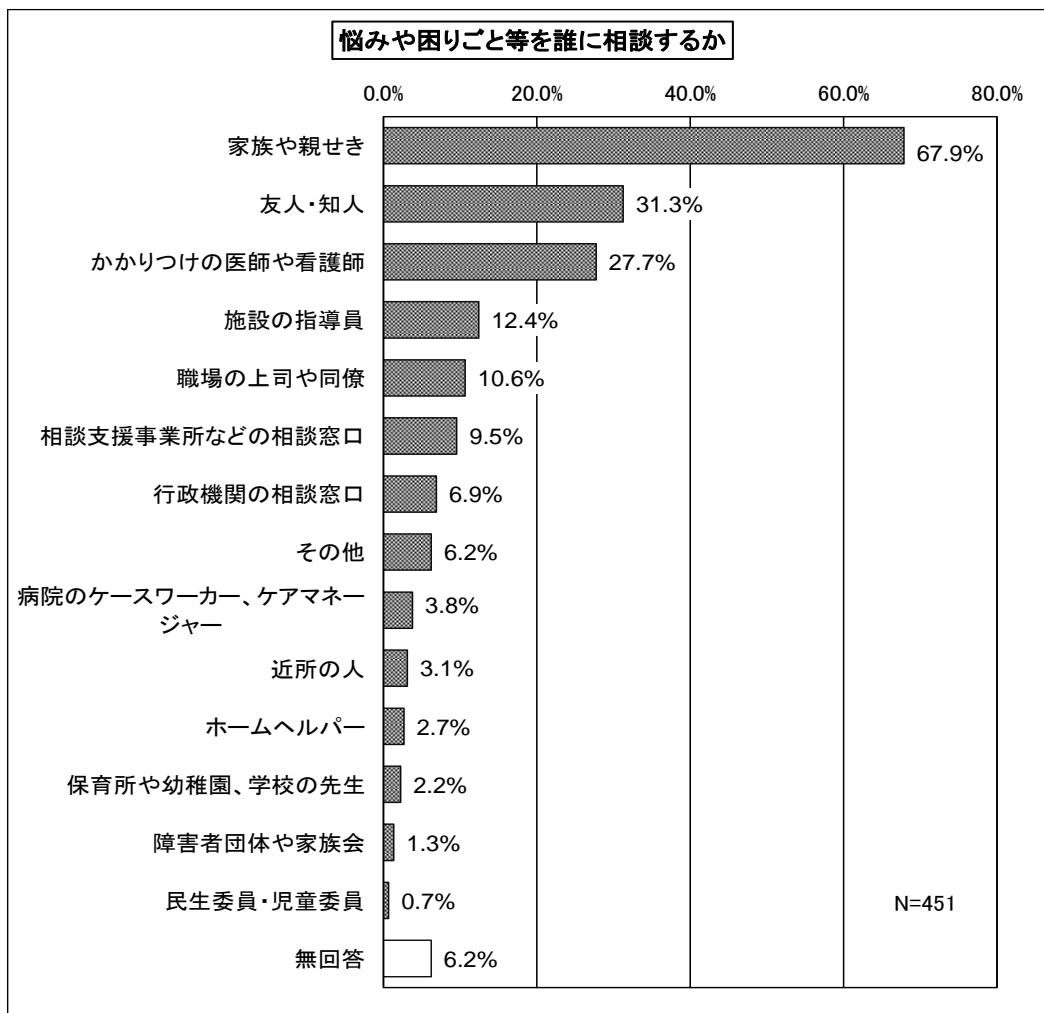
問 45 日常生活のなかで、困っていることは何ですか。

日常生活のなかで、困っていることの第1位は「自分の体調や健康管理に関すること」の41.9%、第2位は「住まいやお金に関すること」の34.2%、第3位は「支援や世話をする介助者等がいなくなった後の生活のこと」の32.4%、第4位は「災害時（台風、津波、地震等）の避難に関すること」の26.4%、第5位は「特にない」の21.5%等となっています。



問 46 悩みや困りごと等を誰に相談しますか。

悩みや困りごと等を誰に相談するかの第1位は「家族や親せき」の67.8%、第2位は「友人・知人」の31.3%、第3位は「かかりつけの医師や看護師」の27.7%、第4位は「施設の指導員」の12.4%、第5位は「職場の上司や同僚」の10.6%等となっています。



悩みや困りごとの相談先を経年的にみると、「障害者団体や家族会」、「民生委員・児童委員」、「相談支援事業所などの相談窓口」、「行政機関の相談窓口」との回答が低下しています。

悩みや困りごと等を誰に相談するか

	家族や親せき	友人・知人	近所の人	職場の上 司や同僚	施設の指 導員	ホームヘ ルパー	障害者団 体や家族 会	かかりつ けの医師 や看護師	病院の ケースワ ーカー、ケ アマネー ジャー	民生委 員・児童 委員	保育所や 幼稚園、 学校の先 生	相談支援 事業所な どの相談 窓口	行政機関 の相談窓 口	その他	無回答	合計
平成26年度	366	177	20	56	67	64	14	139	27	11	21	89	49	35	49	552
	66.3%	32.1%	3.6%	10.1%	12.1%	11.6%	2.5%	25.2%	4.9%	2.0%	3.8%	16.1%	8.9%	6.3%	8.9%	100.0%
平成29年度	306	141	14	48	56	12	6	125	17	3	10	43	31	28	28	451
	61.5%	32.4%	3.3%	14.3%	23.0%	9.4%	1.6%	30.3%	5.3%	2.5%	2.2%	17.6%	8.2%	4.9%	9.8%	100.0%
令和元年度	306	141	14	48	56	12	6	125	17	3	10	43	31	28	28	451
	67.8%	31.3%	3.1%	10.6%	12.4%	2.7%	1.3%	27.7%	3.8%	0.7%	2.2%	9.5%	6.9%	6.2%	6.2%	100.0%

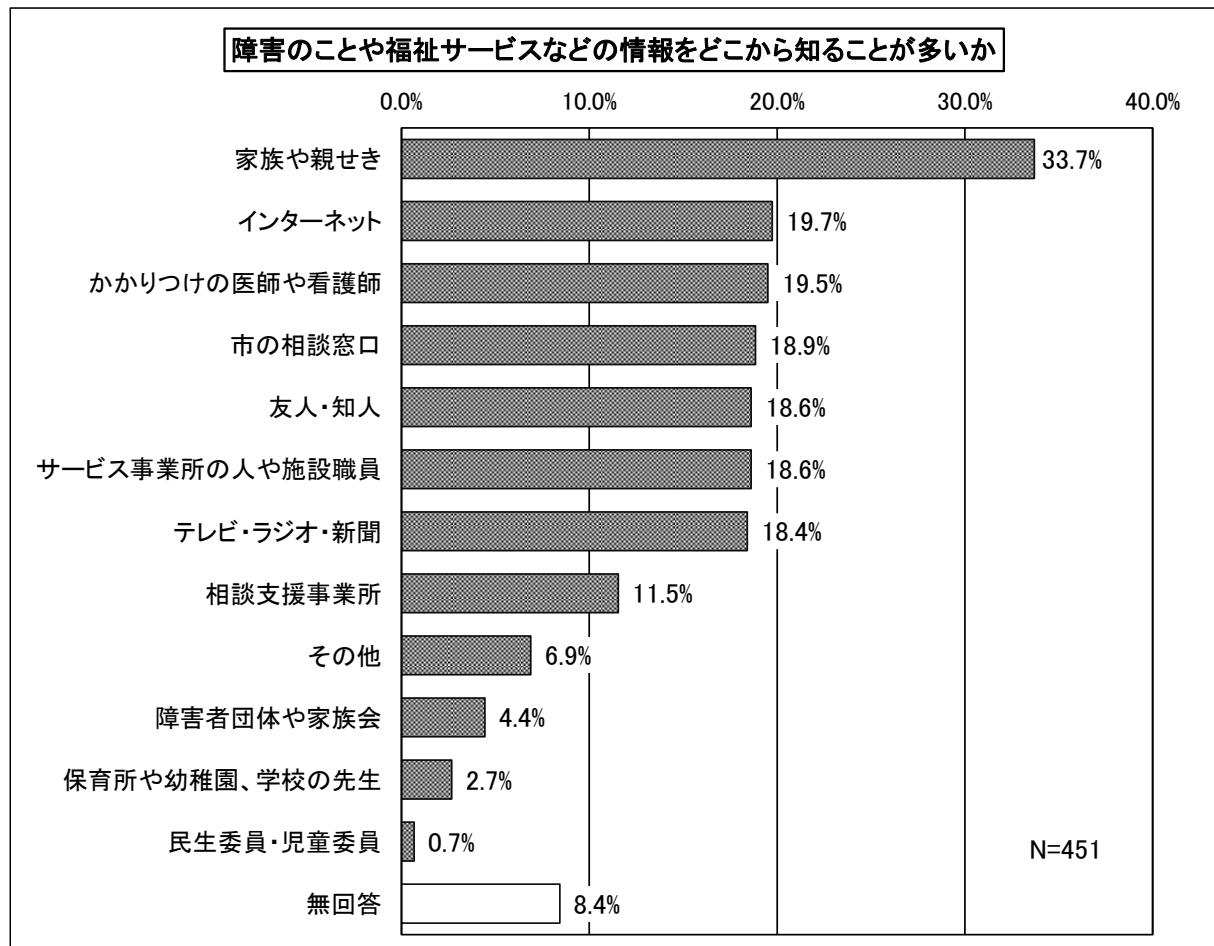
※平成26・29年度では「ホームヘルパー」は「ホームヘルパーなどサービス事業所の人」との表記となっています。

※平成29年度では「保育所や幼稚園、学校の先生」との項目がありません。



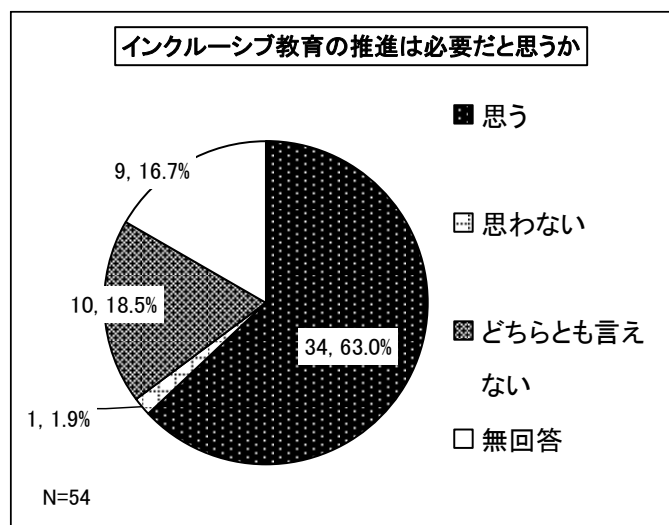
問 47 あなたは障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。

障害のことや福祉サービスなどの情報をどこから知ることが多いかの第1位は「家族や親せき」の33.7%、第2位は「インターネット」の19.7%、第3位は「かかりつけの医師や看護師」の19.5%、第4位は「市の相談窓口」の18.9%、第5位は「友人・知人」及び「サービス事業所の人や施設職員」が同率の18.6%等となっています。



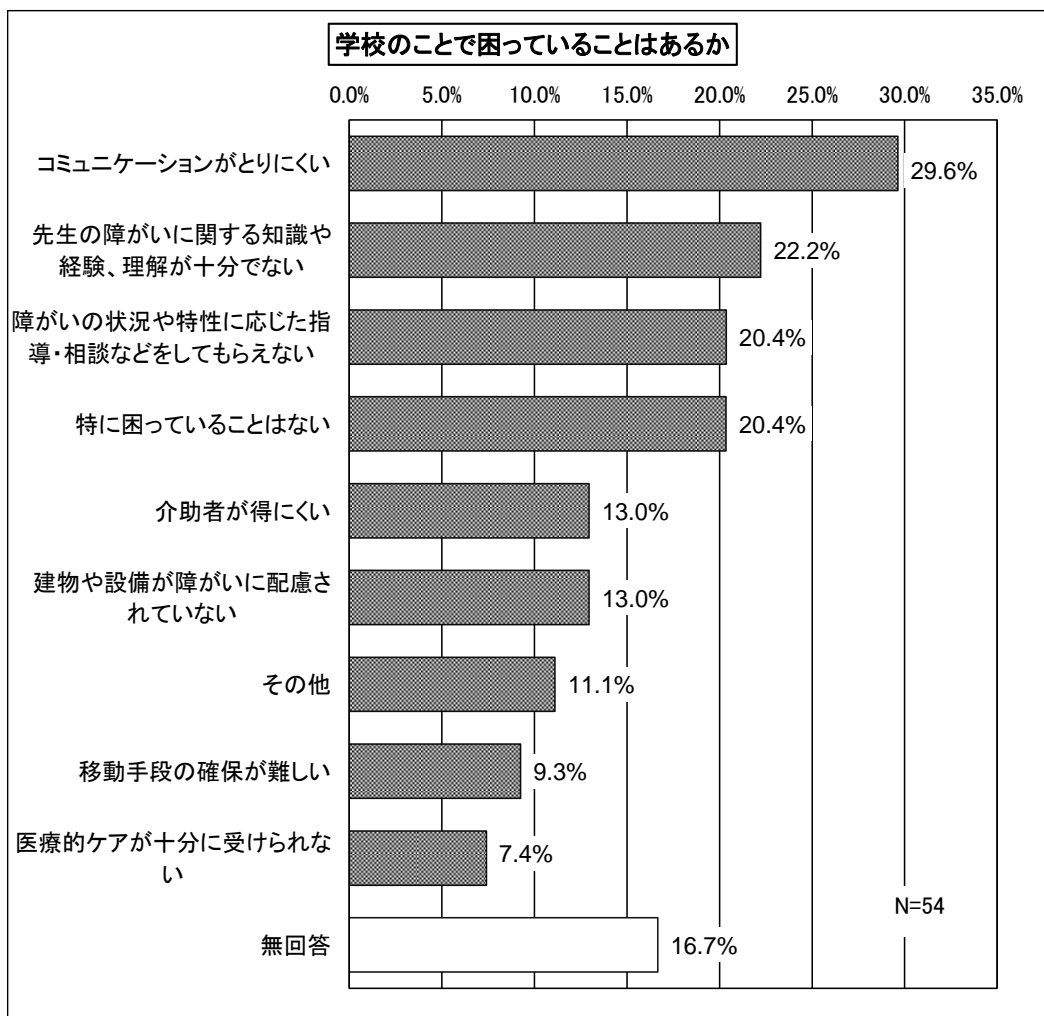
問 48 インクルーシブ教育の推進は必要だと思いますか。

インクルーシブ教育の推進は必要だと思うかをみると、「思う」が63.0%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」の18.5%、「思わない」の1.9%となっています。



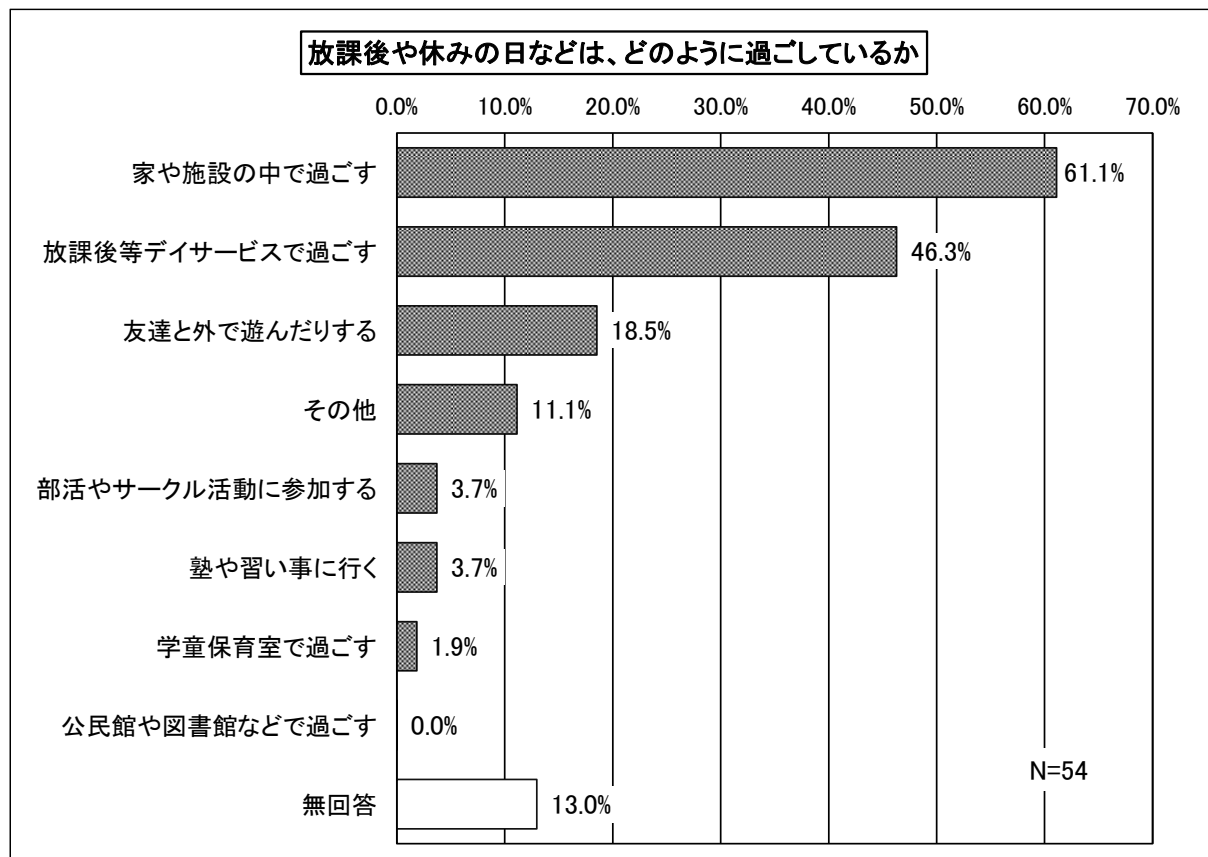
問 49 学校のことで困っていることはありますか。

学校のことで困っていることはあるかの第 1 位は「コミュニケーションがとりにくい」の 29.6%、第 2 位は「先生の障がいに関する知識や経験、理解が十分でない」の 22.2%、第 3 位は「障がいの状況や特性に応じた指導・相談などをしてもらえない」及び「特に困っていることはない」が同率の 20.4%、第 5 位は「介助者が得にくい」の 13.0%等となっています。



問 50 放課後や休みの日などは、どのように過ごしていますか。

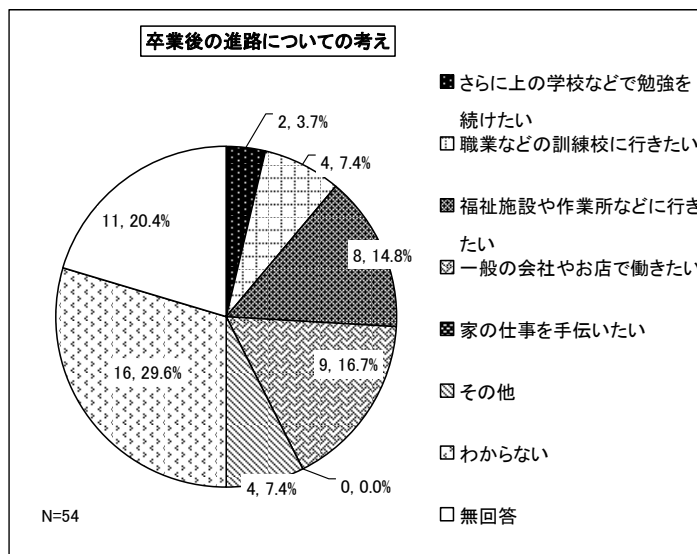
放課後や休みの日などは、どのように過ごしているかの第 1 位は「家や施設の中で過ごす」の 61.1%、第 2 位は「放課後等デイサービスで過ごす」の 46.3%、第 3 位は「友達と外で遊んだりする」の 18.5%、第 4 位は「その他（家族で外出するなど）」の 11.1%、第 5 位は「部活やサークル活動に参加する」及び「塾や習い事に行く」が同率の 3.7%等となっています。



問 51 中学・高校などの卒業後の進路はどのようにお考えですか。

卒業後の進路についての考えをみると、「わからない」が 29.6%で最も多く、次いで「一般の会社やお店で働きたい」の 16.7%、「福祉施設や作業所などに行きたい」の 14.8%、「職業などの訓練校に行きたい」及び「その他（支援学校に行く、など）」が同率の 7.4%等となっています。

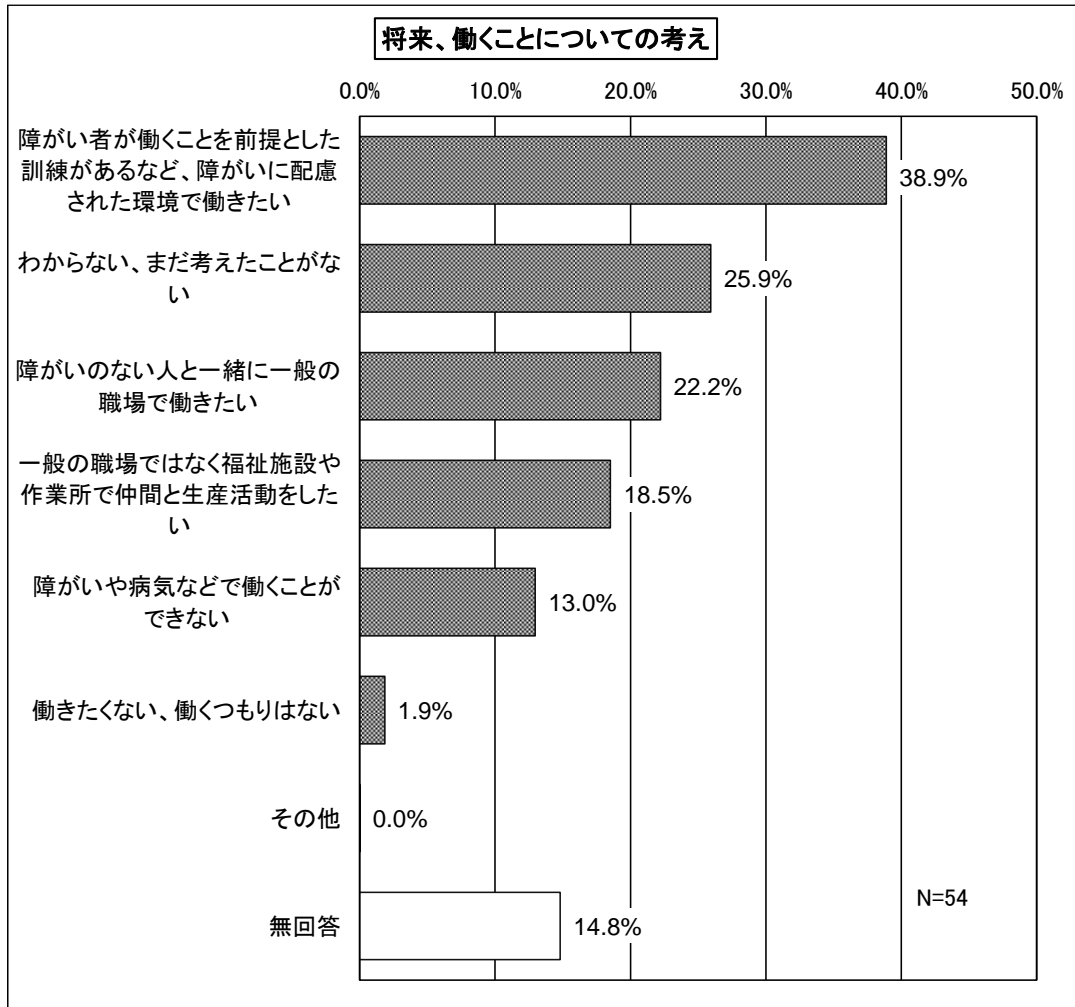
なお、「家の仕事を手伝いたい」との回答はありません。



問 52 将来、働くことについてどのようにお考えですか。

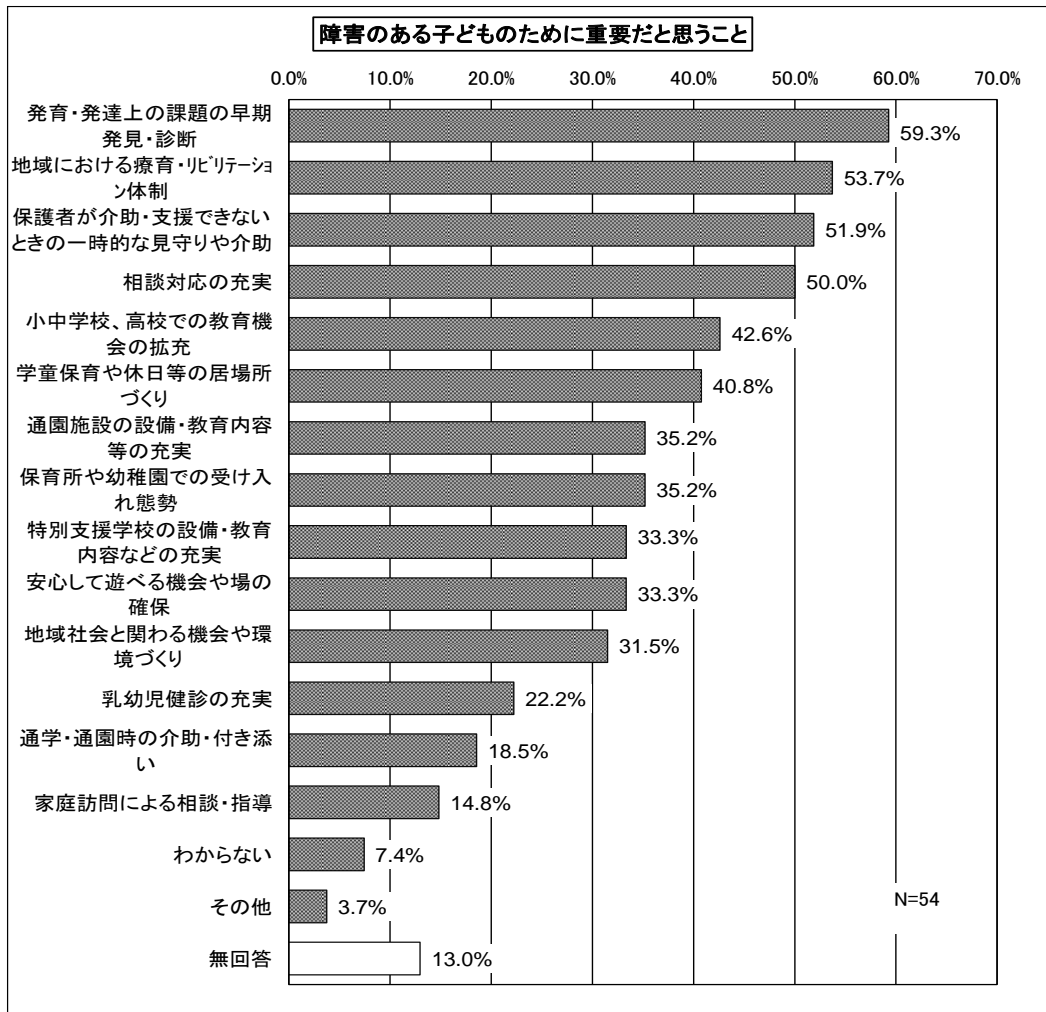
将来、働くことについての考えの第1位は「障がい者が働くことを前提とした訓練があるなど、障がいに配慮された環境で働きたい」の38.9%、第2位は「わからない、まだ考えたことがない」の25.9%、第3位は「障がいのない人と一緒に一般の職場で働きたい」の22.2%、第4位は「一般の職場ではなく福祉施設や作業所で仲間と生産活動をしたい」の18.5%、第5位は「障がいや病気などで働くことができない」の13.0%等となっています。

なお、「その他」の回答はありません。



問 53 障がいのある子どものために、特に重要と思うものは何ですか。

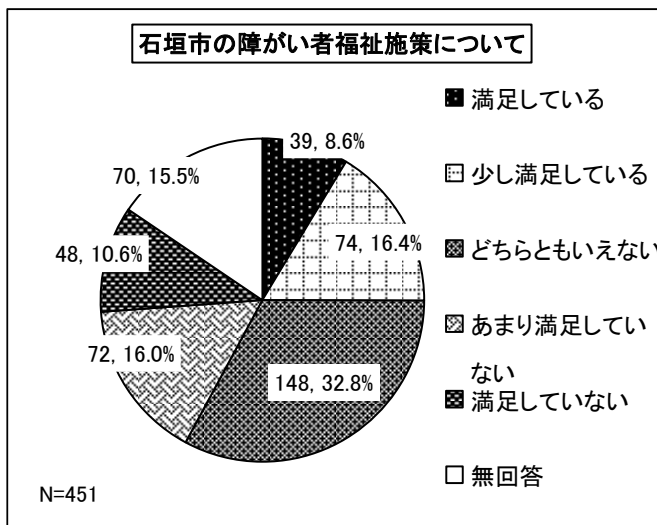
障害のある子どものために重要だと思うことの第1位は「発育・発達上の課題の早期発見・診断」の59.3%、第2位は「地域における療育・リハビリテーション体制」の53.7%、第3位は「保護者が介助・支援できないときの一時的な見守りや介助」の51.9%、第4位は「相談対応の充実」の50.0%、第5位は「小中学校、高校での教育機会の拡充」の42.6%等となっています。



問 54 石垣市の障がい者福祉施策について、どうお考えですか。

石垣市の障がい者福祉施策についてをみると、「どちらともいえない」が32.8%で最も多く、次いで「少し満足している」の16.4%、「あまり満足していない」の16.0%、「満足していない」の10.6%、「満足している」の8.6%となっています。

満足（「満足している」と「少し満足している」の合計）が25.1%、不満（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）が26.6%となっており、若干不満との回答が上回っています。

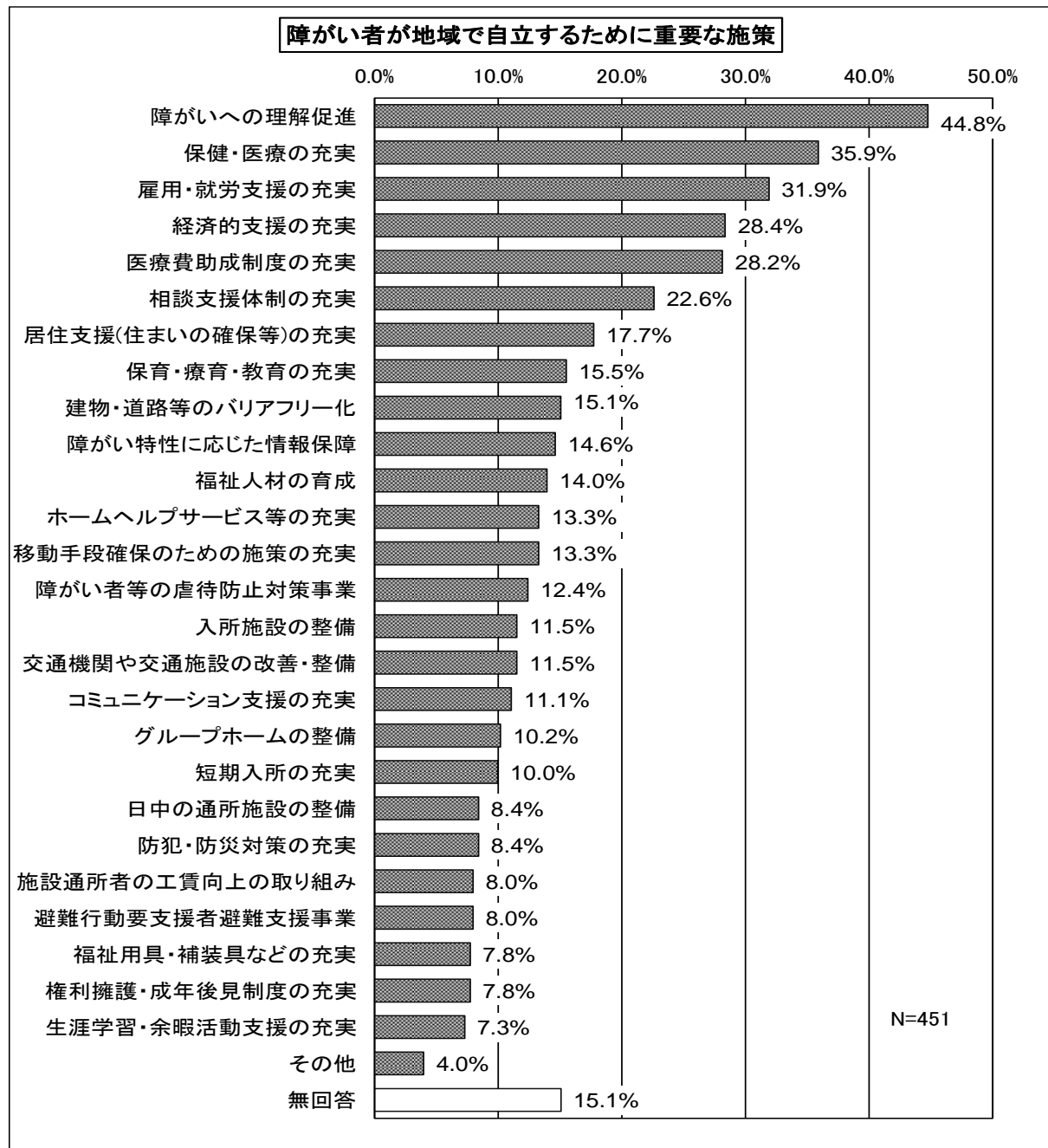


市の障がい者福祉施策の満足度について、障がい種別にみると満足の割合が不満を上回るのは「精神障がい」と「重複障がい」となっています。

	満足している(a)	少し満足している(b)	どちらともいえない(c)	あまり満足していない(d)	満足していない(e)	無回答(f)	満足(a)+(b)	不満(d)+(e)
身体(N=165)	7.9%	15.2%	33.9%	12.7%	12.7%	17.6%	23.0%	25.5%
知的(N=73)	6.8%	13.7%	34.2%	17.8%	13.7%	13.7%	20.5%	31.5%
精神(N=41)	4.9%	34.1%	29.3%	17.1%	7.3%	7.3%	39.0%	24.4%
難病(N=40)	5.0%	7.5%	47.5%	12.5%	7.5%	20.0%	12.5%	20.0%
重複(N=117)	14.5%	18.8%	21.4%	20.5%	9.4%	15.4%	33.3%	29.9%
持っていない(N=15)	0.0%	0.0%	73.3%	13.3%	0.0%	13.3%	0.0%	13.3%
合計(N=451)	8.6%	16.4%	32.8%	16.0%	10.6%	15.5%	25.1%	26.6%

問 55 障がい者が地域で自立して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。

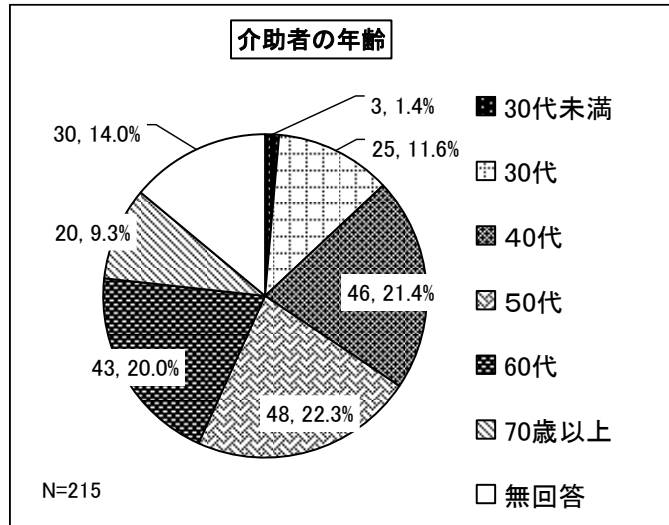
障がい者が地域で自立するために重要な施策の第 1 位は「障がいへの理解促進」の 44.8%、第 2 位は「保健・医療の充実」の 35.9%、第 3 位は「雇用・就労支援の充実」の 31.9%、第 4 位は「経済的支援の充実」の 28.4%、第 5 位は「医療費助成制度の充実」の 28.2%等となっています。



## 問 56 介護者について

### ①年齢（令和2年3月1日現在）

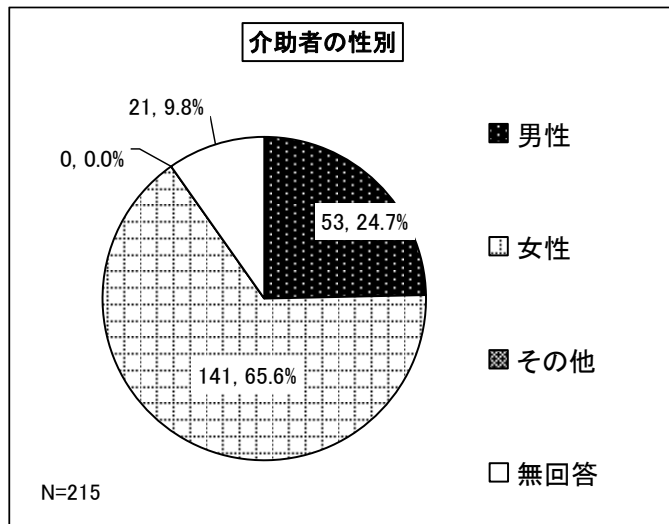
介助者の年齢をみると、「50代」が22.3%で最も多く、次いで「40代」の21.4%、「60代」の20.0%、「30代」の11.6%、「70歳以上」の9.3%等となっています。



### ②性別

介助者の性別をみると、「女性」が65.6%、「男性」が24.7%となっています。

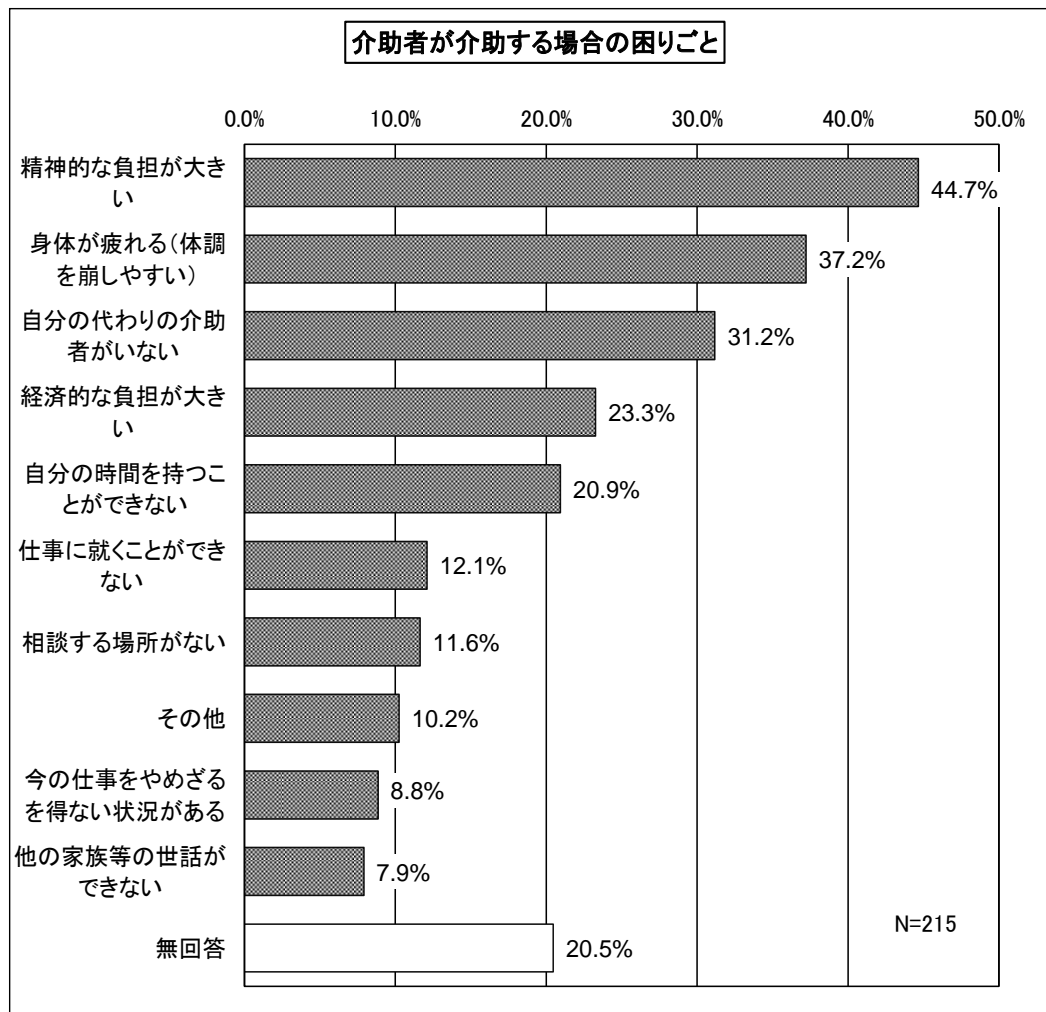
なお、「その他」との回答はありません。





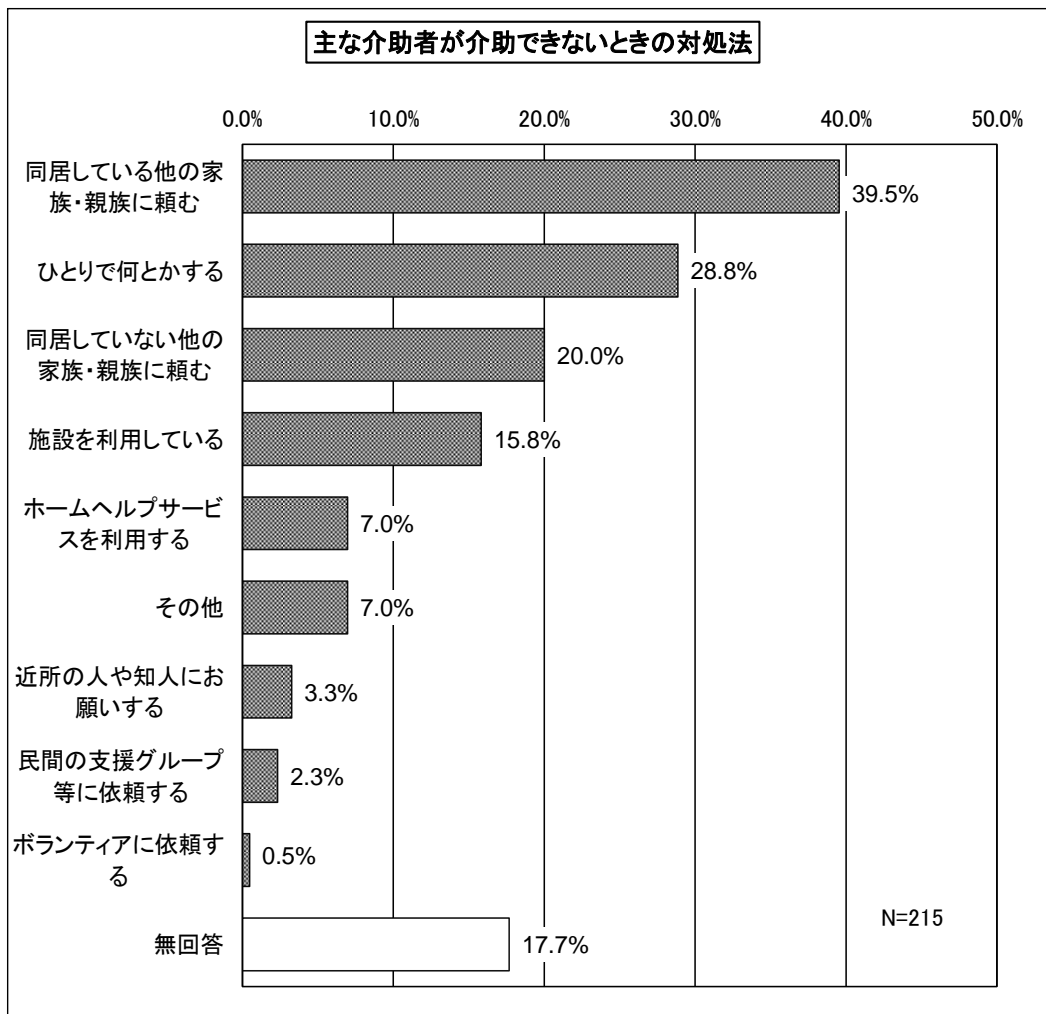
③介護する場合の困りごとは何ですか。

介助者が介助する場合の困りごとの第1位は「精神的な負担が大きい」の44.7%、第2位は「身体が疲れる(体調を崩しやすい)」の37.2%、第3位は「自分の代わりに介助者がいない」の31.2%、第4位は「経済的な負担が大きい」の23.3%、第5位は「自分の時間を持つことができない」の20.9%等となっています。



問 57 主な介助者が病気や用事などで介助できないときの対処

主な介助者が介助できないときの対処法の第1位は「同居している他の家族・親族に頼む」の39.5%、第2位は「ひとりで何とかする」の28.8%、第3位は「同居していない他の家族・親族に頼む」の20.0%、第4位は「施設を利用している」の15.8%、第5位は「ホームヘルプサービスを利用する」及び「その他（何もしないなど）」が同率の7.0%等となっています。



## 自由意見

451 件の回答の内、77 件の自由意見が寄せられています。

### 【福祉・医療サービス等 : 14 件】

1	児童の短期・長期入所施設が欲しい。
2	父母で介護してますが、介護者が病気や体調不良等に陥った場合に緊急的に介護をお願いできる所が無い。緊急時に(家族の)宿泊介護してくれる事業所が欲しい。
3	ケアホーム、病院、グループホーム(入所(短期))が近くに一括して出来たら良いと思います。
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホームを増やしてほしい。</li> <li>・通所デイサービスの上限が23日と決められているが他県では26日認定を受けていたので、同様に増やしてほしい。</li> <li>・相談支援事業所が不足しているため、相談するまで2ヶ月待たされた。改善を求む。</li> <li>・土曜・日曜・祝日にフルタイムで利用できる通所デイサービスを造ってほしい。</li> <li>・通所デイサービスの開始時間が、親の就労開始時間より遅くて困っているので見直しをしてほしい。</li> <li>・日中一時支援サービスを利用したいが利用可能な事業所が無いのが現状であり困っている。</li> </ul>
5	現在、骨折治療を受けています。もう一施設があれば良いと思う。県立病院は、重度や救急患者優先という事で、ある程度治療を受けたが、10ヶ月くらいで他病院へ転院を勧められた。しかしその病院は厚生医療、保険が受けられず、又県立の他科も受診したため、物凄く違和感を感じた。3年間は、我慢して通ったが、また県立の方へ戻った。しかし症状が軽い(?)という事で2度目の転院を勧められている。これは、患者の意志や都合も聞かずにそういう事があってよいのですか?私一人のみならず、度々そんな人がいる事をよく耳にします。どうしたらよいのですか?
6	福祉の充実。
7	介護保険への福祉制度などは無いのかなーと思います。
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立や市立の入所施設を建設してほしい。</li> <li>・大人用のスポーツ施設や広場もあると助かりますが…。</li> </ul>
9	学校卒業後の子供達ももっと交流をして充実したアフターファイブが過ごせるように何か提案してほしい。(例。スイミング、ウォーキング、マラソン等、親が(介護者)行っていると子の子供が、やりたい、スポーツや活動に付いて行けず、自宅で過ごす事が多く、引きこもりにもなりやすいし、もっと社会と関わりを持って過ごさせてあげたいです。運動だけでなく、もっと自立が図れるように。
10	子供を自宅で看たいが、病気(親が)した時に、利用できるショートステイが無い。用事で本島に行く時にも利用できない。そのため、本島の施設に入所させて2~3

	カ月に1回会いに行くが、経済的負担が大きい。外出時に車イス2台乗るレンタカー等を使うなど。
11	障害児のショートステイや施設が無く、介護負担が大きく利用できない。他の子供の事ができなかつたり、周りに負担をかけたくない。移動の際（那覇～）補助も無い。経済的負担が大きい。
12	島内には特定難病の通院できる病院が無く、島外通院のため、交通費の負担が大きい 年/2回¥40,000-の支給ではなく、せめて飛行機運賃、年/6回（1回上限¥15,000）もしくは、年/4回（1回上限¥20,000）の交通費支給の拡充 ちなみに1回の通院費（交通費、宿泊費）平均約¥27,000前後、通院費だけで/年間約¥324,000+診察費 非常に負担が大きい、きつい
13	通院の為に本島に行く際の運賃が高い事。手続きをすれば一部戻ると聞いているが、手続き等に時間を取らない方法を考えて欲しい。また、支払いは遡ってまでお金を取られるが、手続き忘れなどは手続きした時から支給され、遡ってまでされないのはおかしいと思う。/市役所の雰囲気あまり良くないので、行きづらい。来ても見ないフリをする人が多い。/障害に関する福祉サービスも分からない事が多いので、もっと情報を提供して欲しい。
14	石垣島から通院の時のチケット代が高い。支援があると助かります。/南部にあるがじゅまるの家みたいな施設が必要/障がいある人にも幸せを（仕事、教育、医療の充実）

【障がいに対する理解、地域共生社会 : 13件】

15	知識のある人の確保。
16	福祉サービス、相談場所など全く教えてもらえず同じ障害を持つ親との交流で色々教えてもらってます。こういう交流会もたまたま誘われて知ったのもっと情報を教えてほしいです。「ヘルプカード」も初めて知ったのですが利用したとしても周りのこのカードの認知度が低いと意味があまり無いのではないかと思います。私の子は移動も酷く、癇癢を起こしやすく借家のため苦情が出てしまい引っ越さなくてはならなくなった事もありました。今は少し落ち着きも出ていて家には防音マットを敷いてますがたまに起こす癇癢でまた苦情が来ないか心配になったりします。住民とのトラブルはとっても精神的に疲れるので住む所の支援があるととっても助かります。
17	親戚や友人・知人の中では皆、理解して良くしてくれます。しかし、市や県の窓口、教育委員会で高圧的に話され嫌な思いをする事が多くありました。この様なアンケートを実施しても、やった、という実績作りに過ぎないのではないかと、不信感があります。まず、行政・教育現場の方々の差別意識を変え、障害に対する本当の理解を深めてもらいたいと思います。

18	<p>これまでも、町づくりや、行政の取り組みは、たくさんされてきていると感じています。ただ、町づくりの中で障害者が受け入れられているかと考えた時、やはりまだまだだなと感じる事も。当事者にならないと分からない事もいっぱいですが、「インクルーシブ」を加速させる為にも、これまでの取り組みを、現在風?にアレンジしてみたり、町全体を巻き込む大々的な取り組みをしてみたり、これまでと違う視点（例えば、観光×福祉、商工×福祉など）で、何かを展開しても面白いかと思えます。課題は多方面に渡りあると思いますが、1つ1つ進んでいけるよう、行政の方を、支援しています。</p>
19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援員がもっと親身になり、利用者の事をよく理解して動いてほしい。職務怠慢も見られる。</li> <li>・障害児に対する理解が無い。完璧を求めすぎるため、それができない児童に対してつらく当たったり、投げやりな態度をされたり、拳句の果てには、手におえないから、施設では、預かれない等、哀しい言葉を投げかけられた。</li> </ul>
20	<p>発達障害への見守りや、情報が市役所や、地域から少なく、どこへ、相談や、助けを求めたらいいのか分かりにくい。相談しても、曖昧な返事で帰された。早目の、気付きに、対応してくれなかった。親が気付いても、周りの対応がすごく遅くて、デイサービスや、病院ウィスク検査など受ける事が遅くて、ズルズルと、高学年まで引きずって、不登校にまでなりました。これからの子供にそんな事の無いように福祉がもっと、発達障害へ、力を入れてもらえると、良いと思う。子供の未来を、大人が手を差し伸べて、あげてほしいです。</p>
21	<p>障害者は、なりたくてなったのでは、ありません。惨めな思いで、病院に入院させられたり、家族から離れて、淋しい思いは、したくありません。障害者の家族愛を、理解し、その子を大切に行政が、資金を出して、取組んでほしいと思いません。皆同じ人間なのだから!!</p>
22	<p>障害者ではなく発達障害なので、見た目では分からず、バカにされたり他人に騙されたり、笑われたりが多い。その様な人の為の支援や対策がない。学校の先生自体がそういう子を気嫌いして、いじめたりもして、小さい頃は学校が嫌いで「行きたくない」とよく泣いてました。小さい島なので、告白しづらいですし、余計にその先生にいじめられたりもしました。島小で1クラスしか無く少人数でしたので匿名でもバシてしまいます。教育委員会は採用もそうですが、現在いる先生もよく見ていただきたい。頑張っていて、良くしていただいた先生もいますが、先生として人として失格の先生もいらっしゃいます。アンケートや匿名でも告白しづらい事を考えてほしい。中学でも1人酷い事を言う先生がいました。バカだから君は高校へ行けない。←私の目の前でも言いました。親子でとてもショックを受けました。他にも色々あったようです。良くしてくれた先生に言うと「すみません」と謝ってくれました。なので告発はしていません。</p>

23	この様な子供（家族）を持つひとり親が何とか安心して仕事を続ける事ができるよう理解、配慮してもらえ職場環境等が増える事を願っています。様々な病気、疾患、障害について多くの人に知ってもらい、理解される事大切だと考えます。
24	家族や親戚の年下の行政からの圧力。年上も年下も。
25	地域の人ともっと関われる機会が欲しい。
26	本人家族の情報交流や、楽しめる場があれば良いなあと。日々の生活で忙しいのでなかなか厳しいかなと思いますが。成長例に伴っての色々な対応例等、講演等があれば嬉しいです。
27	日本の発達障害支援は先進国の中で遅れている。もっとマイノリティーの偏見を無くし理解してほしい。少し変わった行動するだけで距離を置くような人が多いのは、福祉教育がされない為である。道徳の本で授業をするだけでなくボランティアや交流を増やし当事者と交流し慣れることでそれが日常となり普通の感覚となるはずだから。

【バリアフリー、移動交通手段等 : 12 件】

28	飛行機など交通機関が安く利用できると良いと思う。
29	病院への移動手段の充実
30	でこぼこして歩きづらい。道を綺麗にしてほしい。
31	知人から聞いた話ですが、同じろう者でも引きこもりが多いとの事です。自分が運転できない事もあって、周りから援助無しで（送迎など）外出する機会が無いようです。障害者・高齢者向けに定期パス（一部、負担でもいいので）提供したら良いと思います（内地は普通にあります）。その方が、家にこもるより、良いと思います。
32	歩道に、車の駐車や、障害物が多過ぎる!
33	空港の1Fの車イストイレには、オストメイトシンクが無い。メイクマンの車イス駐車スペースは、無くなってしまったなど行政から民間への働きかけをもっとしてほしい。障害者に寄り添う支援をしてほしい。
34	市がやってくれてるから、ありがたい。交通手段をもうちょっと考えてほしい。
35	公共交通手段の拡充。バスの本数、時間。
36	石垣市離島ターミナル駐車場の中、障害者用の車を停めるスペースが欲しい。いつもレンタカーでいっぱい。なるべく入り口に近いところに。石垣空港では近くまで車が停められるので安心しています。/ターミナル障がい者用トイレの中、びっくりする程差別ですよ。トイレなのか、清掃道具でトイレにも入る気しません。せめて仕切りをすとか、市長はいつも許していますが、残念です。障がい者の方を差別しているみたいで。
37	障害者専用駐車場（健常者使用の罰則化）、バリアフリー条例の制定
38	あらゆるところのバリアフリーを目指して欲しい。

39	車椅子ユーザーです。道路の整備を是非進めて欲しい。デコボコ、坂が多く幅も狭いです。買い物だけでなく、観光地のバリアフリー化の実現を是非実現してほしい。あと車椅子用駐車場が使いません。一般の人が普通に使ってます。トイレ問題もそうですが、そこしか選択権のない私はとても困ります。車椅子用トイレがあっても四肢麻痺だと手でドアが重いのと保持できず開けられません。ウォッシュレットは贅沢ではなく手が使えないと必需品になります。
----	--

【情報提供等 : 9件】

40	公的機関（国、県、市町村等）における障害者募集はどこで告知しているのか、分からない。一般就労。☆広報いしがきに載せてほしい。
41	もう少し話しやすい場所を作ってほしい。「何を聞いていいか」分からないのに私達が具体的な事を聞くまでは何も言わない事が不親切です。障害手帳を持っている人達には分かりやすい話をしてほしい。
42	情報が少な過ぎて、知る機会も少なく、色んな制度を利用したくても、知らずにいる事が多い。多くの利用できる制度を、知り利用しやすいよう改善してほしいと思う。
43	通院している時に働く場所があるという事を全く知らなかったので、むゆる館などの相談施設の広報などを皆に知らせる事が大事ではないかと思う。
44	手話通訳を増やしたい。情報を見えるようにしてほしい。
45	HPを分かりやすくしてほしいです。
46	色んな情報が遅いと思う。例えば、コロナウィルスの件。
47	現代で深刻化している、中高年の半引きこもり（夫がいれば外出可能）で、自宅にいたばかりで、肉体が弱って、生きる気力もありません。辛い気持ちが強い時に、お電話でも構いませんのでお話をしていただけるサービスがあれば嬉しいです。本当は週に1~2回程度、車での送迎があるデイケアや作業所にも行ってみたいと思ってますが情報がありません。
48	行政が何をやっているのかわからない

【障がい者施策・サービスへの要望・意見 : 8件】

49	税金は上がる一方で福祉の支援金が少ない。
50	・聴覚障害のため、車運転中にパトカーや救急車・消防車のサイレンが鳴ってもどの方向から来るのか区別できない。GPSの様な知らせるサインを車に取り付けられるようなサービスがあると、ありがたい。
51	・グループホーム、施設入所を近い将来検討しているが、補助額をもう少し増やしていただけないでしょうか。B型就労の賃金ではとても厳しいです。
52	1.障害がある自分、親の障害、兄弟、知的障害以外の病気や障害のある家族にももっと支援が欲しいです。自分親兄弟共に今の仕事が無くなる可能性もあるから自分の年金だけでは暮らせない→障害年金だけでは、今の仕事が無くなったらつぎの仕

事を探すのが大変で餓死します。親子で仕事をやってもやってもなくても障害年金だけは打ち切らないで!! できれば養護学校出てなくても、事業所や福祉、その他の事業所に属さない方がいます。その様な方の為に行政仕組みを作ってください。あと耳が遠く両耳とも完全に聞こえない訳ではないですが、昔、補聴器を作りましたが、15万だと補助金が出せないと役所の方からいない他を当たってくれと役所の方と一緒にきましたが、こんな扱いですから、とある事業所ですが、ですが仕事をするに当たり流石に補聴器はメガネ屋さんで購入。安かったかですがそれでも私達には高い買い物でした。1個1万円でも高いです。雨風湿気雷で3個~4個パーになりました。大変お金がかかります。なので今は、集音機でやっていますが、療育手帳のみ持っています。手続き面倒臭い。パソコンインターネットスマホできない人は大変です。

2.市役所について手続き等障害者や病气持ちの人に大変疲れる。面倒臭い。できたら保育園児でも分かるように簡単な手続きが良いです。水道住所の変更手続き、免許証療育手帳障害手帳住所変更、障害程度級の検査もしに行くのが大変です。このアンケート用紙みたいに障害の種類に応じて用紙に絵や字、などで検査したりできませんか、そして、障害により今持っている等級のまま死ぬまで使用できるようにできませんか。その手続きや受けに行く時の手続きが大変です。親は、一般学校中学卒業で漢字は分かりませんし書く事もできません。代筆しているため。弁膜症であり手術して20年かもつとなります。あと少して70歳です。兄弟もてんかん発作を起こした事があり私も知的障害B2ですが、あと税金、確定申告の手続きも大変です。税金は全ての税金、支払いなど、あと団地の毎年提出物なども大変。入居や引っ越しの際の今外国人とようしようとしている。世の中で、税金もあらゆる保険など1度に1万円で全ての1ヶ月か2ヶ月に1度1万か15,000円で市民県民、車、自転車案、国保、車、バイク、保険あらゆる税金が、できれば、2ヶ月に1度の支払いならばもっと住み良い世の中になるはず、要するにまとめて支払いや手続きが終われば良いなあ。例えば障害手帳だけであらゆる手続きや切り替えも行えたら良いなあ。あと保険などそのインターネットやパソコン、スマホ持っていない使いこなせないマイナンバーカードも、紙の人でもカードの人と同じ様に全部できれば良いのに暮らしにくい世です。できれば知的障害者でも運転できる自動車やバイク、ゴルフカートの車で一般車道を走ってて生活できるようにしてほしい。本人や家族が助かるから。

3.あと毎年生きているか死んでいるか届けハガキの切手貼るのが大変です。値段がコロコロ変わるのでついていけません。なのでずっと障害者へのハガキやアンケート現状届けのハガキ返信する時切手不要にしてほしいです。どんな封筒ハガキ一切の物切手貼らずに出せるようお願いいたします。あと団地の提出物所得かな?取得証明書のみですんなり引っ越したい。仕事してるか、休業してるか辞めたか退職したか団地の家賃決める時みたいにできれば良いなあ。災害時の非常袋スーパーなんかで買えたら良いのに基本的な物を3日分袋に入れて売ってほしい。自分で揃えるの



	<p>大変安いのだと良いです。あと女性用品や男性用品、ナプキン石鹸、髭剃りクリームあとナプキン生理用品は、2～3日～もっと避難するかもだから30～45～49、50くらいのナプキンを入れると良いです。20枚か26枚程アンケートで家族全員の障害や身長体重を調査し服ズボンなど一式揃えてそれぞれが郵便で送るかスーパーに取りに行ってもらってはいかがでしょう!!難しいとは思いますが、小さな声を聞き届けてください!!あまり高くなく1,000～2,000程で止まるようにあと年寄りや障害者用に杖、眼鏡度付き眼鏡遠近両用車イス。補聴器、集音機、などもアンケート調査でとり、非常袋と一緒に入れたり下げたりしてできればいいですね。アンケートもダメですか?あと非常袋自治会や公民館などで受け取りできたらいいですね!!</p>
53	<p>若い人達は色々なサービスができ、人任せの育児となっている。仕事を持っているため我が子との接触時間が少ないのではと思うところがある。障害者・児の教育はあるが親の教育場が無い。我が子が障害児と認めるのもつらい時期に教育をとというのも大変だが必要だと思う。老婆心より。</p>
54	<p>療育手帳を持っていてもほとんど使う機会がありません。残念です。個人的には空港の駐車場に、割引があると助かりますが…。</p>
55	<p>内地に住んでる時は手当があり、助かってました。今は厳しいです。なので、取組んでほしいです。</p>
56	<p>・自立できるように支援金を増やしてほしい。</p>

【雇用 : 5件】

57	<p>・障害者の就職に関する事で、期間非常勤ではなく、本人が希望する場合、勤務上の問題が無ければ、繰越しできるようにしてほしいです。(期間無しで、ずーと年度で繰越し)理由は、せっかく1年間で仕事を覚えたのに、期間1年で終わり、次の就職先を探し、又、期間で終わるのではなく、覚えた仕事の年数を重ねて行った方が、自分の障害を乗り越え、自分でテキパキと仕事に慣れ、働いている職場の力にどンドンなっていきたいからです。</p> <p>・精神障害3級でも、利用できるサービスを常に教えてもらいたいです。</p>
58	<p>現在、就労に通ってますが就労だけ収入あり。</p>
59	<p>私は、精神障害者手帳を持っています、2級の認定を受けています。最近1月に1回ほどのペースで外来での受診を受けています。近場の事業所は、B型ですが、そちらで行われました避難訓練に参加をしました。私は、今のところ、車いすや松葉杖等を使う事無く避難する事ができ、かつ訓練時に車いす(人が乗られている)を大浜地区の一時避難所だと、記憶している大浜中学校辺りまで、押ささせていただきました。経験が、あまり無く、坂道も途中にあたりした事もあり、街中から自分1人で走ったりしての避難と違い、様々な難儀を要する事、仲間で、励まし合ったり付けあたりする事の大事さを学びました。また、消防の職員の方が、実際来所してくださり、AEDの使い方や、人命救助を学び、勉強できまし</p>

	た。現在は、B型、A型事業所での作業から離れ、一般のアルバイトをしています。健常者等のみならず、色々な、地域内で活動等、されておられる方々、また弱者である障害者の方々、そこで働いている方々の安全の為に、前述しました訓練や勉強会の実施の開催を多くしたり、事業所、他様々な場所での実施、必要性を感じました。自立支援医療受給者証、使っていますが、ありがたい。精神の安心感も得られています。また、市の災害時、要援護者登録制度をまだ理解されておられない方が多数の気もしますが、いかがでしょうか。
60	差別がある（賃金）。
61	障がい者の雇用・就労支援として職業斡旋等、また市業者への案内、紹介等して欲しい。

【教育 : 4件】

62	島民の経済レベルが向上しないと、より良い人材が育成されないと思います。福祉も大切ですが子供達の教育レベルを更に向上させてほしいです。経済と子供の学力は、やはり比例していると思います。石垣島をより良くするには、子供の学力向上だと感じています。まずは、島民の収入をアップさせる為の策を行政が考えてほしいと思います。
63	石垣市は小児の聴覚障害についてのサービス、理解が少ない。今、特別支援学校に通っているけど、手話通訳士の派遣をお願いしているが、断られている。子供の成長はどんどん進んでいくので今、学べる時にその子供の成長に合った教育を学ばせたい。琉大にも月1回通いたいけど、経済的に厳しい。2人分の旅費は大きい…。
64	学校での取り組み。昨年度は、お友達にハンデがある事でバカにされる事があり、悲しい思いをしました。今年はクラスを離してもらいましたが、どうなるかわかりません。本人が話してくれないと親はわかりませんが、学校の先生も見ても見ぬ振りや、「お友達同士のケンカは自分達で解決して!」と言うのは低学年の子に対しての対応ではないと思います。小さい頃から、周りを思いやる心を持ってもらう為に、もっともっとインクルーシブ教育等を進めてもらいたいです。
65	一般の小学校の支援学級に通っていますが、支援員さんの数、時間が短いなど改善してほしいです。

【緊急時の対応(災害、緊急時の対応) : 2件】

66	障害者が利用できるサービスを早めに本人に説明する事。又、津波による大災害の時、薬を一日も早く（目標3日以内に）調達できるシステム作りを必ずしてほしい、災害時に薬が無いと死活問題だ!
67	防犯・防災対策の充実

【アンケートに対する意見・要望など : 2件】

68	町づくりや行政の取り組みについて第三者にアンケート調査を委託して面倒は人に押し付ける。まあ石垣市だけではなく、他市町村もそうしてるでしょうがね。本当に良い町づくりや、行政の取り組みをしていると言うのであれば石垣市の職員一人ひとりが、戸別訪問するのが、筋ではないだろうか?こんなA4の用紙を束ねた物で、何を変えと言うのか?何が変わるのか?どうせって互いになあなあでやってるのは、火を見るよりも明らか。それとも何ですか?市役所は忙しいから、こちらが代わってアンケート調査をしているとでも言いたいんですか?市役所は、忙しいのが当然。私も、5年間、窓口に立っていたからそう言ってるんです。最後にもう一度言う、本当により良い方向にしようと取り組んでいる姿勢を見せるのであれば市役所自身が動いてください。
69	本アンケートを活かしてもらいたい。

【その他 : 10件】

70	パートで働いていますがアパート等の家賃が高く今は母、父、子と実家暮らししています。県団地に入れる日を待っています。
71	とにかく、手続きに時間がかかり過ぎる!もう少し早く、手続き、終われば、不安は減ると思います。
72	個人的には大分良くなってきていると思いますがもう少し努力と健康面を上げていけばまだ改善すると思います。
73	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道管理。雨の度に水が溢れ、雨上がりにゴミが溜まっている。</li> <li>・街路樹が多過ぎる。枝が伸び過ぎてもそのまま道路に出過ぎている。標識や左右確認に邪魔。管理不足。</li> <li>・標識が少ない。</li> <li>・道路に穴があっても直されていない。</li> <li>・自衛隊配備で自然や動物、水の事を騒いでいるが、ホテルやコテージなどの建設で自然が壊されていないか。</li> <li>・長期的に考えて、今の建築物は多過ぎないか。旅行ブームが衰退したり、人口減少で空き家が多くなり、テロの隠れ家になったり、外国に買われて、その内日本でなくなるのではないか。</li> </ul>
74	障害自体をこの世から、無くしてほしい。一体何の為に、障害者や健常者病気の方が、この世に居るのだろうか?医療が進化しているのならば、障害や病気を完治する技術も身に付けてほしい。特にてんかん緑内障等。視野が狭い事等も、いい加減完治してほしい。
75	町内を頼りにしています。
76	・福祉人材の育成で、人は人でしか対応できず、育ててほしいです。 ・自ら施設で、身内の支援の仕事ができありがたく思う若い方も働ける為には給料も安定し行

	政の力も欲しいです。家族も同じ様に施設で働いて人の輪を広げていきたいと思っています。
77	歩道の草木を植えたなら手入れをしてほしいです。歩道はもちろんですが、景色が綺麗な所は木が伸びて海なども見えず観光地として、ドライブコースも整備してほしいです。もったいないと思います。公園など施設は維持してほしいです。特に衛生的に!
78	大浜のファミリーマートのT字路に信号を付けてほしい。ドンキホーテに続く横断歩道を付けてほしい。保健所と全日空に向かうT字路に横断歩道を付けてほしい。シニアカーで移動する時に車が飛び出して来るから。
79	お金を管理する人が、横領などしたら、何も信頼できなくなる。誠意と償いをちゃんと本人が皆の前で示してほしい。

# 福祉に関するアンケートへのご協力のお願い

日頃より石垣市の福祉行政にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では現在、令和3年度を初年度とする「第5次石垣市障がい者福祉計画」・「第6期障害福祉計画」・「第2期障害児福祉計画」の策定に向けた取り組みを進めています。

そのため、市民の皆さまの福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定の基礎資料として役立てるためのアンケートを実施することになりました。

調査の対象者は、障害者手帳等をお持ちの方及び障害福祉サービスを受けている方、特定医療費（指定難病）受給者証をお持ちの方となっています。

本調査票は無記名でご回答いただきますので、石垣市個人情報保護条例にしたがい適切に管理しますので回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。

また、ご回答いただいた内容は統計的な処理を行い、計画策定および施策推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使われることは一切ありません。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和2年3月 石垣市

## <記入要領>

- このアンケートは下記のURLの入力もしくはQRコードを読み込み、スマートフォン等を使ってWeb上で回答することもできます。Webで回答した場合、本調査票の記入は不要です。
- この調査票は、ご本人（宛名の方）と、その方を介助・支援している方に回答をお願いするものです。介助・支援している方にお答えいただく質問は18、19ページとなっており、それ以外の質問にはできるだけご本人がお答えください（ご本人がお答えになるのが難しい場合には、ご家族の方や支援者の方などがご本人のご意向を考慮してお書きいただいてもかまいません。）
- 名前や住所を書く必要はありません。
- 質問への回答方法は、それぞれ質問文に記載していますので、質問文をよく読んでお答えください。
- アンケートが届いてから2週間をめぐりに記入していただき、同封の返信用封筒（切手不要）を使ってご返送ください。
- このアンケート調査へのご質問などは、下記までお問い合わせください。



URL : <https://forms.gle/Ue41gfPegPfk7mrn7>

### 【問い合わせ先】

アンケート内容について、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

石垣市役所 福祉部 福祉事務所 障がい福祉課 障がい福祉係/担当者：南風盛  
電話 (0980) 82 - 9947 (内線) 278 ファックス (0980) 82 - 1580

### 《調査受託先》

株式会社 沖縄計画機構 担当者：野原・宇良・外間  
電話 (098) 867 - 7471 ファックス (098) 867 - 6692

問1 お答えいただくのは、どなたですか。（〇は1つだけ）

1. 本人（この調査票が郵送された宛名の方）
2. 本人家族等
3. 家族以外の介助者や支援者

※これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」とお呼びしますので、ご本人（この調査票の対象者：障がいのある方）の状況などについて、お答えください。

## あなた（宛名の方）の性別・年齢などについて

問2 あなたの年齢をお答えください。（令和2年3月1日現在）

- |          |        |        |
|----------|--------|--------|
| 1. 10代未満 | 4. 30代 | 7. 60代 |
| 2. 10代   | 5. 40代 |        |
| 3. 20代   | 6. 50代 |        |

問3 あなたの性別をお答えください。（〇は1つだけ）

- |       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

## あなたがお持ちの手帳や診断に関することについて

問4 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。（〇は1つだけ）

- |       |       |       |           |
|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 1級 | 3. 3級 | 5. 5級 | 7. 持っていない |
| 2. 2級 | 4. 4級 | 6. 6級 |           |

問4-1【問4で「1.」から「6.」と答えた方へ】主たる障害の種類は次のどれですか。（〇は1つだけ）

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1. 視覚障害           | 5. 肢体不自由（下肢）   |
| 2. 聴覚障害           | 6. 肢体不自由（体幹）   |
| 3. 音声・言語・そしゃく機能障害 | 7. 内部障害（1～6以外） |
| 4. 肢体不自由（上肢）      | 8. その他         |



問11【問10で「2.」から「8.」と答えた方へ】以下の介護保険サービスの中で、あなたが利用しているサービスはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

《居宅サービス》		
1. 訪問介護	6. 通所介護	11. 福祉用具貸与
2. 訪問入浴介護	7. 通所リハビリテーション	12. 特定福祉用具販売
3. 訪問看護	8. 短期入所生活介護	13. 住宅改修
4. 訪問リハビリテーション	9. 短期入所療養介護	
5. 居宅療養管理指導	10. 特定施設入居者生活介護	
《地域密着型サービス》		
14. 地域密着型介護老人福祉施設	17. 小規模多機能型居宅介護	
15. 認知症対応型共同生活介護	18. 夜間対応型訪問介護	
16. 認知症対応型通所介護		
《施設サービス》		
19. 介護老人福祉施設	20. 介護老人保健施設	21. 介護療養型医療施設

日常生活について

問12 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。（①から⑩それぞれに○を1つ）

項 目	ひとりできる	一部介助が必要	全部介助が必要
① 食事	1	2	3
② トイレ	1	2	3
③ 入浴	1	2	3
④ 衣服の着脱	1	2	3
⑤ 身だしなみ	1	2	3
⑥ 家の中の移動	1	2	3
⑦ 外出	1	2	3
⑧ 家族以外の人との意思疎通	1	2	3
⑨ お金の管理	1	2	3
⑩ 薬の管理	1	2	3

【「一部介助が必要」又は「全部介助が必要」と回答された方】←

問13 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。（○は1つだけ）

1. 父母（親）	6. 友人・知人、近所の人
2. 配偶者（夫または妻）	7. ボランティア
3. 子ども	8. ホームヘルパー
4. 兄弟姉妹	9. 施設・病院の職員
5. その他の親族	10. その他（ ）



## 住まいや暮らしについて

問14 あなたは現在どのように暮らしていますか。(〇は1つだけ)

1. 家族と暮らしている
2. ひとりで暮らしている(自宅 アパート グループホーム その他( ))
3. 福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている
4. 病院に入院している
5. その他( )

問14-1 【問14で「1.」と答えた方へ】

現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてに〇)

- |        |           |
|--------|-----------|
| 1. 母親  | 5. 兄弟姉妹   |
| 2. 父親  | 6. 祖父母    |
| 3. 配偶者 | 7. その他の親族 |
| 4. 子ども | 8. その他( ) |

問14-2 【問14で「1.」と答えた方へ】

現在、あなたが一緒に暮らしている人は、何人ですか。

( )人 ※あなたを含む人数をお答えください。

問15 あなたは将来、地域でどのように生活したいと思いますか。(〇は1つだけ)

1. グループホームなどを利用したい
2. 家族と一緒に生活したい
3. 一般の住宅でひとりで暮らしをしたい
4. 施設で暮らしたい
5. その他( )

問16 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。

(あてはまるものすべてに〇)

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1. 障がい者に適した住居の確保       | 5. 近くに相談できる場所があること |
| 2. 在宅福祉サービスが適切に利用できること | 6. 地域住民等の理解が得られること |
| 3. 家族の理解が得られること        | 7. その他( )          |
| 4. 仕事につくことができる環境があること  |                    |

## 外出についてお聞きします

問17 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(〇は1つだけ)

1. 毎日外出する	4. 月に1日以下
2. 1週間に1～2日	5. まったく外出しない
3. 1週間に3～4日	※外出しない理由

問18 【問17で「1.」～「4.」と答えた方へ】あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(〇は1つだけ)

1. 父母・祖父母・兄弟	4. ホームヘルパーや施設の職員
2. 配偶者(夫または妻)	5. その他の人(ボランティア等)
3. 子ども	6. 一人で外出する

問19 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。  
(あてはまるものすべてに〇)

1. 通勤	6. 趣味やスポーツをしに行く
2. 通園・通学	7. 友人・知人に会う
3. 訓練やリハビリに行く	8. グループ活動に参加する
4. 医療機関への受診	9. 散歩に行く
5. 買い物に行く	10. その他( )

問20 外出するときの方法をお答えください。(あてはまるものすべてに〇)

1. 徒歩	6. サービス事業所等の車
2. 自転車、バイク	7. 路線バス・タクシー
3. 自分で運転する自動車	8. 福祉タクシー
4. 家族の車	9. その他( )
5. 友人・知人の車	

問21 外出するとき困難に思われることはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- |               |                      |
|---------------|----------------------|
| 1. 支援者がいない    | 7. 道路に段差が多い          |
| 2. 交通機関がない    | 8. 案内板がわかりにくい        |
| 3. 経費がかかる     | 9. 音の出る信号機がない(少ない)   |
| 4. 車が多く危険を感じる | 10. 障がい者用トイレがない(少ない) |
| 5. 人目が気になる    | 11. 障がい者用駐車場がない(少ない) |
| 6. 会話が困難      | 12. その他( )           |

日中活動や就労について

問22 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

1. 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている
2. ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている
3. 専業主婦(主夫)をしている
4. 病院などのデイケアに通っている
5. リハビリテーションを受けている
6. 入所している施設や病院等で過ごしている
7. 各種教室やサークルなどに通っている
8. 保育所、幼稚園、障害児通園施設などに通っている
9. 特別支援学校(幼小中高等部)に通っている
10. 一般の小中学校、高校に通っている
11. 自宅で過ごしている
12. その他( )

問23【問22で「1.」と回答された方へ】

どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つだけ)

1. 正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない
2. 正職員で短時間勤務などの障がい者に配慮がある
3. パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員
4. 漁業、農業、販売などの自営業
5. 福祉就労(A型・B型・就労移行・その他)
6. その他( )

問24 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(〇は1つだけ)

1. 仕事をしたい      2. 仕事はしたいができない      3. 仕事はしたくない

問25 【問24で「2.」「3.」と答えた方へ】あなたが仕事はしたいができない、仕事はしたくないと答えた理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 障害・疾病の程度や症状のため      6. 家族等の理解がないため  
2. 高齢のため      7. 誰に相談してよいかわからない  
3. 自分に合った仕事がないため      8. 特に理由はない  
4. 働くための技術や知識がないため      9. その他 (      )  
5. 社会経験が乏しいため

問26 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 通勤手段の確保  
2. 勤務場所におけるバリアフリー等の配慮  
3. 短時間勤務や勤務日数等の配慮  
4. 在宅勤務の拡充  
5. 会社(経営者)の障がい者理解  
6. 職場の上司や同僚に障害の理解があること  
7. 職場で介助や援助等が受けられること  
8. 就労後のフォローなど職場と支援機関の連携  
9. 企業ニーズに合った就労訓練  
10. 仕事についての職場外での相談対応、支援  
11. その他 (      )

## 医療について

問27 あなたの病院受診状況についてお答えください。(〇は1つだけ)

1. 入院している      3. 往診を受けている  
2. 通院している      4. 受けていない

問28 現在利用している医療費助成制度は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 難病の患者に対する医療等に関する法律による医療費助成
2. 児童福祉法による医療助成（小児慢性特定疾病医療費助成）
3. 障害者総合支援法による医療助成（育成医療・更生医療・精神通院医療）
4. 生活保護法による医療扶助
5. 高額療養費助成制度による医療費助成（健康保険）
6. 重度心身障害者（児）医療費助成制度
7. こども医療費助成
8. その他（ ）
9. わからない
10. 利用していない

問29 医療機関について困っていることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 家の近くに医療機関がない
2. 障がいについての専門的医療機関がない
3. 障がいについて理解した上で対応してくれる医療機関がない
4. 休日や夜間に対応してくれる医療機関がない
5. 通院のための交通手段を確保するのが困難である
6. 通院に付き添ってもらう人の確保が困難である
7. 医療機関の院内がバリアフリーでない
8. 症状をうまく医師に伝えられない、医師の説明が理解できない
9. 医療費の負担が大きい
10. その他（ ）
11. 特に困ったことはない

### 障害福祉サービス等の利用についてお聞きします

問30 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。（○は1つだけ）

- |        |        |        |           |
|--------|--------|--------|-----------|
| 1. 区分1 | 3. 区分3 | 5. 区分5 | 7. 受けていない |
| 2. 区分2 | 4. 区分4 | 6. 区分6 |           |

しょうがいふくし など りよう き  
障 害 福 祉 サービス 等 の 利 用 に つ い て お 聞 き し ま す

問31 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考へますか。  
 (①～⑧のそれぞれについて、「現在利用している：1」「現在利用していない：2」のいずれかに○をつけて下さい。また、①～⑧のそれぞれについて今後利用したい場合は「利用したい：3」に回答(番号に○)してください)

サービスの種類	現在利用しているか		今後の意向
	している	していない	利用したい
① 住宅介護 (ホームヘルプ) ヘルパーを自宅に派遣し、入浴や排せつ、食事などの介助を行うサービスです。	1	2	3
② 重度訪問介護 重度の障害があり常に介護が必要な方に対して、ヘルパーを自宅等に派遣し入浴や排せつ食事などの介助や外出時移動の補助を行うサービスです。	1	2	3
③ 同行援護 視覚障害により移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の援護などを行うサービスです。	1	2	3
④ 行動援護 知的障がいや精神障がいにより行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するとき必要な介助や外出時の移動の補助などを行うサービスです。	1	2	3
⑤ 重度障害者等包括支援 常に介護が必要な方で、介護の必要の程度が著しく高い方に、住宅介護などのサービスを包括的に提供するサービスです。	1	2	3
⑥ 生活介護 常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動などの機会を提供するサービスです。	1	2	3
⑦ 自立訓練 (機能訓練、生活訓練) 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行なうサービスです。	1	2	3
⑧ 就労移行支援 一般の企業で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練を行うサービスです。	1	2	3

サービスの種類	現在利用しているか		今後の意向
	している	していない	利用したい
<b>⑨就労継続支援（A型、B型）</b> 一般の企業で働くことが困難な方に、就労の 機会の提供や生産活動その他の活動の機会の 提供、知識や能力の向上のための訓練を行う サービスです。	1	2	3
<b>⑩療養介護</b> 医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、 主に昼間に病院等において機能訓練、療養上 の管理、看護などを提供するサービスです。	1	2	3
<b>⑪短期入所（ショートステイ）</b> 在宅の障がい者（児）を介護する方が病気の場 などに、障がい者が施設に短期間入所し、 入浴、排せつ、食事の介護などを行うサービ スです。	1	2	3
<b>⑫共同生活援助（グループホーム）</b> 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や 日常生活上の援助を行うサービスです。	1	2	3
<b>⑬施設入所支援</b> 主として夜間、施設に入所する障がい者（児） に対し、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を 行うサービスです。	1	2	3
<b>⑭相談支援</b> 福祉に関する問題や介護者からの相談に 応じて、必要な情報の提供や助言などを行う サービスです。	1	2	3
<b>⑮児童発達支援</b> 日常生活における基本的な動作の指導、知識 技能の付与、集団生活への適応訓練などの支 援を行うサービスです。	1	2	3
<b>⑯放課後等デイサービス</b> 学校の授業終了後や学校の休校日に、障がい 児通所支援事業所等の施設に通い、生活能力 向上のために必要な訓練や、社会との交流の 促進などの支援を行うサービスです。	1	2	3
<b>⑰保育所等訪問支援</b> 保育所等を訪問し、障がい児に対して、障がい 児以外の児童との集団生活への適応のための 専門的な支援などを行うサービスです。	1	2	3

サービスの種類	現在利用しているか		今後の意向
	している	していない	利用したい
<b>⑩医療型児童発達支援</b> 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援と治療を行うサービスです。	1	2	3
<b>⑨福祉型児童入所支援</b> 障がい児入所施設に入所する障がい児に対して、保護・日常生活の指導や知識技能の付与を行うサービスです。	1	2	3
<b>⑭医療型児童入所支援</b> 障がい児入所施設や指定医療機関に入所等をする障がい児に対して、保護・日常生活の指導や知識技能の付与や治療を行うサービスです。	1	2	3

問32 あなたは、これまでサービスを利用して、不便なことや困ったことはありませんか。  
 (あてはまるものすべてに○)

1. 利用したいサービスが利用できなかった
2. サービスの利用回数や利用時間が足りなかった
3. 利用手続きが大変、手続きがわかりにくく、時間がかかる
4. サービスを提供する職員の対応が不適切だった
5. 希望しているサービスの内容ではなかった
6. どこでサービスを利用すれば良いのかわからなかった
7. サービスを利用する際の利用者負担額が大きい
8. その他 ( )
9. 困ったことは特にない

問33 サービスを利用したことがない方に伺います。利用していない理由はなんですか。  
 (あてはまるものすべてに○)

1. サービスを利用する必要がないから
2. 家族等の介助や介護の支援があるから
3. 必要なサービスが使えないから
4. サービスを提供する事業所が遠いから
5. どのようなサービスが利用できるかわからないから
6. どこに相談すれば良いのかわからないから
7. サービスを利用する負担が大きいから
8. ひとの世話になりたくないから
9. その他 ( )



さいがいじ たいおう き  
災害時の対応について、お聞きします

問34 あなたの災害時の避難について伺います。(〇は1つだけ)

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1. ひとりで避難できる   | 3. 家族や支援者の手助けで避難できる |
| 2. ひとりでは避難できない | 4. その他( )           |

問35 地震や火事等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 投薬や治療が受けられない          |
| 2. 補装具の使用が困難になる          |
| 3. 補装具や日常生活用具の入手ができない    |
| 4. 救助を求めることができない         |
| 5. 安全な所まで迅速に避難することができない  |
| 6. 被害状況、避難場所などの情報が入手できない |
| 7. 周囲とコミュニケーションがとれない     |
| 8. 避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安 |
| 9. 特にない                  |
| 10. その他( )               |

問36 あなたは災害時の対策は立てていますか。(あてはまるものすべてに〇)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 避難場所がわかる                         |
| 2. 家族と避難方法を決めている                    |
| 3. 近所の人に災害時の手助けを頼んでいる               |
| 4. 食糧や水などの防災用品を用意している               |
| 5. 必要な薬、補装具、医療器具などはすぐ持ち出せるように準備している |
| 6. 家具に転倒防止の対策をしている                  |
| 7. 年1回は避難訓練をしている                    |
| 8. 「災害時要援護者登録台帳 ※1」に登録している          |
| 9. 「ヘルプカード※2」を利用している                |
| 10. その他( )                          |
| 11. 特に対策を立てていない                     |

問37 あなたは、「災害時要援護者登録台帳」に登録していますか。(〇は1つだけ)

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 名簿に登録している      | 3. 知らなかったが、登録したい   |
| 2. 知っているが、登録していない | 4. 知らない、登録の必要を感じない |

※1 「石垣市災害時要援護者登録制度」とは、一人では避難が難しい方々にあらかじめ「災害時要援護者」として市に登録していただき、災害時に避難支援が行えるようにする為の制度です。

問38 あなたは、「ヘルプカード」を利用していますか。（〇は1つだけ）

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 利用している         | 3. 知らなかったが、利用してみたい |
| 2. 知っているが、利用していない | 4. 知らない、必要としていない   |

※2「ヘルプカード」とは、障がい者等で手助けを必要とする人が普段から身につけておき、緊急時や災害時に周囲の人の配慮や手助けをお願いしやすくするためのカードで、市が配布しています。

### 地域とのかかわりについてお聞きします

問39 あなたは地域社会での活動（市の行事、公民館・自治会・子ども会等の行事など）に参加していますか。（〇は1つだけ）

- |           |           |          |
|-----------|-----------|----------|
| 1. よく参加する | 2. 時々参加する | 3. 参加しない |
|-----------|-----------|----------|

問40 地域や住民の障がい者に対する理解は深まってきたと思いますか。（〇は1つだけ）

- |                |            |
|----------------|------------|
| 1. 理解されてきた     | 4. 理解されてない |
| 2. 少し理解されてきた   | 5. わからない   |
| 3. あまり理解されていない |            |

### 権利擁護についてお聞きします

問41 あなたは、障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（〇は1つだけ）

- |       |         |       |
|-------|---------|-------|
| 1. ある | 2. 少しある | 3. ない |
|-------|---------|-------|



問42【問41で「1.」又は「2.」と回答された方へ】どのような場所・場面で差別や嫌な思いをしましたか。（あてはまるものすべてに〇）

- |             |                                |
|-------------|--------------------------------|
| 1. 学校・仕事場   | 5. 病院などの医療機関                   |
| 2. 仕事を探すとき  | 6. 住んでいる地域                     |
| 3. 外出先      | 7. 家庭内                         |
| 4. 余暇を楽しむとき | 8. その他（                      ） |

問43 あなたは、「成年後見制度」についてご存じでしたか。（〇は1つだけ）

1. 名前も内容も知っていた
2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らなかった
3. 内容も名前も知らなかった

※成年後見制度とは、障がい等により判断能力が不十分な方を不利益から守るため、本人に代わり契約や財産管理等を行う代理人を選任する制度です。

問44 あなたは、万一自分自身では判断ができなくなった場合、「成年後見制度」を利用し財産管理などを任せることについて、どう思いますか。（〇は1つだけ）

1. 既に利用している
2. 任せてよい
3. 一部なら任せてもよい
4. 任せたくない
5. わからない

相談相手についてお聞きします

問45 あなたは日常生活のなかで、困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

1. 支援や世話をする介助者等がいなくなった後の生活のこと
2. 自分の体調や健康管理に関すること
3. 障害福祉サービス等の利用に関すること
4. 保育・教育環境に関すること
5. 進学や就職に関すること
6. 就労環境に関すること
7. 住まいやお金に関すること
8. 災害時（台風、津波、地震等）の避難に関すること
9. 夜間や休日などの緊急時の対応に関すること
10. 差別意識の解消や虐待等に関すること
11. 近所づきあいや人間関係に関すること
12. 投票所のバリアフリーなどの障害等に配慮した対応に関すること
13. 生きがいづくりに関すること
14. その他（ ）
15. 特にない

問46 あなたは、悩みや困りごと等を誰に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

- |              |                        |
|--------------|------------------------|
| 1. 家族や親せき    | 8. かかりつけの医師や看護師        |
| 2. 友人・知人     | 9. 病院のケースワーカー、ケアマネージャー |
| 3. 近所の人      | 10. 民生委員・児童委員          |
| 4. 職場の上司や同僚  | 11. 保育所や幼稚園、学校の先生      |
| 5. 施設の指導員    | 12. 相談支援事業所などの相談窓口     |
| 6. ホームヘルパー   | 13. 行政機関の相談窓口          |
| 7. 障害者団体や家族会 | 14. その他（ ）             |

問47 あなたは障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。（あてはまるものすべてに○）

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 家族や親せき         | 7. インターネット        |
| 2. 友人・知人          | 8. テレビ・ラジオ・新聞     |
| 3. 市の相談窓口         | 9. 民生委員・児童委員      |
| 4. かかりつけの医師や看護師   | 10. 保育所や幼稚園、学校の先生 |
| 5. サービス事業所の人や施設職員 | 11. 相談支援事業所       |
| 6. 障害者団体や家族会      | 12. その他（ ）        |

### 障がい児への支援について（18歳未満の方にお聞きします）

問48 インクルーシブ教育の推進は必要だと思いますか。（○は1つだけ）

インクルーシブ教育とは、子どもたち一人ひとりが多様であることを前提に、障害の有無にかかわらず、誰でも自分に合った配慮を受けながら地域の通常学級で学ぶことができることです。

- |       |         |              |
|-------|---------|--------------|
| 1. 思う | 2. 思わない | 3. どちらとも言えない |
|-------|---------|--------------|

問49 学校のことで困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- |                                 |                             |
|---------------------------------|-----------------------------|
| 1. 移動手段の確保が難しい                  | 6. 先生の障がいに関する知識や経験、理解が十分でない |
| 2. 介助者が得にくい                     | 7. 医療的ケアが十分に受けられない          |
| 3. コミュニケーションがとりにくい              | 8. その他（ ）                   |
| 4. 建物や設備が障がいに配慮されていない           | 9. 特に困っていることはない             |
| 5. 障がいの状況や特性に合った指導・相談などをしてもらえない |                             |

問50 放課後や休みの日などは、どのように過ごしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 友達と外で遊んだりする    | 6. 放課後等デイサービスで過ごす |
| 2. 部活やサークル活動に参加する | 7. 学童保育室で過ごす      |
| 3. 塾や習い事に行く       | 8. その他            |
| 4. 公民館や図書館などで過ごす  | ( )               |
| 5. 家や施設の中で過ごす     |                   |

問51 中学・高校などの卒業後の進路はどのようにお考えですか。(○は1つだけ)

- |                      |               |
|----------------------|---------------|
| 1. さらに上の学校などで勉強を続けたい | 5. 家の仕事を手伝いたい |
| 2. 職業などの訓練校に行きたい     | 6. その他        |
| 3. 福祉施設や作業所などに行きたい   | ( )           |
| 4. 一般の会社やお店で働きたい     | 7. わからない      |

問52 将来、働くことについてどのようにお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- |  |
|--|
| 1. 障がいのない人と一緒に一般の職場で働きたい                   |
| 2. 障がい者が働くことを前提とした訓練があるなど、障がいに配慮された環境で働きたい |
| 3. 一般の職場ではなく福祉施設や作業所で仲間と生産活動をしたい           |
| 4. 障がいや病気などで働くことができない                      |
| 5. 働きたくない、働くつもりはない                         |
| 6. わからない、まだ考えたことがない                        |
| 7. その他 ( )                                 |

問53 障がいのある子どものために、特に重要と思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 乳幼児健診の充実             | 10. 通学・通園時の介助・付き添い   |
| 2. 発育・発達上の課題の早期発見・診断    | 11. 学童保育や休日等の居場所づくり  |
| 3. 相談対応の充実              | 12. 安心して遊べる機会や場の確保   |
| 4. 家庭訪問による相談・指導         | 13. 地域社会と関わる機会や環境づくり |
| 5. 地域における療育・リハビリテーション体制 | 14. 保護者が介助・支援できないときの |
| 6. 通園施設の設備・教育内容等の充実     | 一時的な見守りや介助           |
| 7. 保育所や幼稚園での受け入れ態勢      | 15. その他 ( )          |
| 8. 小中学校、高校での教育機会の拡充     | 16. わからない            |
| 9. 特別支援学校の設備・教育内容などの充実  |                      |

今後の障がい者施策について

問54 石垣市の障がい者福祉施策について、どうお考えですか。(〇は1つだけ)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 満足している    | 4. あまり満足していない |
| 2. 少し満足している  | 5. 満足していない    |
| 3. どちらともいえない |               |

問55 障がい者が地域で自立して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(あてはまるもの5つまでに〇)

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. 障がいへの理解促進         | 15. 権利擁護・成年後見制度の充実  |
| 2. 保健・医療の充実          | 16. 移動手段確保のための施策の充実 |
| 3. 保育・療育・教育の充実       | 17. 施設通所者の工賃向上の取り組み |
| 4. 雇用・就労支援の充実        | 18. 障がい特性に応じた情報保障   |
| 5. ホームヘルプサービス等の充実    | 19. 経済的支援の充実        |
| 6. 短期入所の充実           | 20. 福祉人材の育成         |
| 7. 日中の通所施設の整備        | 21. 生涯学習・余暇活動支援の充実  |
| 8. グループホームの整備        | 22. 建物・道路等のバリアフリー化  |
| 9. 入所施設の整備           | 23. 交通機関や交通施設の改善・整備 |
| 10. 相談支援体制の充実        | 24. 防犯・防災対策の充実      |
| 11. コミュニケーション支援の充実   | 25. 避難行動要支援者避難支援事業  |
| 12. 福祉用具・補装具などの充実    | 26. 障がい者等の虐待防止対策事業  |
| 13. 居住支援(住まいの確保等)の充実 | 27. その他 ( )         |
| 14. 医療費助成制度の充実       |                     |

まちづくりや行政の取り組みについて、ご意見がありましたら、自由にご記入ください。

介護者の方にお聞きします

問56 年齢、性別、介護する場合の困りごとについてお答えください。

① 年齢（令和2年3月1日現在）

1. 30代未満	3. 40代	5. 60代
2. 30代	4. 50代	6. 70歳以上

② 性別（○は1つだけ）

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

③ 介護する場合の困りごとはなんですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 身体が疲れる（体調を崩しやすい）	6. 仕事に就くことができない
2. 精神的な負担が大きい	7. 経済的な負担が大きい
3. 自分の時間を持つことができない	8. 相談する場所がない
4. 他の家族等の世話ができない	9. 自分の代わりに介護者がいない
5. 今の仕事をやめざるを得ない状況がある	10. その他（                      ）

